

厚生労働科学研究費補助金
(エイズ対策政策研究事業)

HIV 感染症を合併した血友病患者に対する
全国的な医療提供体制に関する研究

平成 29 年度～令和元年度 総合研究報告書

研究代表者 野田 龍也
(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座)

令和 2 年 (2 0 2 0) 年 3 月

総合研究報告書目次

目 次

I. 総合研究報告		
HIV感染症を合併した血友病患者に対する 全国的な医療提供体制に関する研究	-----	1
野田 龍也		
II. 資料一覧	-----	17
【参考資料1】NDB集計に使用したマスタ	-----	18
【参考資料2】薬剤と傷病名の組み合わせ調査票	-----	34
【参考資料3】NDB集計に使用したマスタ（最終版）	-----	43
【資料1】日本の血友病患者数	-----	47
【資料2】最終定義に基づいたNDBによる血液凝固異常症患者数集計結果	-----	49
【資料3】特定地域の医療機関における血液製剤別処方人数と総処方量	-----	50
【資料4】手術後医学管理料（病院）を算定された人の血液製剤処方量	----	51
【資料5】日本のHIV/AIDS患者数	-----	54
【資料6】HIV感染症を合併した血友病患者数	-----	55
【資料7】HIV感染症単独で行ったNDB集計（レジメン集計—ピル数、合剤の内容）	-----	57
【資料8】HIV感染症単独で行ったNDB集計（レジメン集計—一般名）	----	59
【資料9】特定のHIV薬を処方されている患者（HIV/AIDS患者全体）	----	61
【資料10】特定のHIV薬を処方されている患者（HIV/AIDS+血友病の患者）	-----	62
【資料11】特定のHIV薬と他のHIV薬の組み合わせ処方（HIV/AIDS患者全体）	-----	63
【資料12】特定のHIV薬と他のHIV薬の組み合わせ処方（HIV/AIDS+血友病の患者）	-----	64
【資料13】B型肝炎併存の患者数	-----	65
【資料14】C型肝炎併存の患者数	-----	66
【資料15】血友病患者へのDAA投与	-----	67
【資料16】C型肝炎患者へのDAA投与	-----	68
【資料17】C型肝炎合併薬害エイズ患者へのDAA投与	-----	70
【資料18】C型肝炎合併の非薬害エイズ血友病患者へのDAA投与	-----	71
【資料19】人工関節置換術（股・膝）後の併存疾患	-----	72
【資料20】人工関節置換術（股・膝）後の感染	-----	73
【資料21】HIV感染症_血液凝固異常症_糖尿病等集計	-----	74
【資料22】後天性血友病の患者数	-----	78
【資料23】悪性腫瘍の患者数（後天性血友病を除く血友病患者全体）	----	79
【資料24】悪性腫瘍の患者数（後天性血友病を除く薬害エイズ患者）	----	80
【資料25】後天性血友病の悪性腫瘍併存	-----	81

【資料 26】 がん病名集計	-----	83
【資料 27】 エイズ動向委員会_NDB 資料解説	-----	87
【資料 28】 第 154 回エイズ動向委員会提出資料_奈良医大野田	-----	100

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	125
-------------------	-------	-----

厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業)

総合研究報告書

HIV 感染症を合併した血友病患者に対する全国的な医療提供体制に関する研究

研究代表者	野田 龍也	奈良県立医科大学 准教授
研究分担者	町田 宗仁	金沢大学医学系国際保健学 教授
	西岡 祐一	奈良県立医科大学 助教
	明神 大也	奈良県立医科大学 博士課程
研究協力者	天野 景裕	東京医科大学 臨床検査医学分野 血液凝固異常症遺伝子研究 寄附講座 教授
	伊藤 俊広	独立行政法人 国立病院機構 仙台医療センター 感染症内科医長/HIV/AIDS 包括医療センター室長
	今村 知明	奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 教授
	遠藤 知之	北海道大学病院・血液内科 講師
	岡 敏明	医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院 小児科臨床顧問 / 血友病センター長
	嶋 緑倫	奈良県立医科大学 小児科 教授
	白幡 聡	社会医療法人北九州病院 北九州八幡東病院
	藤井 輝久	広島大学病院 輸血部 准教授
	松下 正	名古屋大学医学部附属病院輸血部 教授
	荻原 建一	奈良県立医科大学 小児科
	久保 慎一郎	奈良県立医科大学 附属病院

研究要旨

本研究は、HIV 感染者、特に血液凝固異常症（血友病等）を合併した HIV 感染者が受けている治療の標準的な姿を明らかにするとともに、血液凝固異常症全国調査事業など、通常の調査・支援の網からこぼれ落ちている可能性のある患者に、レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）による悉皆調査の光を当て、適切な社会・医療介入へつなげることを目的としている。NDB は、毎年 1 億人を超え

る受診者数の保険診療情報をほぼすべて格納した悉皆データベースである。本研究は、特定の疾患を対象に NDB 分析の新技术を適用する初の研究として始まった。

本研究の特色は、全国各地の HIV 感染症及び血液凝固異常症の臨床専門家が参画していることにある。このことにより、単なるデータ分析に留まらず、HIV 感染症や血液凝固異常症等の医療提供体制の地域差や年齢、併存疾患の分布、適正処方や検査の実態等の具体的な議論が可能であり、HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者への医療体制に係る現在の課題を抽出することができる。

2017 年度は、2 回の班会議を開催し、HIV 感染症及び血液凝固異常症における医療提供体制の地域差や年齢階級分布、医療機関種別による分布の差、併存疾患の分布、適正処方の実態等について論点を抽出、整理した。

2018 年度は NDB を用いて血液凝固異常症および HIV 感染者数を集計し、既存の患者調査等との数値の比較を行った。また、地域ごとの患者数について、班員が把握する患者数との整合性を確認し、NDB の集計により患者数がおおむね違和感なく再現できることを確認した。特に標準治療から外れている可能性のある投薬を受けている HIV 感染者の全国分布を初めて集計できたことは、通常の調査・支援の網からこぼれ落ちている可能性のある患者に悉皆調査の光を当てるという本研究の目的につながる知見であると考えられた。

2019 年度は終結的な分析を行い、集計要件の精緻化や患者定義の較正により、受療状況の把握を行い、本研究目的がおおむね達成されたことを示すとともに、今後への提言をまとめた。

なお、本研究は、HIV 感染者だけではなく、血液凝固異常症を合併した HIV 感染者を対象としているが、これは厚労科研の公募要項に沿ったものである。

A. 研究目的 HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者（主には薬害エイズの当事者）は、発症の経緯や疾病の特性から、人生の相当期間を HIV 診療及び血液凝固異常症診療とともに過ごしている。治療手段の進展により、HIV 感染症は慢性疾患化しつつあり、中長期的な対応が臨床上、行政上の課題となっている。わが国では、生活保護による医療扶助、治験、全額公費負担の治療を除くすべての診療報酬情報が、2009 年 4 月から、レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）として蓄積されている。NDB は世界最大級の健康情報データベースであり、一般的なコホート集団では扱えない稀な疾患や稀な状況を扱うことが可能である。

類似のデータベースとして JMDC Claims Database や限られた集団（企業健保等）のレセプトがあるが、NDB は全国代表性を有し、標本サイズが数十倍～数万倍である点でまったく異なるデータベースと言える。本研究は、この NDB を利用し、HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者への医療提供状況を網羅的に分析するものである。

本研究の目的は、先人の尽力により積み重ねられた現在の医療体制と歴史的な経緯を踏まえつつ、HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者が受けている治療の姿を全国を網羅する形で明らかにするとともに、通常の調査や支援の網からこぼれ落ちている可能性のある患者に悉皆調

査の光を当て、適切な医療や支援につなげることである。

B. 研究方法

B.1 実施体制と実施スケジュール

本研究は、HIV 感染症及び血液凝固異常症に関する学会や全国各地域で活動する臨床専門家および、NDB の専門家から構成される。研究代表者（野田）のほか、HIV 感染症及び血液凝固異常症の専門家として、天野景裕（東京医科大学）、伊藤俊広（仙台医療センター）、遠藤知之（北海道大学）、岡敏明（札幌徳洲会病院）、嶋緑倫、荻原建一（奈良県立医科大学）、白幡聡（北九州八幡東病院）、藤井輝久（広島大学）、松下正（名古屋大学）が参画した。NDB 分析は、奈良県立医科大学の今村知明、久保慎一郎、西岡祐一、明神大也が担当した。本研究班は、薬害エイズ当事者に対する社会的・医療的な支援体制の検討は当研究班の直接の担当ではないが、研究の遂行にあたっては、関連する他の研究班とも情報共有を行った。

研究期間は平成 29 年度からの 3 年間である。

平成 29 年度はこれらの臨床専門家が参集し、HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者への医療体制に係る課題を議論するとともに、NDB による患者定義を検討した。また、厚生労働省へ本研究に係る NDB 利用申請を行った。

平成 30 年度は、「血友病及び HIV/AIDS の患者の生命予後や生活の質（QOL）に影響を及ぼす合併症や医療状況等に関する集計の検討」については、班会議内外の専門家より意見を聴取し、NDB の集計設計を行った。HIV/AIDS については、HIV 横幕班と連携し、HIV 薬の処方動態についての NDB による把握を進めている。横幕班が保有する平成 28、29 年 12 月末時点での全国 50 施設程度の抗 HIV 療法のレジメン（10000 例程度）について、同様の集計を NDB において行った。NDB による HIV/AIDS 患者把握の精緻度について、横幕班結果

との照合により「答え合わせ」を行うとともに（NDB では既存集計との照合による照らし合わせが重要である。）、横幕班では拾いきれない診療所等の情報について、NDB 集計結果による補完が可能であるかを検討した。また、横幕班との連携以外では、HIV/AIDS の患者が有する併存疾患について、C 型肝炎の有病率や DAAs の普及に伴う有病率の変化、悪性腫瘍の合併の増減について 3-5 年分程度のコホートで把握した。

令和元年度は、NDB による患者数推計の精緻化、血液製剤及び抗 HIV 薬の処方分布や処方組み合わせ、新薬の処方状況の分析を行った。血液凝固異常症患者の分析としては、併存疾患（基礎疾患たる悪性腫瘍の併存を含む。）の内訳などの社会的な懸案事項の推計にも取り組んだ。HIV/AIDS の分析としては、横幕班との強い連携のもと、抗 HIV 薬の処方状況を全国的に正確に把握するとともに、C 型肝炎や悪性腫瘍などの併存疾患について、有病率や治療状況、予後まで含めた受療状況の把握を行い、エイズ動向委員会への報告を行った。

1~3 年目のいずれにおいても、行政機関や関係各所への積極的なヒアリングを実施した。

B.2 倫理面への配慮

本研究では完全に匿名化された個票を用い、個人情報や動物愛護に関わる調査・実験は行わない。研究の遂行に当たっては、各種法令や「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を含めた各種倫理指針等の遵守に努める。また、厚生労働省保険局を始めとする関係各所の定めた規定・指針等を遵守し、必要な申請を行う。また、実施にあたっては、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会の許可を得た。

C. 研究結果

C.1 NDB データの申請と分析

NDB データの入手手続きは非常に複雑で長期間を要する。申請からデータの入手までに1年間前後を要し、本研究でも、厚生労働省保険局への申請は平成29年秋であり、データの到着は平成30年7月初旬であった。本研究の対象者(対照群)を我が国の全受診患者に拡張するため、平成30年4月に全国民NDBデータの申請を行った。このデータについては平成31年3月に手交され、データ構築を進め、令和元年度の半ばには利用できるようになった。

NDBは、日本の保険診療の悉皆データであり、ここ数年で臨床研究利用が可能となってきた。NDBでは、公費負担以外の医療費が発生する医療行為を把握する力に優れている。しかし、検査結果や死亡といったアウトカム指標は記録されていない。また、QOLなどの社会経済状態に関する指標も把握する力が弱いかほとんどない。NDBでは

①「疾患特異的な治療法(医療行為や処方)」がある場合

①-2「疾患特異的な検査」がある場合

②「高頻度に受診する疾患」の場合

について患者数の集計が可能である。

特に①の場合は精度の高い集計結果が出る(例:HIV感染症)。NDBには検査結果が入っていないため①-2の場合は集計結果がやや不正確となる(が①-2を採用せざるを得ない局面も多いと思われる)。

上記②の場合も、集計条件を臨床的に工夫することで、一定の精度の結果が得られること(例:糖尿病)、上記2条件(①, ②)が合わさると集計の精度が非常に高い(例:人工透析、血液凝固異常症)ことなどが既存の研究により分かっている。

一方、①「疾患特異的な治療法」がない場合や、②「高頻度に受診する疾患」ではない場合は集計の精度が落ちる。「その病名をつけるインセンティブが低い」「そもそも診断が行われない」場合はさらに困難となる。そのような場合は、「その傷病の患者の多くが受けている非特異的医療

行為・処方、検査、受診頻度」等の組み合わせで絞っていく必要がある。

このような背景から、本研究においては、血液凝固異常症やHIV感染症に対するNDB的病名定義の検討から着手した。

なお、以下において、NDB集計結果における「非公表」はNDBガイドラインによる非公表処置(実際には0~9のいずれかの数値)を示す。

C.2 血液凝固異常症定義の確定

(1) 病名×血液製剤のマトリックスの構築によるNDB的血液凝固異常症の定義付けの検討

NDB(レセプト)では「〇年〇月に血液製剤AをB単位処方した」「〇年△月にT細胞サブセット検査を行った」といったプロセスは比較的正確・高速に把握できるが、予後や検査結果などのアウトカムはほとんど分からない、という特徴がある。血液凝固異常症やHIV感染症等には臨床上の診断基準があるが、検査結果データがないためNDBでは直接にはこの基準を利用できない。

NDBでこれらの患者を特定し、分析するためには、「この医療行為(検査、手術、処方等)を実施しているのだからこの傷病なのだろう」といった医療行為の蓋然性で定義づける必要がある(例:抗HIV薬の処方を受けていればおそらくHIV/AIDS患者である)。いわば、NDB的血液凝固異常症、NDB的HIV感染症を定義することが分析の一丁目一番地である。

NDBを用いた臨床分析では、研究仮説をNDB的な問いかけへ変換する作業(主に患者定義作業)が最大のポイントとなる。

レセプトにおいては、傷病名が「請求コード」で入力されているため、血液凝固異常症患者をNDBで特定するためには、患者のレセプトに付与されている「請求コード」を特定する必要がある。本研究においては、まず、NDB分析チームが「血液凝固異常症に関連する」と思われる傷病名に該当する「請求コード」を抜き出した。

請求コード自体は分類により体系化されていないため、請求コードを個別に探索しリストアップする必要があるが、これは非常に困難である。NDB 分析班は、血液凝固異常症に関連しそうな疾患群について、ICD10 コードをベースとして、ICD10 大分類→中分類→小分類へと見ながら該当する ICD10 コード絞込みし、特定された ICD10 コードに該当する請求コード(+傷病名名称)をレセプトの傷病名マスタより抽出した。(参考資料1)。

次に、下記の観点での議論を行った。

- リストアップされた請求コード(に付与されている「傷病名」)が血液凝固異常症の患者を特定するに当たって妥当であるか
- 現場の医療とレセプト請求の実態を鑑みて、他に付与されうる傷病名はないか。
- 傷病名から患者を特定することで、どのような問題が起こりえるか。

検討の結果、下記の見解が得られた。

- レセプトの傷病名は必ずしも正確に入力されていない可能性がある。例えば、血友病 B やフォンヴィレブランド病などについては、査定を避けるための「疑い病名」が付与されている可能性がある。一方で、「第 VIII 因子インヒビター陽性先天性血液凝固異常症」のように、正確につけられていると思われる病名もある。
- 傷病ごとに治療に用いられる薬剤は、ある程度限られている。

そこで、次に、「(疾患ごとの) 治療に用いられる可能性のある薬剤」について検討した。本研究の対象期間である 2013 年～2015 年にレセプト請求の対象となりえた血液凝固異常症治療薬をまずリストアップし (66 種類)、「それぞれの医薬品がどの疾患の治療に用いられるか」という視点に基づき、参考資料 2 の「調査票」を作成した。

参考資料 2 の調査票を、HIV 感染症及

び血液凝固異常症の専門家である本研究班のメンバーに配布し、「それぞれの医薬品がどの疾患の治療に用いられるか」について調査を行った。具体的な調査の内容を以下に示す。

1. 薬剤と傷病名の組み合わせごとに、処方が行われる蓋然性について、3 段階(その薬剤は、本来この傷病名だけに使われる場合に◎/複数の傷病が対象となる場合に○/本来この傷病名には使用されない場合に×)に分類した。
2. 合わせて、血液凝固異常症以外の疾病に対しても使用される可能性を検討した。(NDB 的血液凝固異常症患者の定義づけにおいて、血液凝固異常症のレセプト病名がつけられた上で別の疾患に適応外処方が行われるケースを除く必要があるためである。)また、血液凝固異常症のとの関連で着目すべき、リスト以外の薬剤有無についても併せて調査した。
3. 回答を統合し、下記のいずれに当たるか分類した。
 - 「その薬剤はこの傷病だけに使われる」(一対一)で全員一致
 - 「複数の傷病に使用される薬剤」(一対多)で全員一致
 - 「この薬剤はこの傷病には使用しない」で全員一致
 - 全員一致での結果が得られなかった
4. 統合された結果の中で、メンバーの意見の相違があるものについて、精査した。

例えば、「血友病 A の確定診断が得られている患者にはこの薬剤を使用することがある場合」や、「確定診断前ではあるが何らかの血液凝固異常症であることは間違いなく、疑い病名として血友病 A をつけている場合」が◎または○に該当するとして、「血液凝固異常症の患者で

あればこの組み合わせ(病名と薬剤)はありえる」かを確認した。

一方、「疑い病名であってもこの薬剤を処方する際にこの病名はつけないだろう」という場合に該当するかを確認した。

5. 「複数の傷病に使用される薬剤である」(一対多)という意見と、「この薬剤はこの傷病名だけに使われる」(一対一)との意見に分かれた薬剤と傷病名の組み合わせについて、再度の見直しを行った。

複数の傷病に使用される薬剤である」(一対多)という意見と、「この薬剤はこの傷病には使われない」(不使用)との意見に分かれた薬剤と傷病名の組み合わせについて、血液凝固異常症患者に用いられる傷病と薬剤の組み合わせなのか、この組み合わせは臨床的にほとんど用いられないのかを確認した。

6. 「この薬剤はこの傷病名だけに使われる」(一対一)という意見と、「この薬剤はこの傷病名には使われない」(不使用)との意見に分かれた薬剤と傷病名の組み合わせについて、血液凝固異常症患者に用いられる傷病と薬剤の組み合わせなのか、この組み合わせが臨床的にほとんど用いられないのかを確認した。

血液凝固異常症等に用いる新しい薬剤を追加し(5種類)、薬剤と傷病名の組み合わせごとに、処方が行われる蓋然性について確認した。

7. 上記を踏まえ、「必ず治療に用いられている薬剤」「治療に用いられる可能性のある薬剤」について、個別疾患ごと用いられうる薬剤マップを作成した。参考資料2の「2. 薬剤と傷病名の組み合わせ調査結果」において、グレーが「必ず治療に用いられている」傷病名と薬剤の組み合わせを示す。白が、「治療に用いられる可能性のある」傷病名と薬剤の組み合わせを表

す。

この薬剤マップを用いた NDB における血液凝固異常症患者の特定方法としては、以下の2種類の定義が考えられる。

患者定義A: 関連病名全体のうち1つでも病名が付与され、かつ、血液製剤全体のうち1剤でも処方されている場合(参考資料1参照)「全体を血液凝固異常症患者と定義する)

患者定義B: 関連病名それぞれについて対応する血液製剤を特定し、その組み合わせに合致する場合のみ(薬剤マップのうち、グレーに塗られた部分のみを血液凝固異常症患者と定義する)

なお、上記の患者定義AとBのいずれが、より実態に即しているかは、定義に従った集計値を見ながら検討を行った。特に、下記については、集計値を見ながら検討が必要であった。

- アンチトロンビンIII欠乏症でアンチトロンビン製剤を使っている場合は、血液凝固異常症に含めない方がいいのではないかと。
- 病名が2つ以上ついている場合の取り扱いをどうするか。例えば、血液凝固異常症とフォンヴィレブランド病が残っている場合はどちらを優先するか、両方でカウントするか。

平成29年度において行った班会議では、疑い病名や検査病名、適応外処方のための病名の扱いが議論となった。平成29年度班会議での議論の結果、観察期間(2015年度)中に、「血液凝固異常症を示す病名が1つ以上付与」され、かつ、「血液製剤が1剤以上処方」された患者を、本研究NDBにおける「血液凝固異常症患者」と定義するとの暫定的な結論が得られた(上記の患者定義Aを採用する)。なお、血液製剤使用と血液凝固異常症関連病名の組み合わせ(エキスパート・オピニオン)による患者定義(患者定義B)は、班会議の議論の結果、用いないこととなった。これ

をもとに、NDBの集計（後述）を行い、平成30年7月の班会議で検討した結果、疑い病名等の存在は、今回の患者数集計には、実質的な影響を及ぼしていないであろうとの結論に至った。ただし、フィブログガミンPについては、処方状況を鑑み、暫定的に「1年間に3ヶ月間以上処方されている患者」のみを本研究における血液凝固異常症（後天性第XIII因子欠乏症）患者とすることとなった。令和元年度の班会議では、さらに集計期間5年間に延長して検討した結果、フィブログガミンP、PPSB、フィブリノゲンについては処方回数ではなく外来での処方のみを患者定義の際の集計対象とするのが良いという結論に至った。

（2）NDBにおける血液凝固異常症等患者定義の決定

上記の3年間の研究を経て、本研究における血液凝固異常症の定義を以下に決定した。

NDBにおける血液凝固異常症定義は、集計期間中に血液凝固異常症関連傷病名（参考資料3「血液凝固異常症病名マスタ」参照）の病名を付与され、かつ血液凝固異常症に関する薬剤（参考資料3「血液凝固異常症医薬品マスタ」参照）を処方された者とした。ただし、PPSB、フィブリノゲン、フィブログガミンPに関しては、入院での処方の有無を問わず、外来での処方のみとする。※ただし、「血液凝固異常症の関連病名」からアンチトロンビン欠乏症を示す病名（「アンチトロンビンIII欠乏症」（8830404）、「アンチトロンビン欠乏症」（8847158）の2つ）を除外する。

（3）血液凝固異常症患者の集計

NDBを用いてどのような集計を行うべきか、血液凝固異常症等の医療提供体制の地域差や年齢階級分布、医療機関種別による分布の差、併存疾患の分布、適正処方や検査の実態等についての議論を行った。

なお、NDBでは患者住所地は非公表であるため、地域がわかるのは受診先の病院住所地（受診地）である。また、集計期間の途中で受診地や年齢が変わった場合、集計期間の最初に出現した受診地で集計するか、毎年1月受診地とするかなど議論の余地がある。これらのNDBの特徴を踏まえ、血液凝固異常症患者の定義を決め、患者の集計方法や、各種患者統計による数値との比較をどのようにして行うべきかについて検討する必要がある。

まずは、平成30年度に提供された血液凝固異常症患者に対するNDBデータに対し、データベースを構築し、ID0作成アルゴリズム（名寄せアルゴリズム）を用いてID0を作成し、B.3に示した血液凝固異常症等患者定義に基づく集計を行った。集計条件を以下に示す。

- 集計対象期間：2015年4月～2016年3月（2015年度・平成27年度）
- 患者数集計：ID0で行う（延べ人数ではなく、実人数をカウントする）
- 集計の際に、同一のID0に複数の値（複数の都道府県や加齢による複数の年齢階級等）が発生する場合は、「観察開始時点（そのID0が最初にNDBに登場した月）」の値を使用する。（受診都道府県についてはもっとも登場頻度が高い値を使い、年齢については観察期間中央年齢を用いるのが望ましいが、技術上の一手間がかかることと、数値の解釈が難しくなるため、今回集計では暫定的に上記とする）。
- ただし、薬剤の年月別処方人数など、月別の値が重要な場合は、観察開始月ではなく、各月の値をそれぞれ集計する。

患者定義Aに基づき、傷病名別、性・年齢・都道府県・診療年月別の患者数のNDB集計を行った。概数を以下に示す。

NDB 6310名
（男性5418名、女性892名）

全国調査 8053 名

(男性 6937 名、女性 1116 名)

ここで、「全国調査」とは、H27 血液凝固異常症全国調査(全国調査と略す)を示す。結果の詳細を資料 1 に示す。

集計をもとに検討した結果、NDB 集計では、一定の定義付けにより、経年変化のような傾向の追跡は問題なく行うことができることが分かり、以下の結論を得た。

- 血液凝固異常症における、6310 名 (NDB 集計値) と 8,053 人 (全国実態調査) の差は、NDB が「血液製剤の処方を受けている患者」、全国実態調査は「血液製剤の処方を受けていない患者を含む」という差であり、リアリティがある。
- NDB では未治療、未投薬の患者を把握しづらいとの短所があるが、それらは医療体制よりは予防に属する事項であり、「投薬を受けている患者の把握」という点では、各地域の患者数と近似性があり、かなり精緻な把握ができていると考えられる。
- 血液製剤の処方を受けていない患者 (患者定義 A に基づく NDB 集計で拾うことができない患者) の代表例としては以下があると考えられた：
 - ・プロテイン S 欠乏症及びプロテイン C 欠乏症に対しては血液製剤を使わないため、全国で 100 人ほどが NDB 集計から除外されるであろう。
 - ・フォンヴィレブランド病は血液製剤を処方されていない軽症例が 800 人ほどいると考えられ、NDB 集計からは除外される。
- 血液凝固異常症における NDB 集計値と全国実態調査の 1700 名ほどの差のうち、900 名程度は上記で説明できる。他の疾患の軽症・薬剤非投与例を合わせると、1700 名の差は説明できる範囲である。

また、上記を踏まえ、血液凝固異常症の患者定義が精緻化された。精緻化後の集計

結果を資料 2 に示す。

なお、検討にあたっては、血液製剤の使用量についても検討した(資料 3、資料 4)。

C.3 HIV 感染症定義の構築

(1) HIV/AIDS 患者の定義 (患者定義 C)

HIV/AIDS の治療において処方される薬剤は他の疾患の治療において使用されることがないため、抗 HIV 薬を 1 剤以上処方された患者を、この NDB 分析における HIV 感染者/AIDS 患者と定義することができる。HIV 患者については、参考資料 1 に示す HIV の薬を 1 剤以上処方されている場合で定義し、病名は考慮しない、という方向で検討が進められた。

患者定義 C に基づき、性・年齢・都道府県・診療年月別の患者数の NDB 集計を行った。結果を資料 5 に示す。概数を以下に示す。

【抗 HIV 薬を 1 剤以上処方された患者】

NDB 20,249 名
(男性 18,738 名、女性 1,511 名)
報告書 18,921 名
(拠点病院外受診者を含まない)

ここで、「報告書」とは、H27 厚労科研横幕班報告書の結果を示す。

全国実態調査の数字が 20,000 人前後のため、抗 HIV 薬を処方されていない感染者や生活保護の割合等を勘案すると、おおむね数値に違和感がない数値となった。

(2) HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者数 (患者定義 E)

「患者定義 A」(血液凝固異常症)かつ「患者定義 C」(HIV/AIDS 患者)を、HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者 (患者定義 E) とし、傷病名別、性・年齢・都道府県・診療年月別の患者数の NDB 集計を行った。その結果を資料 5、6 に示す。概数を以下に示す。

NDB 504 名 (性別患者数：非公表)
全国調査 729 名 (男性 721 名、女性 8 名)

報告書 622名（拠点病院外受診者を含まない）

（灰色はマスキング。病名は3病名のみ）

	全体	血友病	血友病A	血友病B
30～34歳	26			15
35～39歳	110	14	75	36
40～44歳	130	11	105	25
45～49歳	94	10	76	18
50～54歳	76		62	13
55～59歳	34		22	
60～64歳	24		16	
65～69歳	10			
総計	504	57	372	122

示した。）

結果の詳細を資料5に示す。

また、HIV感染症を合併した血友病患者数について、資料6に示す。資料6の集計結果のうち、非加熱製剤の開始時期と、血友病A及びB患者の年齢分布にはリアリティがある。一方で、必ず薬剤治療が行われているはずの集団のため、患者調査との数値の不一致には違和感があった。不一致の原因として、生活保護の影響がある可能性がある。生活保護割合は高い集団であるが、NDBでは生活保護対象を捕捉できないため、その分を過小評価している可能性が考えられる。

（3）HIV感染症に対するレジメンおよび特定のHIV薬の処方状況

HIV患者における治療実態を把握するために、HIV横幕班と連携し、横幕班が保有する平成28、29年12月末時点での全国50施設程度の抗HIV療法のレジメン（10000例程度）について、同様の集計をNDBにより行った。結果を資料7、8に示す。

レジメンについては正確な集計が可能である一方で、薬剤は複数の異なる目的で処方されるため、特定の治療目的で処方した薬剤の処方状況を見るためには、入院時の一時的な処方を除くといった精緻化が必要であることが分かった。

HIV患者の治療実態の把握のなかで、各ブロックの連絡協議会の場で変更の検討を要するという意見も出た特定のHIV治

療薬剤の処方実態についての把握も重要である。依然としてこれらの薬剤が処方されているのであれば、その処方実態に関する情報を各都道府県に提供することにより、処方薬剤変更へのアプローチになる可能性があるためである。標準治療では処方されないことがある特定のHIV薬【ヴァイデックスEC、ビリアード錠、レクシヴァ錠700、インビラーゼ、クリキシバン、ピラセプト錠】の処方状況を明らかにするために、これらのいずれかを1剤以上処方された患者に対する集計を行った。集計結果を、資料9～12に示す。概数を以下に示す。

- ・ HIV/AIDS患者全体
NDB 812名（男性725名、女性87名）
（NDB上のHIV/AIDS患者に占める割合： $812/20249=4.0\%$ ）
- ・ HIV感染症を合併した血液凝固異常症患者
NDB 45名（性別患者数：非公表）
（NDB上の当該患者に占める割合： $45/504=8.9\%$ ）

またこれら特定のHIV薬が処方されている患者において、他に処方されているHIV薬の組み合わせに関する集計を行った。

- ・ HIV/AIDS患者全体（主な組み合わせの抜粋）
レトロビルカプセル100mg×クリキシバンカプセル200mg：全国で12名に処方。
ビリアード錠300mg×トリーメク配合錠：全国で13名に処方。
- ・ HIV感染症を合併した血液凝固異常症患者（抜粋）
ビリアード錠300mg×アイセントレス錠400mg：全国で11名に処方。

これらの集計結果については、以下の意見が出された。

- 一番気になるのはd-ドラッグであるが、全体20,000人に対する800人で

4%、対して血液凝固異常症の 504 人に対する 45 人で 9%と差がある。治療内容の全国均てん化が必要ということになるのか。実際の治療においては、ウイルス量がうまくコントロールできていると処方し続けてしまうこともあるため、年次での処方の変化を追う必要性がある。

- 薬害エイズ 700 人の中で今はヴァイデックスの部分のマスキング (NDB ガイドラインに基づく 0~9 人の人数のマスキング) が問題。マスキング部分が「0 でないこと」がわかれば、適正使用を目指そうというメッセージを出すことができる。
- レトロビルとクリキシバンは基本、最初の薬の組み合わせである。
- トリーメクとビリアードだとバックボーンが重複している。不思議な処方ではある。テビケイがこんなに処方されているのは意外であり、精査が必要である。

C.4 併存疾患 (合併症を含む) に関する粗集計

(1) B 型肝炎

HIV 患者および血液凝固異常症患者の併発疾患として重要となる B 型肝炎の特定については、B 型肝炎に関連する傷病名の有無に基づき定義する方向性について検討を行った。しかしながら、病名のみでは集計値がリアリティに欠けることから、B 型肝炎の治療薬を 1 剤以上処方され、かつ、B 型肝炎の関連病名が 1 つ以上付与されている患者を、この NDB 分析における B 型肝炎患者 (患者定義 I) とすることとした。上記の定義に用いた薬剤リスト及び疾患リストを参考資料 1 に示す。

NDB 集計による B 型肝炎合併の概数を以下に示す。

- ・ 血液凝固異常症患者全体
全国で 20 名 (併存率 20/6310=0.3%)
- ・ HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者

該当者数非公表

さらに、B 型肝炎の合併の状況を明らかにするために、以下の集団に対して集計を行った。

【患者 6-a】血液凝固異常症患者の B 型肝炎合併:「患者定義 A」(血液凝固異常症) かつ「患者定義 I」(B 型肝炎患者) を満たす患者

【患者 6-b】いわゆる薬害エイズ患者の B 型肝炎合併:「患者定義 E」(HIV/AIDS 合併血液凝固異常症患者) かつ「患者定義 I」(B 型肝炎患者) を満たす患者

【患者 6-c】薬害エイズではない血液凝固異常症患者の B 型肝炎合併:「患者定義 F」(HIV/AIDS を合併しない血液凝固異常症患者) かつ「患者定義 I」(B 型肝炎患者)

集計結果を資料 13 に示す。

(2) C 型肝炎

C 型肝炎の治療薬を 1 剤以上処方され、かつ、C 型肝炎の関連病名が 1 つ以上付与されている患者を、この NDB 分析における C 型肝炎患者とする。上記の定義に用いた薬剤リスト及び疾患リストを参考資料 1 に示す。また、C 型肝炎合併の概数を以下に示す。

- ・ 血液凝固異常症患者全体
全国で 306 名 (併存率 306/6310=4.8%)
- ・ HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者
全国で 106 名 (併存率 106/504=21.0%)

C 型肝炎の併存状況を明らかにするために、以下の集団に対して集計を行った。

【患者 7-a】血液凝固異常症患者の C 型肝炎合併:「患者定義 A」(血液凝固異常症) かつ「患者定義 J」(C 型肝炎患者) を満たす患者

【患者 7-b】薬害エイズ患者の C 型肝炎合併:「患者定義 E」(HIV/AIDS 合併血液

凝固異常症患者) かつ「患者定義 J」(C 型肝炎患者) を満たす患者

【患者 7-c】薬害エイズではない血液凝固異常症患者の C 型肝炎合併:「患者定義 F」(HIV/AIDS を合併しない血液凝固異常症患者) かつ「患者定義 J」(C 型肝炎患者)

集計結果を資料 14 に示す。

さらに、直接作用型抗ウイルス薬 (DAAs) の処方状況についても同様に集計を行った。資料 15 に、C 型肝炎薬の各薬剤名別、DAA の各薬剤名別処方患者数を示す。

DAA 処方については、比較のために、

【患者 7】日本の C 型肝炎患者全体 (血液凝固異常症でない患者を含む)

を含めた対象集団に対する性別・年齢階級・都道府県・診療年月別 DAA 薬剤処方人数を集計した。結果を資料 16~18 に示す。概数を以下に示す。

【テラビック錠 250mg、ダクルインザ錠 60mg、スンベプラカプセル 100mg、ソバルディ錠 400mg、ハーボニー配合錠、ヴィキラックス配合錠の処方状況】

・ 血液凝固異常症患者全体 (対象: 306 名)

ダクルインザ錠 60mg : 23 名 (7.5%)、
スンベプラカプセル 100mg : 23 名 (7.5%)、

ソバルディ錠 400mg : 39 名 (12.7%)、

ハーボニー配合錠 : 226 名 (73.8%)、

テラビック錠 250mg・ヴィキラックス配合錠 : 非公表

・ HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者 (106 名)

ソバルディ錠 400mg : 16 名 (15.0%)、

ハーボニー配合錠 : 78 名 (73.5%)、

テラビック錠 250mg・ダクルインザ錠 60mg・スンベプラカプセル 100mg・ヴィキラックス配合錠 : 非公表。

集計結果について、インターフェロンとリバビリンでうまくいかなかった患者に対してハーボニーが使われるようになった

と解釈することが可能である。また、ソバルディはインターフェロンと同じ使い方なので、使われていないことに違和感はない、という結論が得られた。

(3) 全人工股関節置換術 (THA) および全人工膝関節置換術 (TKA) 実施状況およびその予後

血液凝固異常症および HIV/AIDS 感染症において、人工関節置換術 (股・膝) の実施状況および実施後の併存疾患状況 (死亡を含む)、本集計に当たっては、以下を行った。

1. 日本全体の全人工股関節置換術 (THA)、全人工膝関節置換術 (TKA) を抽出。抽出の対象の診療行為コードは以下とする。

150050410 人工関節置換術 (股)

150050510 人工関節置換術 (膝)

2. 人工関節置換術 (膝・股) の術後感染については、参考資料 1 に記載した診療行為が行われている場合と定義する。

3. 集計対象期間を 2013 年 4 月~2018 年 3 月の 5 年間とし、「感染あり」は手術施行後 (最大 5 年間) とする。

結果を資料 19, 20 に示す。

加えて、4 つの集団 (a HIV 感染症全体、b 血液凝固異常症、c HIV 感染症かつ血液凝固異常症、d 糖尿病 (全国の 760 万人)) それぞれについて、降圧薬の処方、糖尿病薬の処方、DVT・PE の合併 (疑いを含む病名による集計)、入院中の DVT・PE の合併 (疑い病名を含む)、人工関節置換術 (股・膝) の施行、骨折手術の発生、骨粗鬆症薬の処方、MRI・CT の施行、C 型肝炎薬処方の実施状況の集計を行った (資料 21)。

これらの集計結果についてはまだ検討の余地があり、合併症に関する集計をより精緻化するためには、それぞれの定義について、さらなる精緻化が必要である。

(4) がんの併存状況

(1)～(3)以外の疾患として、がんも検討された。後天性血液凝固異常症の基礎疾患ががんであるため、がんの併存状況を集計するためには、後天性血液凝固異常症を除く必要がある。がん患者の定義(患者定義D)を、抗悪性腫瘍薬を1回でも投与されたことのある患者と本研究におけるがん患者と定義とし、以下について集計を行った。

- 後天性血液凝固異常症を除く血液凝固異常症患者(患者定義G):血液製剤を1剤以上処方され、かつ、「後天性血液凝固異常症以外の関連病名」が1つ以上付与されている患者を、このNDB分析における後天性血液凝固異常症患者とし、それを除いた血液凝固異常症患者。
- 後天性血友病A患者(患者定義H)
(後天性血友病Aのみを特出しして分析するための集計):血液製剤を1剤以上処方され、かつ、後天性血友病Aの関連病名が1つ以上付与されている患者を、このNDB分析における後天性血友病A患者とする。

まず、後天性血友病Aの患者数を資料22に示す。次に、後天性血友病を除く血友病患者全体の悪性腫瘍の患者数を資料23に、後天性血友病を除くHIV感染症患者の悪性腫瘍の患者数を資料24に、後天性血友病の患者の悪性腫瘍の併存を資料25に示す。さらに、4つの集団(a HIV感染症全体、b 血液凝固異常症、c HIV感染症かつ血液凝固異常症、d 糖尿病(全国の760万人))それぞれについて、がん病名コードごとの患者数を資料26に示す。

これらの集計結果についても、(3)と同様、まだ検討の余地があり、がんの定義について、さらなる精緻化が必要である。

C.5 エイズ動向委員会への報告

上記に基づくNDBデータを用いた集計

結果を令和元年8月29日に実施された第153回エイズ動向委員会および第154回エイズ動向委員会に提出した。(資料27および資料28)NDB集計は従来の委員会報告を置き換えるものではないが、NDBと感染症法届け出が並立することで、報告値の正確さが増すこと、特に、国際的なHIV医療指標である90-90-90の一部を半自動的に測定できることを示した。提出した主な結果は以下である。

- ・HIV感染者(抗HIV薬被処方者)の現在の継続通院者数(全国数、性年齢階級別、都道府県別)
- ・新規のHIV感染者(抗HIV薬被処方者)数
- ・継続通院数及び新規のHIV感染者(抗HIV薬被処方者)(都道府県別・ブロック別)
- ・HIV感染者の現在までの累積患者数
- ・HIV感染者の死亡数
- ・HIV感染者の年齢調整死亡率(糖尿病患者集団との比較)

また、上記において、糖尿病患者を基準とした時の抗HIV薬処方患者(糖尿病患者を除く)のSMRが57であり、糖尿病患者よりHIV患者の方が、死亡率が低いことを示した。これは、HIV患者は糖尿病患者より死亡のスピードが緩やかであること、HIV患者の治療法が糖尿病患者の治療よりよく管理されている可能性を示唆する。

D. 考察

従来、全国患者数の調査は、標本抽出された客体へ調査票を送付することにより行われてきた。本研究は、調査票を用いることなく、非特異的に集積されたリアルワールドデータを集計することにより全国患者数を推計しようとする試みである。NDBが従来の調査法と決定的に異なる点は、「日本のほぼ悉皆調査」であることである。NDBには、生活保護の医療扶助を受けている患者、臨床治験中で保険診療を利用していない患者、何らかの理由で保

険診療を利用していない少数の患者を除く、わが国のすべての受診者情報が格納されている。また、NDBは、患者報告アウトカム（PRO）ではなく医師の報告に基づくデータであり、診療報酬由来であるため未報告率が著しく低いという利点を有する。

一方、NDBは「この検査を行った。」「この薬剤を処方した。」というプロセス指標は豊富に含まれるが、検査結果や予後といったアウトカム指標の情報に乏しい。疾患定義はアウトカム指標の組み合わせによるため、NDBによりある疾患の患者を集計することは、「プロセス指標を用いてアウトカム指標を再構築する」ことを意味する。HIV/AIDS以外の患者に抗HIV薬を継続的に投与する意義はないため、「抗HIV薬を投与されているということはHIV/AIDSの患者と言えるのではないか。」といった蓋然性で患者を定義づけることとなる。

当研究班は血液凝固異常症、HIV感染症患者のそれぞれのNDBにおける疾患定義を確立し、疫学研究的基盤構築に成功した。本研究における患者定義は、臨床専門家の意見を集約し、組み立てたものである。NDBによる患者数の集計結果について、下記に示す既存の調査との患者数の比較を行った。

- 薬害エイズ患者の全国分布とNDB的血液凝固異常症患者の全国分布の比較
- 血液凝固異常症患者の全国分布と、NDB的血液凝固異常症患者の全国分布の比較
- 血液凝固異常症全国調査やHIVの全国調査における患者数との比較

患者調査と、NDB集計には、2割程度の差が生じたが、その差の理由として以下が考えられた。

- 患者調査の回収率が60%強であり、回答が得られなかった場合は過去調査の結果を残しているため、患者のダ

ブルカウントがありえる。

- HIVの全国調査においては、血液凝固異常症患者の二次感染でHIVになっている患者の配偶者も含まれている。
- NDBにデータがない患者（生活保護と完全公費、治験、交通事故の場合等）がいる。
- NDBのデータにおける「地域」別の集計については、患者住所ではなく「受診した医療機関の地域」での集計になる。また、最初に受診した医療機関か、最近受診した医療機関かで集計結果も異なってくる。周辺の県からの受診、または周辺の県への受診により、患者調査とは数値が異なる可能性がある。地域別の集計において、いつ時点での地域を用いるかについて、検討が必要である。
- 院外処方の場合には、調剤薬局のある地域を採用するか、受診医療機関の地域とするかについても議論の余地がある。
- 集計の対象とした期間に治療が行われていない場合、例えば非常に軽症で、該当期間に1回も診療を受けなかったという患者は除外されてしまう。

一方で、血液凝固異常症の患者定義には、上記だけでは説明がつかない部分が残っていると考えられ、患者定義の一層の精緻化が望まれる。

血液凝固異常症の分析としては、後天性血液凝固異常症の全国患者数や併存疾患（基礎疾患たる悪性腫瘍の併存を含む。）の内訳などの社会的な懸案事項の推計にも取り組んだことは、データベースを用いた研究としては初の事案である。HIV/AIDSの分析としては、横幕班との強い連携のもと、抗HIV薬の処方状況を全国的に正確に把握するとともに、C型肝炎や悪性腫瘍などの併存疾患について、有病率や治療状況、予後まで含めた受療状

況を把握した。

E. 結論

E.1 研究結果に関する結論

レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB) を用いて、HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者及び彼らの受療状況について、全国悉皆的な把握を試みた。主な結果については、エイズ動向委員会に報告し、一定の評価を得ることができた。

本研究は、悉皆性の高い世界最大級のヘルスデータベースを用いて、比較的患者数の少ない疾患の医療受療状況を明らかにする研究であり、同様の標本サイズでの研究は海外に存在せず、学術的・国際的な意義は大きいと考える。また、歴史的な経緯を有する疾患の受療状況についての初の全国悉皆分析であり、社会的な意義は小さくないと考える。

本研究により、NDB における血液凝固異常症患者および HIV 患者の定義が、一定程度精緻化され、HIV 感染症を合併した血液凝固異常症患者/HIV 感染症患者/血液凝固異常症患者の死亡率、高血圧 (降圧剤処方)、糖尿病 (糖尿病薬処方)、癌 (病名)、DVT・PE (病名) の合併状況が明らかになった。たとえば糖尿病患者を基準とした時の抗 HIV 薬処方患者の SMR は 57 であり、糖尿病患者より HIV 患者の方が、死亡率が低いことが示された。これは、HIV 患者は糖尿病患者より長生きであること、HIV 患者の治療法が糖尿病患者の治療よりよく管理されている可能性を示唆する。血液凝固異常症、HIV 感染症へのスティグマを取り除くためにも得られた疫学研究成果を積極的に発信していきたい。

レジメンについては正確な集計が可能である一方で、薬剤は複数の異なる目的で処方されるため、特定の治療目的で処方した薬剤の処方状況を見るためには、入院時の一時的な処方を除くといった精緻化が必要であることが分かった。今後は、ヘムライブラ等の新規製剤の処方状

況 (特に子どもへの処方実態) を全国網羅的に把握できれば、臨床家へのフィードバックと行政施策への反映の両方において有益である。また、医師による新薬の採用動向について、特に、ゼリットの寄与歴のある患者についてミトコンドリア障害の発生リスクが高いという既存の研究結果を NDB で検証することができれば興味深い。頭蓋内出血の重要な基礎疾患である高血圧の管理状況や、歯科レセプトを用いた抜歯の実施状況を把握するなど、血液凝固異常症患者の合併症管理を含めた包括的な受療・予防の全体像を NDB 分析により把握することも有益であると考ええる。

一方で、処方や治療の均てん化の目的で NDB 分析を実施するためには、地域別等、詳細な集計が必要であり、集計が詳細になるほど、患者数が 10 未満のセルが増え、NDB 利用にあたっての最小集計単位の原則に抵触するという問題に直面する。これは、NDB 分析を行うにあたっての解決すべき課題である。

E.2 本研究の 3 年間の達成度と今後への提言

本研究の目的は、(1) HIV 感染者/AIDS 患者及び血液凝固異常症患者が受けている治療の姿を全国を網羅する形で明らかにすること、(2) 通常の調査や支援の網からこぼれ落ちている可能性のある患者に悉皆調査の光を当て、適切な医療や支援につなげること、の 2 つである。

(1) HIV 感染者/AIDS 患者及び血液凝固異常症患者が受けている治療の姿を全国を網羅する形で明らかにすること

HIV 感染者/AIDS 患者については、この目的はほぼ達成された。HIV 感染者/AIDS 患者の疾患定義を NDB 上で構築することにほぼ成功し、医療機関をまたいだ受診や各患者の処方状況、併存疾患の有無を匿名のまま把握・追跡できる仕組み

が構築された。また、エイズ動向委員会提出資料のように、従来統計では把握しづらかった新規患者（罹患率）や死亡率についても、一定の妥当性をもって算出できることが示されている。NDBはデータベースであるため、一定の分析手法を開発しておけば、患者や医療専門職に追加負担をかけることなく、各種の追加分析や過去の再分析が容易となる点が大きな強みである。

血液凝固異常症患者についても、NDBによる疾患定義の構築にほぼ成功し、処方状況や各種の併存疾患を全国網羅的に把握することができるようになった。一方、血液凝固異常症患者治療における重要な指標である血液製剤の定期補充療法については、NDBでの定義付けは十分ではない。NDBの処方情報において、頓服頓用などの臨時・不定期の薬剤使用（処方ではなく内服・注射等の実際の使用）と定期補充療法のような定期的な薬剤使用を区別することはいまだ困難であり、今後の研究における課題として残っている。

今後、レセプトを用いて地域・全国におけるHIV感染者／AIDS患者または血液凝固異常症患者を集計する場合には、本研究班のまとめた「参考資料3NDB集計に使用したマスタ（最終版）」を用いることが望ましいと考える。

(2) 通常の調査や支援の網からこぼれ落ちている可能性のある患者に悉皆調査の光を当て、適切な医療や支援につなげること

NDBは保険診療の悉皆調査であるため、保険診療を受けている限り、全国のいずれの医療機関を受診しても、処方状況その他のレセプト情報を把握できる。NDB分析では、従来の抽出調査に基づく病院単位、製薬企業単位の調査に比べ、調査の妥当性を飛躍的に向上させることが可能となった。

本研究でも、より適切な処方が存在す

る可能性のある少数の患者が集計結果にて散見され、本研究の目的を技術的には達成できることが明らかとなった。しかし、NDBでは個人情報保護の観点から、該当する患者数が10未満の集計結果を公表できないという制限がある。そのため、集計者（研究代表者ら）には、「通常の調査や支援の網からこぼれ落ちている可能性のある患者」の存在が見えるが、外部への公表はできない状態であった。NDBの公表基準は2020年度中の変更が見込まれており、「具体的な数値は示さないまでも、当該患者がある地域に存在することを定性的に示す」ことにより、患者の福利厚生により即した治療への誘導を期待するといった工夫が構築されるべきである。これは今後の研究における喫緊の課題であると考えられる。

F. 知的所有権の出願・取得状況（予定を含む）

なし

G. 研究発表

G. 1 論文

1. Shinichiro Kubo, Tatsuya Noda, Tomoya Myojin, Yuichi Nishioka, Tsuneyuki Higashino, Hiroki Matsui, Genta Kato, Tomoaki Imamura.
National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan (NDB): Outline and Patient-Matching Technique.
bioRxiv. 280008. 2018 Mar. （査読なし）
2. 西岡祐一, 野田龍也, 今村知明.
世界最大の医療ビッグデータ NDB（ナショナルデータベース）の活用と今後の展望. 日本整形外科学会雑誌 93:959-979 2019.

G.2 口頭発表

1. 西岡祐一, 西岡祐一, 野田龍也, 明神大也, 明神大也, 久保慎一郎, 毛利貴子, 石井均, 今村知明.
日本の全保険診療患者を対象とした1型糖尿病発生率に関する記述疫学研究. 日本公衆衛生学会、2019年、高知.
2. 西岡祐一、岡田定規、野田龍也、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、毛利貴子、栗田博仁、赤井靖宏、今村知明、石井均.
レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた臨床研究：糖尿病患者における重症低血糖と急性冠症候群リスクの関連. 日本糖尿病学会、2019年、宮城.
3. 明神大也, 明神大也, 野田龍也, 西岡祐一, 西岡祐一, 久保慎一郎, 大寺祥佑, 加藤源太, 毛利貴子, 石井均, 今村知明.
ナショナルデータベース(NDB)の活用:糖尿病薬開始率とその患者数. 日本公衆衛生学会、2019年、高知.
4. 明神大也, 大林千穂, 吉澤明彦, 野田龍也, 久保慎一郎, 西岡祐一, 西岡祐一, 今村知明.
病理分野における NDB 解析の展望:病理検査と病理診断時の胃摘出術までの日数比較. 日本病理学会、2019年、東京.
5. 明神大也、西岡祐一、野田龍也、久保慎一郎、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、栗田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、石井均、今村知明.
レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB) を用いた 1 億人規模の臨床研究：日本の保険診療糖尿病患者の死亡率. 日本糖尿病学会、2019年、宮城.
6. 明神 大也、次橋 幸男、久保 慎一郎、西岡 祐一、中西 康裕、降旗志おり、東野 恒之、野田 龍也、今村 知明.
国保データベースを用いた医療レセプトと介護レセプト連結における名寄せの課題. 医療情報学連合大会、2019、千葉.
7. 明神大也、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一東野恒之、今村知明.
NDB 利用促進に向けた取り組み- 1 患者 1 データ化 -. 第 23 回日本医療情報学会春季学術大会、2019、熊本

資料一覧

- 【参考資料 1】NDB 集計に使用したマスタ
- 【参考資料 2】薬剤と傷病名の組み合わせ調査票
- 【参考資料 3】NDB 集計に使用したマスタ(最終版)
- 【資料 1】日本の血友病患者数
- 【資料 2】最終定義に基づいた NDB による血液凝固異常症患者数集計結果
- 【資料 3】特定地域の医療機関における血液製剤別処方人数と総処方量
- 【資料 4】手術後医学管理料(病院)を算定された人の血液製剤処方量
- 【資料 5】日本の HIV/AIDS 患者数
- 【資料 6】HIV 感染症を合併した血友病患者数
- 【資料 7】HIV 感染症単独で行った NDB 集計(レジメン集計—ピル数、合剤の内容)
- 【資料 8】HIV 感染症単独で行った NDB 集計(レジメン集計—一般名)
- 【資料 9】特定の HIV 薬を処方されている患者(HIV/AIDS 患者全体)
- 【資料 10】特定の HIV 薬を処方されている患者(HIV/AIDS+血友病の患者)
- 【資料 11】特定の HIV 薬と他の HIV 薬の組み合わせ処方(HIV/AIDS 患者全体)
- 【資料 12】特定の HIV 薬と他の HIV 薬の組み合わせ処方(HIV/AIDS+血友病の患者)
- 【資料 13】B 型肝炎併存の患者数
- 【資料 14】C 型肝炎併存の患者数
- 【資料 15】血友病患者への DAA 投与
- 【資料 16】C 型肝炎患者への DAA 投与
- 【資料 17】C 型肝炎合併薬害エイズ患者への DAA 投与
- 【資料 18】C 型肝炎合併の非薬害エイズ血友病患者への DAA 投与
- 【資料 19】人工関節置換術(股・膝)後の併存疾患
- 【資料 20】人工関節置換術(股・膝)後の感染
- 【資料 21】HIV 感染症_血液凝固異常症_糖尿病等集計
- 【資料 22】後天性血友病の患者数
- 【資料 23】悪性腫瘍の患者数(後天性血友病を除く血友病患者全体)
- 【資料 24】悪性腫瘍の患者数(後天性血友病を除く薬害エイズ患者)
- 【資料 25】後天性血友病の悪性腫瘍併存
- 【資料 26】がん病名集計
- 【資料 27】エイズ動向委員会_NDB 資料解説
- 【資料 28】第 154 回エイズ動向委員会提出資料_奈良医大野田

請求コード	血友病関連傷病名
2860001	血友病
2860002	血友病A
2861002	血友病B
2863004	プロトロンビン欠乏症
2863010	パラ血友病
2864002	フォンヴィレブランド病
2866028	フィブリノゲン欠乏症
2867001	後天性凝固因子欠乏症
2869004	凝固因子欠乏症
2869021	先天性血液凝固因子異常
7132002	血友病関節炎
8833200	血友病性出血
8833586	後天性低プロトロンビン血症
8836288	先天性第X因子欠乏症
8836289	先天性第XII因子欠乏症
8836290	先天性第XIII因子欠乏症
8836376	先天性無フィブリノゲン血症
8837880	低トロンビン血症
8839602	フィブリノゲン異常症
8839603	フィブリノゲン減少症
8841336	プロテインC欠乏症
8841337	プロテインS欠乏症
8845658	後天性血友病A
8845659	後天性血友病B
8845702	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病
8845703	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病
8845955	新生児低プロトロンビン血症
8847752	後天性第XIII因子欠乏症
8847783	先天性第XI因子欠乏症
8847221	先天性第VII因子欠乏症

請求コード	血友病薬剤一覧
621384801	ファイバ静注用500 500単位10mL(溶解液付)
621384901	ファイバ静注用1000 1,000単位20mL(溶解液付)
621929201	ノボセブンHI静注用1mg 1mL(溶解液付)
621929301	ノボセブンHI静注用2mg 2mL(溶解液付)
621929401	ノボセブンHI静注用5mg 5mL(溶解液付)
622366301	ノボセブンHI静注用1mg シリンジ 1mL(溶解液付)
622366401	ノボセブンHI静注用2mg シリンジ 2mL(溶解液付)
622366501	ノボセブンHI静注用5mg シリンジ 5mL(溶解液付)
622366601	ノボセブンHI静注用8mg シリンジ 8mL(溶解液付)
622367201	バイクロット配合注 第7a因子1.5mg第X因子15mg溶解液付
620003211	コージネイトFSバイオセット注250 250国際単位(溶解液付)
620003212	コージネイトFSバイオセット注500 500国際単位(溶解液付)
620003213	コージネイトFSバイオセット注1000 1000国際単位溶解液付
621990601	コージネイトFSバイオセット注2000 2000国際単位溶解液付
621769701	アドベイト静注用250 250単位(溶解液付)
621769801	アドベイト静注用500 500単位(溶解液付)
621769901	アドベイト静注用1000 1,000単位(溶解液付)
621984102	アドベイト静注用2000 2,000単位(溶解液付)
622440101	アドベイト静注用1500 1,500単位(溶解液付)
621153804	コンファクトF注射用250 250単位(溶解液付)
621153904	コンファクトF注射用500 500単位(溶解液付)
621154003	コンファクトF注射用1000 1,000単位(溶解液付)
622333001	ノボエイト静注用250 250国際単位(溶解液付)
622333101	ノボエイト静注用500 500国際単位(溶解液付)
622333201	ノボエイト静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)
622333301	ノボエイト静注用1500 1,500国際単位(溶解液付)
622333401	ノボエイト静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)
622333501	ノボエイト静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)
621153808	クロスエイトMC静注用250単位 (溶解液付)
621153909	クロスエイトMC静注用500単位 (溶解液付)
621154006	クロスエイトMC静注用1000単位 1,000単位(溶解液付)
622454901	クロスエイトMC静注用2000単位 2,000単位(溶解液付)
622402801	イロクテイト静注用250 250国際単位(溶解液付)
622402901	イロクテイト静注用500 500国際単位(溶解液付)
622403001	イロクテイト静注用750 750国際単位(溶解液付)
622403101	イロクテイト静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)
622403201	イロクテイト静注用1500 1,500国際単位(溶解液付)
622403301	イロクテイト静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)
622403401	イロクテイト静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)
620009263	クリスマシンM静注用400単位 (溶解液付)
620009264	クリスマシンM静注用1000単位 1,000単位(溶解液付)
622034001	ノバクトM静注用400単位 (溶解液付)
622034101	ノバクトM静注用800単位 (溶解液付)
622034201	ノバクトM静注用1600単位 1,600単位(溶解液付)
622408201	ノバクトM静注用500単位 (溶解液付)
622408301	ノバクトM静注用1000単位 1,000単位(溶解液付)
622408401	ノバクトM静注用2000単位 2,000単位(溶解液付)
621971601	ベネフィクス静注用500 500国際単位(溶解液付)
621971701	ベネフィクス静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)
621971801	ベネフィクス静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)
622273601	ベネフィクス静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)
622364101	オルプロリクス静注用500 500国際単位(溶解液付)
622364201	オルプロリクス静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)
622364301	オルプロリクス静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)
622364401	オルプロリクス静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)
622426501	オルプロリクス静注用250 250国際単位(溶解液付)
621154301	PPSB-HT静注用200単位「ニチャク」(溶解液付)
621154501	PPSB-HT静注用500単位「ニチャク」(溶解液付)
622488001	アディノベイト静注用500 500国際単位(溶解液付)
622488101	アディノベイト静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)
622488201	アディノベイト静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)

請求コード	血友病薬剤一覧
622489301	コバルトトリイ静注用250 250国際単位(溶解液付)
622489401	コバルトトリイ静注用500 500国際単位(溶解液付)
622489501	コバルトトリイ静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)
622489601	コバルトトリイ静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)
622489701	コバルトトリイ静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)
622526101	イデルピオン静注用250 250国際単位(溶解液付)
622526201	イデルピオン静注用500 500国際単位(溶解液付)
622526301	イデルピオン静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)
622526401	イデルピオン静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)
621772601	新鮮凍結血漿-LR日赤120 血液200mL相当に由来する血漿
621772701	新鮮凍結血漿-LR日赤240 血液400mL相当に由来する血漿
622192101	新鮮凍結血漿-LR「日赤」480 480mL
620004681	新鮮凍結血漿-LR「日赤」血液200mL相当に由来する血漿
620004682	新鮮凍結血漿-LR「日赤」血液400mL相当に由来する血漿
621610701	新鮮凍結血漿-LR「日赤」成分採血 450mL
640408044	新鮮凍結血漿「日赤」 160mL
640408045	新鮮凍結血漿「日赤」 450mL
640408046	新鮮凍結血漿「日赤」 80mL
642410070	デスマブレシン注4協和 4μg
620515101	デスマブレシン点鼻液0.01%協和 250μg
622450001	デスマブレシン点鼻スプレー0.01%「ILS」 500μg
660433041	デスマブレシン・スプレー2.5協和 125μg
660470004	デスマブレシン・スプレー10協和 500μg
620009198	フィログロミンP静注用 正常人血漿1mL中含有量240倍溶解液付
622424901	ノボサーティーン静注用2500 2,500国際単位(溶解液付)
620009274	フィブリノゲンHT静注用1g「ベネシス」(溶解液付)
621157504	フィブリノゲンHT静注用1g「JB」(溶解液付)
646340028	乾燥人フィブリノゲン 1g(溶解液付)
622442001	アコアラシ静注用600 600国際単位(溶解液付)
622583901	アコアラシ静注用1800 1,800国際単位(溶解液付)
640443038	注射用アナクトC2,500単位 (溶解液付)
620003432	アンソロピンP1500注射用 1,500単位(溶解液付)
621159206	アンソロピンP500注射用 500単位(溶解液付)
620003071	ノイアート静注用1500単位 1,500単位(溶解液付)
621159207	ノイアート静注用500単位 (溶解液付)
622424901	ノボサーティーン静注用2500 2,500国際単位(溶解液付)
620001351	献血ノンスロン1500注射用 1,500単位(溶解液付)
620001350	献血ノンスロン500注射用 500単位(溶解液付)
610463119	トランサミン散50%
610463120	トランサミン錠250mg
613320130	トランサミン錠500mg
620007000	トランサミンカプセル250mg
620007001	トランサミンシロップ5%
640463094	トランサミン注5% 5mL
640463095	トランサミン注10% 2.5mL
640463096	トランサミン注10% 10mL
610463060	カチーフN散10mg/g 1%
620003535	カチーフN錠5mg
620003536	カチーフN錠10mg
613150026	ケーワンカプセル10mg
613150027	ケーワンカプセル20mg
620004982	ケーワン錠5mg
613150128	ケイツーカプセル5mg
620004486	ケイツーシロップ0.2%
620717601	ケイツーN静注10mg
620715001	ビタミンK1錠5mg「ツルハラ」
613150088	ビタミンK1錠5mg
620003782	ビタミンK1注10mg
620003783	ビタミンK1注30mg
620003784	ビタミンK1注50mg

請求コード	HIV薬一覧
620005140	レトロビルカプセル100mg
610443081	ヴァイデックスECカプセル125 125mg
610443082	ヴァイデックスECカプセル200 200mg
620000425	エピビル錠150 150mg
620000426	エピビル錠300 300mg
610412192	ゼリットカプセル15 15mg
610412193	ゼリットカプセル20 20mg
621144201	コンビビル配合錠
620004998	ザイアジェン錠300mg
620001903	ビリアード錠300mg
621657001	エプジコム配合錠
620002488	エムトリバカプセル200mg
621662301	ツルバダ配合錠
610421341	ビラミューン錠200 200mg
620006943	ストックリン錠600mg
621932401	ストックリン錠200mg
620009086	インテレンス錠100mg
622149101	エジュラント錠25mg
622388001	コムプレラ配合錠
620004975	クリキシバンカプセル200mg
620003516	インビラーゼカプセル200mg
620004347	インビラーゼ錠500mg

請求コード	HIV薬一覧
621143701	ビラセプト錠250mg
621143601	ノービア内用液8% 80mg
622054801	ノービア錠100mg
621384201	カレトラ配合内用液
621765701	カレトラ配合錠
620000454	レイアタツツカプセル150mg
620000455	レイアタツツカプセル200mg
620002465	レクシヴァ錠700 700mg
620005884	プリジスタ錠300mg
622276701	プリジスタナイーブ錠800mg
622403501	プリジスタ錠600mg
620007815	アイセントレス錠400mg
622235801	スタリビルド配合錠
622336201	テビケイ錠50mg
622408801	トリーメク配合錠
620009087	シーエルセントリ錠150mg
621930301	プリジスタナイーブ錠400mg
622522601	デシコビ配合錠LT
622522501	デシコビ配合錠HT
622532301	プレジコビックス配合錠
622507701	ゲンボイヤ配合錠
610409330	ハイビッド錠0.375

医薬品コード	特定のHIV薬剤名
610443081	ヴァイデックスECカプセル125 125mg
610443082	ヴァイデックスECカプセル200 200mg
620001903	ビリアード錠300mg
620004975	クリキシバンカプセル200mg
620003516	インビラーゼカプセル200mg
620004347	インビラーゼ錠500mg
621143701	ビラセプト錠250mg
620002465	レクシヴァ錠700 700mg
610409330	ハイビッド錠0.375 0.375mg

請求コード	B型肝炎薬
610443041	ゼフィックス錠100 100mg
620002414	ヘプセラ錠10 10mg
620004355	バラクルード錠0.5mg
622533601	エンテカビル錠0.5mg「CMX」
622535001	エンテカビル錠0.5mg「DSEP」
622539701	エンテカビル錠0.5mg「タカタ」
622542901	エンテカビル錠0.5mg「トーフ」
622545901	エンテカビル錠0.5mg「YD」
622547801	エンテカビル錠0.5mg「武田テバ」
622553201	エンテカビル錠0.5mg「JG」
622560101	エンテカビルOD錠0.5mg「サワイ」
622562601	エンテカビル錠0.5mg「ファイザー」
622563301	エンテカビル錠0.5mg「KN」
622564401	エンテカビル錠0.5mg「サンド」
622566501	エンテカビル錠0.5mg「EE」
622336301	テノゼット錠300mg
620000440	ペガシス皮下注90 μ g 1mL

620000441	ペガシス皮下注180 μ g 1mL
622264301	ペガシス皮下注45 μ g 0.5mL
640453027	イントロンA注射用300 300万国際単位(溶解液付)
640453028	イントロンA注射用600 600万国際単位(溶解液付)
640453029	イントロンA注射用1,000 1,000万国際単位(溶解液付)
621163501	スミフェロン注バイアル300万IU 300万国際単位
621163701	スミフェロン注DS300万IU 300万国際単位
621163801	スミフェロン注DS600万IU 600万国際単位
621162801	フェロン注射用100万 100万国際単位(溶解液付)
621163001	フェロン注射用300万 300万国際単位(溶解液付)
621163101	フェロン注射用600万 600万国際単位(溶解液付)

請求コード	C型肝炎薬
622105001	テラビック錠250mg
622279401	ソブリアードカプセル100mg
622374101	バニヘップカプセル150mg
620002418	ペグイントロン皮下注用50 μ g/0.5mL用(溶解液付)
620002419	ペグイントロン皮下注用100 μ g/0.5mL用(溶解液付)
620002420	ペグイントロン皮下注用150 μ g/0.5mL用(溶解液付)
640453027	イントロンA注射用300 300万国際単位(溶解液付)
640453028	イントロンA注射用600 600万国際単位(溶解液付)
640453029	イントロンA注射用1,000 1,000万国際単位(溶解液付)
621163501	スミフェロン注バイアル300万IU 300万国際単位
621163701	スミフェロン注DS300万IU 300万国際単位
621163801	スミフェロン注DS600万IU 600万国際単位
621162801	フェロン注射用100万 100万国際単位(溶解液付)
621163001	フェロン注射用300万 300万国際単位(溶解液付)
621163101	フェロン注射用600万 600万国際単位(溶解液付)
620000440	ペガシス皮下注90 μ g 1mL
620000441	ペガシス皮下注180 μ g 1mL

622264301	ペガシス皮下注45 μ g 0.5mL
610451031	レベトールカプセル200mg
622083401	リバビリル錠200mgRE「マイラン」
620004852	コペガス錠200mg
622363601	スンベプラカプセル100mg
622363501	ダクルインザ錠60mg
622418801	ソバルディ錠400mg
622442101	ハーボニー配合錠
622445801	ヴィキラックス配合錠
622516001	グラジナ錠50mg
622515901	エレルサ錠50mg
622532601	ジメンシー配合錠
622579201	マヴィレット配合錠

請求コード	直接作用型肝炎ウイルス薬 (DAAs)	薬価基準収載日	施行日	承認年月日	発売日
622105001	テラビック錠250mg	2011年11月25日	販売中止	2011年9月26日	2011年11月28日
622363601	スンベプラカプセル100mg	2014年9月2日	平成30年4月1日	2014年7月1日	2014年9月2日
622363501	ダクルインザ錠60mg	2014年11月22日	平成30年4月1日	2014年9月27日	2014年11月22日
622374101	バニヘップカプセル150mg	2014年11月26日	平成28年11月19日より発売停止		
622418801	ソバルディ錠400mg	2015年5月20日	平成30年4月1日	2015年3月5日	2015年5月20日
622442101	ハーボニー配合錠	2015年8月1日	平成30年4月1日	2015年5月28日	2015年9月1日
622532601	ジメンシー配合錠	2017年2月15日	平成30年4月1日	2016年12月19日	2017年2月15日
622579201	マヴィレット配合錠	2017年11月1日	平成30年4月1日	2017年11月1日	2017年11月1日
622445801	ヴィキラックス配合錠	2015年11月26日	平成30年4月1日	2015年9月28日	2015年11月26日
622515901	エレルサ錠50mg	2016年11月18日	平成30年4月1日	2016年9月28日	2016年11月18日
622516001	グラジナ錠50mg	2016年11月18日	平成30年4月1日	2016年9月28日	2016年11月18日

人工関節置換術（膝・股）と術後感染の診療行為

150001010	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）（長径5cm未満）	創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径5センチメートル未満））
150001110	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）（長径5cm以上10cm未満）	創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径5センチメートル以上10センチメートル未満））
150001250	創傷処理（筋肉、臓器に達する）（長径5cm未満）	創傷処理（筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル未満））
150001310	創傷処理（筋肉、臓器に達する）（長径5cm以上10cm未満）	創傷処理（筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル以上10センチメートル未満））
150001470	真皮縫合加算	真皮縫合加算（露出部の創傷に限り真皮縫合を伴う縫合閉鎖を行った場合）
150001570	デブリードマン加算（汚染された挫創）	デブリードマン加算（汚染された挫創に対してデブリードマンを行った場合）
150001810	皮膚切開術（長径10cm未満）	皮膚切開術（長径10センチメートル未満）
150001910	皮膚切開術（長径10cm以上20cm未満）	皮膚切開術（長径10センチメートル以上20センチメートル未満）
150002010	皮膚切開術（長径20cm以上）	皮膚切開術（長径20センチメートル以上）
150002210	デブリードマン（100cm ² 未満）	デブリードマン（100平方センチメートル未満）
150002310	デブリードマン（100cm ² 以上3000cm ² 未満）	デブリードマン（100平方センチメートル以上3、000平方センチメートル未満）
150002410	デブリードマン（3000cm ² 以上）	デブリードマン（3、000平方センチメートル以上）
150004610	皮膚剥削術（25cm ² 未満）	皮膚剥削術（25平方センチメートル未満）
150004710	皮膚剥削術（25cm ² 以上100cm ² 未満）	皮膚剥削術（25平方センチメートル以上100平方センチメートル未満）
150004910	瘢痕拘縮形成手術（その他）	瘢痕拘縮形成手術（その他）
150006410	分層植皮術（25cm ² 未満）	分層植皮術（25平方センチメートル未満）
150006510	分層植皮術（25cm ² 以上100cm ² 未満）	分層植皮術（25平方センチメートル以上100平方センチメートル未満）
150006610	分層植皮術（100cm ² 以上200cm ² 未満）	分層植皮術（100平方センチメートル以上200平方センチメートル未満）
150006710	分層植皮術（200cm ² 以上）	分層植皮術（200平方センチメートル以上）
150007610	皮膚移植術（生体・培養）	皮膚移植術（生体・培養）
150007770	生体皮膚移植（提供者の療養上の費用）加算	生体皮膚移植（提供者の療養上の費用）加算
150007810	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（25cm ² 未満）	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（25平方センチメートル未満）
150007910	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（25～100cm ² 未満）	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（25平方センチメートル以上100平方センチメートル未満）
150008010	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（100cm ² 以上）	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（100平方センチメートル以上）
150008810	動脈（皮）弁術	動脈（皮）弁術
150009010	筋（皮）弁術	筋（皮）弁術
150009110	複合組織移植術	複合組織移植術
150009210	自家遊離複合組織移植術（顕微鏡下血管柄付き）	自家遊離複合組織移植術（顕微鏡下血管柄付きのもの）
150009410	筋膜切離術	筋膜切離術
150009510	筋膜切開術	筋膜切開術
150009610	筋切離術	筋切離術
150009710	股関節内転筋切離術	股関節内転筋切離術
150009810	股関節筋群解離術	股関節筋群解離術
150009910	筋炎手術（腸腰筋）	筋炎手術（腸腰筋）
150010010	筋炎手術（殿筋）	筋炎手術（殿筋）
150010110	筋炎手術（大腿筋）	筋炎手術（大腿筋）
150010210	筋炎手術（その他の筋）	筋炎手術（その他の筋）
150010610	筋肉内異物摘出術	筋肉内異物摘出術
150013410	腱移行術（その他）	腱移行術（その他のもの）
150013510	腱移植術（人工腱形成術を含む）（その他）	腱移植術（人工腱形成術を含む）（その他のもの）
150013710	骨穿孔術	骨穿孔術
150014010	骨搔爬術（大腿）	骨搔爬術（大腿）
150014210	骨搔爬術（下腿）	骨搔爬術（下腿）

150014410	骨搔爬術（膝蓋骨）	骨搔爬術（膝蓋骨）
150020710	骨内異物（挿入物を含む）除去術（大腿）	骨内異物（挿入物を含む。）除去術（大腿）
150020910	骨内異物（挿入物を含む）除去術（下腿）	骨内異物（挿入物を含む。）除去術（下腿）
150021110	骨内異物（挿入物を含む）除去術（膝蓋骨）	骨内異物（挿入物を含む。）除去術（膝蓋骨）
150021610	骨部分切除術（大腿）	骨部分切除術（大腿）
150021810	骨部分切除術（下腿）	骨部分切除術（下腿）
150022010	骨部分切除術（膝蓋骨）	骨部分切除術（膝蓋骨）
150022710	腐骨摘出術（大腿）	腐骨摘出術（大腿）
150022910	腐骨摘出術（下腿）	腐骨摘出術（下腿）
150023110	腐骨摘出術（膝蓋骨）	腐骨摘出術（膝蓋骨）
150023610	骨全摘術（大腿）	骨全摘術（大腿）
150023810	骨全摘術（下腿）	骨全摘術（下腿）
150024010	骨全摘術（膝蓋骨）	骨全摘術（膝蓋骨）
150027710	骨切り術（大腿）	骨切り術（大腿）
150027910	骨切り術（下腿）	骨切り術（下腿）
150028110	骨切り術（膝蓋骨）	骨切り術（膝蓋骨）
150028810	偽関節手術（大腿）	偽関節手術（大腿）
150029010	偽関節手術（下腿）	偽関節手術（下腿）
150029210	偽関節手術（膝蓋骨）	偽関節手術（膝蓋骨）
150031510	骨長調整手術（骨短縮術）	骨長調整手術（骨短縮術）
150031710	骨移植術（軟骨移植術を含む、同種骨移植、生体）	骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種骨移植）（生体）
150032010	関節切開術（股）	関節切開術（股）
150032110	関節切開術（膝）	関節切開術（膝）
150036310	関節内異物（挿入物を含む）除去術（股）	関節内異物（挿入物を含む。）除去術（股）
150036410	関節内異物（挿入物を含む）除去術（膝）	関節内異物（挿入物を含む。）除去術（膝）
150037210	関節滑膜切除術（股）	関節滑膜切除術（股）
150037310	関節滑膜切除術（膝）	関節滑膜切除術（膝）
150038050	膝蓋骨滑液嚢切除術	膝蓋骨滑液嚢切除術
150038250	滑液膜摘出術（股）	滑液膜摘出術（股）
150038350	滑液膜摘出術（膝）	滑液膜摘出術（膝）
150039210	関節鼠摘出手術（股）	関節鼠摘出手術（股）
150039310	関節鼠摘出手術（膝）	関節鼠摘出手術（膝）
150041810	関節切除術（股）	関節切除術（股）
150041910	関節切除術（膝）	関節切除術（膝）
150044410	非観血的関節授動術（股）	非観血的関節授動術（股）
150044510	非観血的関節授動術（膝）	非観血的関節授動術（膝）
150045310	観血的関節授動術（股）	観血的関節授動術（股）
150045410	観血的関節授動術（膝）	観血的関節授動術（膝）
150046210	観血的関節制動術（股）	観血的関節制動術（股）
150046310	観血的関節制動術（膝）	観血的関節制動術（膝）
150047110	観血的関節固定術（股）	観血的関節固定術（股）
150047210	観血的関節固定術（膝）	観血的関節固定術（膝）
150048310	関節形成手術（股）	関節形成手術（股）
150048410	関節形成手術（膝）	関節形成手術（膝）
150049170	関節挿入膜作成加算	関節挿入膜作成加算
150049510	人工骨頭挿入術（股）	人工骨頭挿入術（股）

150050410	人工関節置換術（股）	人工関節置換術（股）
150050510	人工関節置換術（膝）	人工関節置換術（膝）
150051610	四肢切断術（大腿）	四肢切断術（大腿）
150051710	四肢切断術（下腿）	四肢切断術（下腿）
150052210	四肢関節離断術（股）	四肢関節離断術（股）
150052310	四肢関節離断術（膝）	四肢関節離断術（膝）
150052950	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）
150053050	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）
150053610	断端形成術（軟部形成のみ）（その他）	断端形成術（軟部形成のもの）（その他）
150053810	断端形成術（骨形成を要する）（その他）	断端形成術（骨形成を要するもの）（その他）
150054210	ひょう疽手術（軟部組織）	ひょう疽手術（軟部組織のもの）
150054310	ひょう疽手術（骨、関節）	ひょう疽手術（骨、関節のもの）
150058810	腸骨窩膿瘍切開術	腸骨窩膿瘍切開術
150058910	腸骨窩膿瘍搔爬術	腸骨窩膿瘍搔爬術
150059410	骨盤骨搔爬術	骨盤骨搔爬術
150061910	骨盤内異物（挿入物）除去術	骨盤内異物（挿入物）除去術
150064210	骨盤切断術	骨盤切断術
150064810	臼蓋形成手術	臼蓋形成手術
150151350	四肢の血管吻合術	四肢の血管吻合術
150160610	骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術	骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術
150256010	人工関節再置換術（股）	人工関節再置換術（股）
150256110	人工関節再置換術（膝）	人工関節再置換術（膝）
150266970	創外固定器加算	創外固定器加算
150272610	皮膚剥削術（100cm ² 以上200cm ² 未満）	皮膚剥削術（100平方センチメートル以上200平方センチメートル未満）
150272910	筋膜移植術（その他）	筋膜移植術（その他のもの）
150283810	皮膚剥削術（200cm ² 以上）	皮膚剥削術（200平方センチメートル以上）
150284010	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）（長径10cm以上）	創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径10センチメートル以上））
150289310	骨内異物（挿入物を含む）除去術（その他）	骨内異物（挿入物を含む。）除去術（その他）
150289410	骨部分切除術（その他）	骨部分切除術（その他）
150295010	骨移植術（軟骨移植術を含む、自家骨移植）	骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家骨移植）
150300310	人工関節抜去術（股）	人工関節抜去術（股）
150300410	人工関節抜去術（膝）	人工関節抜去術（膝）
150305950	骨移植術（移植用骨採取のみ、自家骨移植、棘突起）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（自家骨移植）（棘突起）
150306050	骨移植術（移植用骨採取のみ、自家骨移植、腸骨翼）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（自家骨移植）（腸骨翼）
150306150	骨移植術（移植用骨採取のみ、自家骨移植、その他）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（自家骨移植）（その他）
150308510	股関節周囲筋腱解離術（変形性股関節症）	股関節周囲筋腱解離術（変形性股関節症）
150309410	関節鏡下関節内異物（挿入物を含む）除去術（股）	関節鏡下関節内異物（挿入物を含む。）除去術（股）
150309510	関節鏡下関節内異物（挿入物を含む）除去術（膝）	関節鏡下関節内異物（挿入物を含む。）除去術（膝）
150310310	関節鏡下関節滑膜切除術（股）	関節鏡下関節滑膜切除術（股）
150310410	関節鏡下関節滑膜切除術（膝）	関節鏡下関節滑膜切除術（膝）
150311210	関節鏡下滑液膜摘出術（股）	関節鏡下滑液膜摘出術（股）
150311310	関節鏡下滑液膜摘出術（膝）	関節鏡下滑液膜摘出術（膝）
150312010	関節鏡下膝蓋骨滑液嚢切除術	関節鏡下膝蓋骨滑液嚢切除術
150312310	関節鏡下関節鼠摘出手術（股）	関節鏡下関節鼠摘出手術（股）
150312410	関節鏡下関節鼠摘出手術（膝）	関節鏡下関節鼠摘出手術（膝）
150333710	全層植皮術（25cm ² 未満）	全層植皮術（25平方センチメートル未満）

150333810	全層植皮術（25cm ² 以上100cm ² 未満）	全層植皮術（25平方センチメートル以上100平方センチメートル未満）
150333910	全層植皮術（100cm ² 以上200cm ² 未満）	全層植皮術（100平方センチメートル以上200平方センチメートル未満）
150334010	全層植皮術（200cm ² 以上）	全層植皮術（200平方センチメートル以上）
150341750	骨移植術（移植用骨採取のみ、同種骨移植、生体、棘突起）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（生体）（棘突起）
150341850	骨移植術（移植用骨採取のみ、同種骨移植、生体、腸骨翼）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（生体）（腸骨翼）
150341950	骨移植術（移植用骨採取のみ、同種骨移植、生体、その他）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（生体）（その他）
150353010	難治性感染性偽関節手術（創外固定器）	難治性感染性偽関節手術（創外固定器によるもの）
150371810	遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付き）（その他）	遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付きのもの）（その他の場合）
150372010	組織拡張器による再建手術（その他）	組織拡張器による再建手術（一連につき）（その他の場合）
150380170	画像等手術支援加算（患者適合型手術支援ガイド）	画像等手術支援加算（患者適合型手術支援ガイドによるもの）
150383410	創傷処理（筋肉、臓器に達する）（長径10cm以上）（その他）	創傷処理（筋肉、臓器に達するもの）（長径10センチメートル以上）（その他のもの）
150383710	骨移植術（軟骨移植術を含む、同種骨移植、非生体、特殊）	骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種骨移植）（非生体）（特殊なもの）
150383810	骨移植術（軟骨移植術を含む、同種骨移植、非生体、その他）	骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種骨移植）（非生体）（その他の場合）
150383950	骨移植術（移植用骨採取のみ、同種骨移植、非生体、その他、棘突起）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（非生体）（その他の場合）（棘突起）
150384050	骨移植術（移植用骨採取のみ、同種骨移植、非生体、その他、腸骨翼）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（非生体）（その他の場合）（腸骨翼）
150384150	骨移植術（移植用骨採取のみ、同種骨移植、非生体、その他）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（非生体）（その他の場合）（その他）
150392050	骨移植術（自家骨又は非生体同種骨移植と人工骨移植の併施、特殊）	骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家骨又は非生体同種骨移植と人工骨移植の併施）（特殊なもの）
150392150	骨移植術（自家骨又は非生体同種骨移植と人工骨移植の併施、その他）	骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家骨又は非生体同種骨移植と人工骨移植の併施）（その他の場合）
150392250	骨移植術（移植用骨採取のみ、同種骨移植、非生体、特殊、棘突起）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（非生体）（特殊なもの）（棘突起）
150392350	骨移植術（移植用骨採取のみ、同種骨移植、非生体、特殊、腸骨翼）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（非生体）（特殊なもの）（腸骨翼）
150392450	骨移植術（移植用骨採取のみ、同種骨移植、非生体、特殊、その他）	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（非生体）（特殊なもの）（その他）
150392550	骨格筋採取（筋肉等に達する、長径5cm未満）	骨格筋由来細胞シート心表面移植術（骨格筋採取、筋肉・臓器に達するもの）（長径5センチメートル未満）
150392650	骨格筋採取（筋肉等に達する、長径5cm以上10cm未満）	骨格筋由来細胞シート心表面移植術（骨格筋採取、筋肉・臓器に達するもの）（長径5センチメートル以上10センチメートル未満）
150392750	骨格筋採取（筋肉等に達する、長径20cm以上、頭頸部）	骨格筋由来細胞シート心表面移植術（骨格筋採取、筋肉・臓器に達するもの）（長径20センチメートル以上）（頭頸部のもの）
150392850	骨格筋採取（筋肉等に達する、長径10cm以上、その他）	骨格筋由来細胞シート心表面移植術（骨格筋採取、筋肉・臓器に達するもの）（長径10センチメートル以上）（その他のもの）
150392950	骨格筋採取（筋肉等に達しない、長径5cm未満）	骨格筋由来細胞シート心表面移植術（骨格筋採取、筋肉・臓器に達しないもの）（長径5センチメートル未満）
150393050	骨格筋採取（筋肉等に達しない、長径5cm以上10cm未満）	骨格筋由来細胞シート心表面移植術（骨格筋採取、筋肉・臓器に達しないもの）（長径5センチメートル以上10センチメートル未満）
150393150	骨格筋採取（筋肉等に達しない、長径10cm以上）	骨格筋由来細胞シート心表面移植術（骨格筋採取、筋肉・臓器に達しないもの）（長径10センチメートル以上）
150396210	関節鏡下関節授動術（股）	関節鏡下関節授動術（股）
150396310	関節鏡下関節授動術（膝）	関節鏡下関節授動術（膝）

骨粗鬆症治療薬マスタ

薬効分類コード	
3211	
3213	
3214	
3112	
3999の一部	
2475	
2479の一部	
2473	
2439	
3160	
622239101	プラリア皮下注60mgシリンジ 1mL
620001904	エビスタ錠60mg
622532201	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「DK」
622503101	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「EE」
622498201	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「KN」
622520601	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「SN」
622458301	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「サワイ」
622495301	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「テバ」
622514501	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「トーワ」
622568701	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「日医工」
622554801	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「日新」
622003201	ビビアント錠20mg
643990036	エルシトニン注10単位 10エルカトニン単位1mL
643990143	エルシトニン注20S 20エルカトニン単位1mL
620002178	エルシトニン注20Sディスポ 20エルカトニン単位1mL
620003706	エルシトニン注40単位 40エルカトニン単位1mL
621722001	アデビロック筋注20単位 20エルカトニン単位1mL
640406006	アデビロック注10 10エルカトニン単位1mL
640406007	アデビロック注40 40エルカトニン単位1mL
620887605	エカテニン筋注10単位 10エルカトニン単位1mL
621695704	エカテニン筋注20単位 20エルカトニン単位1mL
640407117	エカトニン注10 10エルカトニン単位1mL
640407118	エカトニン注40 40エルカトニン単位1mL
620003431	エスカトニール筋注10単位 10エルカトニン単位1mL
620002901	エスカトニール筋注20単位 20エルカトニン単位1mL
643990127	エリンダシン注10単位 10エルカトニン単位1mL
620002902	エリンダシン注20単位 20エルカトニン単位1mL
620003200	エリンダシン注40単位 40エルカトニン単位1mL

640461005	エルカトニン10エルカトニン単位1mL注射液
620003460	エルカトニン20エルカトニン単位1mL注射液
620006755	エルカトニン40エルカトニン単位1mL注射液
622326400	エルカトニン40エルカトニン単位1mL注射液
620888601	エルカトニン筋注10単位「F」 10エルカトニン単位1mL
620888901	エルカトニン筋注10単位「NP」 10エルカトニン単位1mL
620887902	エルカトニン筋注10単位「TBP」 10エルカトニン単位1mL
620888201	エルカトニン筋注10単位「サワイ」 10エルカトニン単位1mL
620888501	エルカトニン筋注10単位「日医工」 10エルカトニン単位1mL
621697201	エルカトニン筋注20単位「F」 20エルカトニン単位1mL
622033501	エルカトニン筋注20単位「NP」 20エルカトニン単位1mL
621696001	エルカトニン筋注20単位「TBP」 20エルカトニン単位1mL
621702801	エルカトニン筋注20単位「サワイ」 20エルカトニン単位1mL
621695802	エルカトニン筋注20単位「日医工」 20エルカトニン単位1mL
620887201	エルカトニン注40単位「F」 40エルカトニン単位1mL
620887301	エルカトニン注40単位「NP」 40エルカトニン単位1mL
620886601	エルカトニン注40単位「TBP」 40エルカトニン単位1mL
620004307	エルカ筋注10単位 10エルカトニン単位1mL
643990036	エルシトニン注10単位 10エルカトニン単位1mL
643990143	エルシトニン注20S 20エルカトニン単位1mL
620002178	エルシトニン注20Sディスポ 20エルカトニン単位1mL
620003706	エルシトニン注40単位 40エルカトニン単位1mL
643990129	エルベスタール注10 10エルカトニン単位1mL
620002903	エルベスタール注20 20エルカトニン単位1mL
640406036	オステトニン注10 10エルカトニン単位1mL
620002919	オステトニン注20 20エルカトニン単位1mL
640406037	オステトニン注40 40エルカトニン単位1mL
643990134	ボセピン注10 10エルカトニン単位1mL
620002996	ボセピン注20S 20エルカトニン単位1mL
640432014	ラスカルトン10ディスポ 10エルカトニン単位1mL
643990113	ラスカルトン注10 10エルカトニン単位1mL
620003005	ラスカルトン注20 20エルカトニン単位1mL
643990112	ラスカルトン注40 40エルカトニン単位1mL
620007306	サケカルシトニン筋注10Uシリンジタイヨー 10IU0.5mL
620006230	サケカルシトニン筋注10国際単位「タイヨー」 0.5mL
613990084	ダイドロネル錠200 200mg
622223501	ボナロン経口ゼリー35mg
620004359	ボナロン錠35mg
610451021	ボナロン錠5mg
622143701	ボナロン点滴静注バッグ900μg 100mL
620004357	フォサマック錠35mg
610451020	フォサマック錠5 5mg

622118301	アレンドロン酸錠3.5mg「DK」
622121601	アレンドロン酸錠3.5mg「F」
622291101	アレンドロン酸錠3.5mg「JG」
622532101	アレンドロン酸錠3.5mg「RTO」
622122501	アレンドロン酸錠3.5mg「SN」
622222201	アレンドロン酸錠3.5mg「TCK」
622186901	アレンドロン酸錠3.5mg「YD」
622091401	アレンドロン酸錠3.5mg「アメル」
622255901	アレンドロン酸錠3.5mg「サワイ」
622101601	アレンドロン酸錠3.5mg「タイヨー」
622101602	アレンドロン酸錠3.5mg「テバ」
622110701	アレンドロン酸錠3.5mg「トーワ」
622113503	アレンドロン酸錠3.5mg「ファイザー」
622113502	アレンドロン酸錠3.5mg「マイラン」
622128001	アレンドロン酸錠3.5mg「日医工」
620009305	アレンドロン酸錠5mg「DK」
622121501	アレンドロン酸錠5mg「F」
622291001	アレンドロン酸錠5mg「JG」
622532001	アレンドロン酸錠5mg「RTO」
620009303	アレンドロン酸錠5mg「SN」
622222101	アレンドロン酸錠5mg「TCK」
622186801	アレンドロン酸錠5mg「YD」
622091301	アレンドロン酸錠5mg「アメル」
622255801	アレンドロン酸錠5mg「サワイ」
620009304	アレンドロン酸錠5mg「タイヨー」
621896801	アレンドロン酸錠5mg「テバ」
622110601	アレンドロン酸錠5mg「トーワ」
621977502	アレンドロン酸錠5mg「ファイザー」
621977501	アレンドロン酸錠5mg「マイラン」
622127901	アレンドロン酸錠5mg「日医工」
622545801	アレンドロン酸点滴静注バッグ900μg「DK」 100mL
622538501	アレンドロン酸点滴静注バッグ900μg「HK」 100mL
620004871	ベネット錠17.5mg
610462003	ベネット錠2.5mg
622224701	ベネット錠7.5mg
620004865	アクトネル錠17.5mg
610462001	アクトネル錠2.5mg
622226001	アクトネル錠7.5mg
622243601	リセドロン酸Na塩錠17.5mg「タナベ」
622053701	リセドロン酸Na塩錠2.5mg「タナベ」
622248801	リセドロン酸Na錠17.5mg「F」
622247201	リセドロン酸Na錠17.5mg「FFP」

622257301	リセドロン酸Na錠17.5mg「JG」
622258401	リセドロン酸Na錠17.5mg「NP」
622260601	リセドロン酸Na錠17.5mg「SN」
622233301	リセドロン酸Na錠17.5mg「YD」
622239001	リセドロン酸Na錠17.5mg「ZE」
622219901	リセドロン酸Na錠17.5mg「サワイ」
622246001	リセドロン酸Na錠17.5mg「サンド」
622227101	リセドロン酸Na錠17.5mg「タカタ」
622241501	リセドロン酸Na錠17.5mg「テバ」
622236401	リセドロン酸Na錠17.5mg「トーワ」
622206401	リセドロン酸Na錠17.5mg「ファイザー」
622259901	リセドロン酸Na錠17.5mg「ユートク」
622235201	リセドロン酸Na錠17.5mg「杏林」
622229301	リセドロン酸Na錠17.5mg「日医工」
622245401	リセドロン酸Na錠17.5mg「日新」
622228901	リセドロン酸Na錠17.5mg「明治」
622159101	リセドロン酸Na錠2.5mg「F」
622061801	リセドロン酸Na錠2.5mg「FFP」
622205001	リセドロン酸Na錠2.5mg「JG」
622124401	リセドロン酸Na錠2.5mg「NP」
622260501	リセドロン酸Na錠2.5mg「SN」
622188801	リセドロン酸Na錠2.5mg「YD」
622058101	リセドロン酸Na錠2.5mg「ZE」
622053501	リセドロン酸Na錠2.5mg「サワイ」
622245901	リセドロン酸Na錠2.5mg「サンド」
622045601	リセドロン酸Na錠2.5mg「タカタ」
622097202	リセドロン酸Na錠2.5mg「テバ」
622110801	リセドロン酸Na錠2.5mg「トーワ」
622147701	リセドロン酸Na錠2.5mg「ファイザー」
622122401	リセドロン酸Na錠2.5mg「ユートク」
622235101	リセドロン酸Na錠2.5mg「杏林」
622097201	リセドロン酸Na錠2.5mg「興和テバ」
622130101	リセドロン酸Na錠2.5mg「日医工」
622063401	リセドロン酸Na錠2.5mg「日新」
622041601	リセドロン酸Na錠2.5mg「明治」
622238401	リセドロン酸ナトリウム錠17.5mg「アメル」
622252601	リセドロン酸ナトリウム錠17.5mg「ケミファ」
622050601	リセドロン酸ナトリウム錠2.5mg「アメル」
622118001	リセドロン酸ナトリウム錠2.5mg「ケミファ」
622077101	リセドロン酸ナトリウム錠2.5mg「マイラン」
620009100	リカルボン錠1mg
622094601	リカルボン錠50mg

B型肝炎傷病名

病名	請求コード	ICDコード	ICDコード
B型肝炎硬変	8843999	B181	
B型代償性肝硬変	8848181	B181	
B型非代償性肝硬変	8848182	B181	
B型慢性肝炎	0703003	B181	
急性B型肝炎・肝性昏睡合併あり	8842151	B162	
B型肝炎	0703002	B169	
B型肝炎ウイルス感染	8830062	B169	
B型肝炎ウイルス性関節炎	8848430	B169	M015
B型急性肝炎	0703021	B169	
B型劇症肝炎	8830063	B169	
HBウイルス腎症	8830087	B169	N080
B型肝炎合併妊娠	8848013	O984	B169

調査票（備考）

薬剤番号	2013年～2015年に使われた薬剤 (2013年までに使われなくなった薬剤は対象外です)	血液製剤の備考	血液製剤の備考	血友病以外の薬病への使用(適切な処方を含む。)がある場合はその薬病名を記載ください。
31	クロスエイトMC静注用1000単位 1,000単位(溶解液付)	621154003		
32	クロスエイトMC静注用2000単位 2,000単位(溶解液付)	622454001	第Ⅷ因子欠乏の所見を見て「後天性」という診断がつく前にありえず第Ⅷ因子製剤が使用されるケースが散見される(特に後天性血友病Aに関連し)	
33	イロクテイト静注用250 250国際単位(溶解液付)	622402001		
34	イロクテイト静注用500 500国際単位(溶解液付)	622402001		
35	イロクテイト静注用750 750国際単位(溶解液付)	622403001		
36	イロクテイト静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	622401001		
37	イロクテイト静注用1500 1,500国際単位(溶解液付)	622403001		
38	イロクテイト静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	622403001		
39	イロクテイト静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)	622404001		
40	クリスマンM静注用400単位 (溶解液付)	620002002		
41	クリスマンM静注用1000単位 1,000単位(溶解液付)	620002004	稀ではあるがTⅡやプロテインC欠乏症や新生児低PT血症などで使われる可能性がある(特に第Ⅷ因子、第Ⅸ因子インヒビター陽性先天性血友病に関連し)	
42	ノバクトM静注用400単位 (溶解液付)	622014001		
43	ノバクトM静注用800単位 (溶解液付)	622014101		
44	ノバクトM静注用1600単位 1,600単位(溶解液付)	622014201		
45	ノバクトM静注用500単位 (溶解液付)	622402001		
46	ノバクトM静注用1000単位 1,000単位(溶解液付)	622403001		
47	ノバクトM静注用2000単位 2,000単位(溶解液付)	622404001		
48	ベネフィクス静注用500 500国際単位(溶解液付)	621811001		
49	ベネフィクス静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	621811701		
50	ベネフィクス静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	621811801		
51	ベネフィクス静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)	622713001		
52	オルプロリクス静注用500 500国際単位(溶解液付)	622364101		
53	オルプロリクス静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	622364201		
54	オルプロリクス静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	622364301		
55	オルプロリクス静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)	622364401		
56	オルプロリクス静注用250 250国際単位(溶解液付)	622426501		
57	PPSB-HT静注用200単位「ニテヤク」(溶解液付)	621154001		
58	PPSB-HT静注用500単位「ニテヤク」(溶解液付)	621154001	稀ではあるがTⅡやプロテインC欠乏症や新生児低PT血症などで使われる可能性がある(特に第Ⅷ因子、第Ⅸ因子インヒビター陽性先天性血友病に関連し)	

薬剤番号	2013年～2015年に使われた薬剤 (2013年までに使われなくなった薬剤は対象外です)	血液製剤の備考	血液製剤の備考	血友病以外の薬病への使用(適切な処方を含む。)がある場合はその薬病名を記載ください。
59	アデノバイト静注用500 500国際単位(溶解液付)	622468000	第Ⅷ因子欠乏の所見を見て「後天性」という診断がつく前にありえず第Ⅷ因子製剤が使用されるケースが散見される(特に後天性血友病Bに関連し)	稀ではあるがTⅡやプロテインC欠乏症や新生児低PT血症などで使われる可能性がある(特に第Ⅷ因子、第Ⅸ因子インヒビター陽性先天性血友病に関連し)
	アデノバイト静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	622468101		
	アデノバイト静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	622468201		
60	コバルトイ静注用250 250国際単位(溶解液付)	622469000	第Ⅷ因子欠乏の所見を見て「後天性」という診断がつく前にありえず第Ⅷ因子製剤が使用されるケースが散見される(特に後天性血友病Bに関連し)	稀ではあるがTⅡやプロテインC欠乏症や新生児低PT血症などで使われる可能性がある(特に第Ⅷ因子、第Ⅸ因子インヒビター陽性先天性血友病に関連し)
	コバルトイ静注用500 500国際単位(溶解液付)	622469001		
	コバルトイ静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	622469001		
	コバルトイ静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	622469001		
	コバルトイ静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)	622469701		
61	イデルピオン静注用250 250国際単位(溶解液付)	622526101		
	イデルピオン静注用500 500国際単位(溶解液付)	622526201	稀ではあるがTⅡやプロテインC欠乏症や新生児低PT血症などで使われる可能性がある(特に第Ⅷ因子、第Ⅸ因子インヒビター陽性先天性血友病に関連し)	
	イデルピオン静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	622526301		
	イデルピオン静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	622526401		
62	新鮮凍結血漿-LR「日赤」120 血液200mL相当に由来する血漿	621172001		
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」240 血液400mL相当に由来する血漿	621172701		
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」480 480mL	622192101		
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」血液200mL相当に由来する血漿	620004801	廃止日	
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」血液400mL相当に由来する血漿	620004801	廃止日	
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」成分採血 450mL	621610701	廃止日	
	新鮮凍結血漿「日赤」160mL	644000401	廃止日	
	新鮮凍結血漿「日赤」450mL	644000401	廃止日	
	新鮮凍結血漿「日赤」80mL	644000401	廃止日	
63	デスマプレシ注4塩和 4μg	642410070		中枢性神経症、敗血症
	デスマプレシ点鼻液0.01%塩和 250μg	620615101		
	デスマプレシ点鼻スプレー0.01%「ILS」500μg	622450001		
	デスマプレシ・スプレー2.5塩和 125μg	604420401		
	デスマプレシ・スプレー10塩和 500μg	604420004		
64	フィボロガミンP静注 正常人血漿1mL中含有量240倍溶解液付	620000130		
65	ノボサチーン静注用2500 2,500国際単位(溶解液付)	622424001		
66	フィブリノゲンHT静注用1g「ベネシス」(溶解液付)	620000274		
67	フィブリノゲンHT静注用1g「JB」(溶解液付)	621157504		
	乾燥人フィブリノゲン 1g(溶解液付)	648340020		

薬剤番号	2013年～2015年に使われた薬剤 (2013年までに使われなくなった薬剤は対象外です)	血液製剤の備考	血液製剤の備考	血液製剤以外の薬品への使用(適応外処方を含む) がある場合はその薬品名を記載ください。
68	アコアラン静注用600 600国際単位(溶解液付)	622442001		
	アコアラン静注用1800 1,800国際単位(溶解液付)	622183001		
69	注射用アナクトC2, 500単位 (溶解液付)	645443033		
72	アンスロピンP1500注射用 1,500単位(溶解液付)	620500432		
73	アンスロピンP500注射用 500単位(溶解液付)	621150206		
74	ノイアート静注用1500単位 1,500単位(溶解液付)	620003071		
75	ノイアート静注用500単位 (溶解液付)	621150207		
78	ノボサートイン静注用2500 2,500国際単位(溶解液付)	622424901		
80	解血ノンスロン1500注射用 1,500単位(溶解液付)	620001351		
81	解血ノンスロン500注射用 500単位(溶解液付)	620001350		
82	トランサミン錠50%	610483119		
83	トランサミン錠250mg	610483120		
84	トランサミン錠500mg	613220130		
	トランサミンカプセル250mg	620007000		
	トランサミンシロップ5%	620007001		
	トランサミン注5% 5mL	645463034		
	トランサミン注10% 2.5mL	645463035		
	トランサミン注10% 10mL	645463036		
85	カチーフN錠10mg/g 1%	610463090		
	カチーフN錠5mg	620003033		
	カチーフN錠10mg	620003036		
	ケーワンカプセル10mg	613100026		
	ケーワンカプセル20mg	613100027		
	ケーワン錠5mg	620004982		
	ケイツーカプセル5mg	613100120		
	ケイツーシロップ0.2%	620004436		
	ケイツーN静注10mg	620717001		
	ビタミンK1錠5mg「ツルハラ」	620715001		
	ビタミンK1錠5 5mg	613100038		
	ビタミンK1注10mg	620003782		
	ビタミンK1注30mg	620003783		
	ビタミンK1注50mg	620003784		

<図表> HIV薬剤

種類	品名	規格・単位	薬価	薬効分類	経過措置日又は使用期限	麻毒	収載方式	施行日	請求コード	
逆転写酵素阻害薬	レトロビルカプセル100mg	カプセル	284.40円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620005140	
	ヴァイデックスECカプセル125 125mg	カプセル	1,034.70円	625			官報告示等	平成28年4月1日	610443081	
	ヴァイデックスECカプセル200 200mg	カプセル	1,561.00円	625			官報告示等	平成28年4月1日	610443082	
	エビビル錠150 150mg	錠	840.70円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620000425	
	エビビル錠300 300mg	錠	1,649.10円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620000426	
	ゼリットカプセル15 15mg	カプセル	409.80円	625			官報告示等	平成28年4月1日	610412192	
	ゼリットカプセル20 20mg	カプセル	417.60円	625			官報告示等	平成28年4月1日	610412193	
	コンビル配合錠	錠	1,615.60円	625			官報告示等	平成28年4月1日	621144201	
	エプジコム配合錠	錠	3,981.10円	625			官報告示等	平成28年4月1日	621657001	
	ザイアジェン錠300mg	錠	863.00円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620004998	
	ピリアード錠300mg	錠	2,044.80円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620001903	
	ツルバダ配合錠	錠	3,863.60円	625			官報告示等	平成28年4月1日	621662301	
	エムトリバカプセル200mg	カプセル	1,664.30円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620002488	
	デジコビ配合錠HT	錠	3,934.30円	625			官報告示等	平成28年12月21日	622522501	
	デジコビ配合錠LT	錠	2,748.20円	625			官報告示等	平成28年12月21日	622522601	
	ピラミューン錠200 200mg	錠	833.30円	625			官報告示等	平成28年4月1日	610421341	
	ストックリン錠600mg	錠	1,611.90円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620006943	
	ストックリン錠200mg	錠	563.30円	625			官報告示等	平成28年4月1日	621932401	
	インテレンス錠100mg	錠	636.40円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620009086	
	エジュラン錠25mg	錠	2,108.70円	625			官報告示等	平成28年4月1日	622149101	
	コムブレラ配合錠	錠	5,817.80円	625			官報告示等	平成28年4月1日	622388001	
	プロテアーゼ阻害薬	クリキシバンカプセル200mg	カプセル	103.30円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620004975
		インビラーゼカプセル200mg	カプセル	130.10円	625	平成30年3月31日		官報告示等	平成29年3月17日	620003516
		インビラーゼ錠500mg	錠	362.90円	625	平成30年3月31日		官報告示等	平成29年3月17日	620004347
		ノービア内用液8% 80mg	mL	107.70円	625			官報告示等	平成28年4月1日	621143601
		ノービア錠100mg	錠	106.30円	625			官報告示等	平成28年4月1日	622054801
		カレトラ配合内用液	mL	147.40円	625			官報告示等	平成28年4月1日	621384201
カレトラ配合錠		錠	330.70円	625			官報告示等	平成28年4月1日	621765701	
ピラセプト錠250mg		錠	139.80円	625			官報告示等	平成28年4月1日	621143701	
レイアタツカプセル150mg		カプセル	568.00円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620000454	
レイアタツカプセル200mg		カプセル	765.70円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620000455	
レクシヴァ錠700 700mg		錠	796.50円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620002465	
ブリジスタナイーブ錠800mg		錠	1,896.50円	625			官報告示等	平成28年4月1日	622276701	
ブリジスタ錠600mg		錠	885.00円	625			官報告示等	平成28年4月1日	622403501	
プレジコビックス配合錠		錠	2,002.80円	625			官報告示等	平成28年12月7日	622532301	
インテグラーゼ阻害薬	アイセントレス錠400mg	錠	1,553.60円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620007815	
	スタリビルド配合錠	錠	6,942.10円	625			官報告示等	平成28年4月1日	622235801	
	テキケイ錠50mg	錠	3,262.60円	625			官報告示等	平成28年4月1日	622336201	
	トリメク配合錠	錠	7,000.30円	625			官報告示等	平成28年4月1日	622408801	
	ゲンボイヤ配合錠	錠	6,942.10円	625			官報告示等	平成28年6月29日	622507701	
侵入阻害薬	シーエルセントリ錠150mg	錠	2,343.90円	625			官報告示等	平成28年4月1日	620009087	

	全体	血友病	血友病A	血友病B
30～34歳	26			15
35～39歳	110	14	75	36
40～44歳	130	11	105	25
45～49歳	94	10	76	18
50～54歳	76		62	13
55～59歳	34		22	
60～64歳	24		16	
65～69歳	10			
総計	504	57	372	122

2. 薬剤と傷病名の組み合わせ調査結果

薬剤番号	2012年～2018年に使われた薬剤 (2012年までに使われなくなった薬剤は対象外です)	血友病	血友病A	血友病B	プロロンピン欠乏症	パラボキサミン	フォンウィルブラント病	フィブリノゲン欠乏症	先天性凝固因子欠乏症	凝固因子欠乏症	先天性血漿凝固因子異常	血友病様因子	アンチロビン血症	血友病性出血	先天性低プロロンピン血症	先天性XII因子欠乏症	先天性XI因子欠乏症	先天性XIII因子欠乏症
		2880001	2880002	2881002	2883004	2883010	2884002	2886028	2887001	2889004	2889021	7120002	8830404	8833200	8832088	8834288	8836288	8836290
1	ファイバ®静注用500 500単位9mL(溶解液付)																	
2	ファイバ®静注用1000 1,000単位19mL(溶解液付)																	
3	ノボセプト®静注用1mg 0mL(溶解液付)																	
4	ノボセプト®静注用2mg 1mL(溶解液付)																	
5	ノボセプト®静注用5mg 4mL(溶解液付)																	
6	ノボセプト®静注用1mg シリンジ 0mL(溶解液付)																	
7	ノボセプト®静注用2mg シリンジ 1mL(溶解液付)																	
8	ノボセプト®静注用5mg シリンジ 4mL(溶解液付)																	
9	ノボセプト®静注用8mg シリンジ 7mL(溶解液付)																	
10	バイクロット配合注 第7a因子1.5mg第X因子14mg溶解液付																	
11	コージェイトFS®バイオセット注250 249国際単位(溶解液付)																	
12	コージェイトFS®バイオセット注500 499国際単位(溶解液付)																	
13	コージェイトFS®バイオセット注1000 999国際単位(溶解液付)																	
14	コージェイトFS®バイオセット注2000 1999国際単位(溶解液付)																	
15	アドベイト®静注用250 249単位(溶解液付)																	
16	アドベイト®静注用500 499単位(溶解液付)																	
17	アドベイト®静注用1000 1,001単位(溶解液付)																	
18	アドベイト®静注用2000 2,001単位(溶解液付)																	
19	アドベイト®静注用1500 1,499単位(溶解液付)																	
20	コンファクトF®注射用250 249単位(溶解液付)																	
21	コンファクトF®注射用500 499単位(溶解液付)																	
22	コンファクトF®注射用1000 1,001単位(溶解液付)																	
23	ノボエイト®静注用250 249国際単位(溶解液付)																	
24	ノボエイト®静注用500 499国際単位(溶解液付)																	
25	ノボエイト®静注用1000 1,001国際単位(溶解液付)																	
26	ノボエイト®静注用1500 1,499国際単位(溶解液付)																	
27	ノボエイト®静注用2000 2,001国際単位(溶解液付)																	
28	ノボエイト®静注用3000 3,001国際単位(溶解液付)																	

薬剤番号	2013年～2015年に使われた薬剤 (2012年までに使われなくなった薬剤は対象外です)	先天性無フィブリノゲン血症	低プロロンピン血症	フィブリノゲン異常	フィブリノゲン減少症	プロテインC欠乏症	プロテインS欠乏症	先天性血友病A	先天性血友病B	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病	新生児期プロロンピン血症	アンチロビン血症	先天性XI因子欠乏症	先天性XII因子欠乏症	先天性XIII因子欠乏症	
		8836376	8837880	8839802	8839803	8841336	8841337	8845058	8845059	8845702	8845703	8849805	8847158	8847752	8847783	8847221	
1	ファイバ®静注用500 500単位9mL(溶解液付)																
2	ファイバ®静注用1000 1,000単位19mL(溶解液付)																
3	ノボセプト®静注用1mg 0mL(溶解液付)																
4	ノボセプト®静注用2mg 1mL(溶解液付)																
5	ノボセプト®静注用5mg 4mL(溶解液付)																
6	ノボセプト®静注用1mg シリンジ 0mL(溶解液付)																
7	ノボセプト®静注用2mg シリンジ 1mL(溶解液付)																
8	ノボセプト®静注用5mg シリンジ 4mL(溶解液付)																
9	ノボセプト®静注用8mg シリンジ 7mL(溶解液付)																
10	バイクロット配合注 第7a因子1.5mg第X因子14mg溶解液付																
11	コージェイトFS®バイオセット注250 249国際単位(溶解液付)																
12	コージェイトFS®バイオセット注500 499国際単位(溶解液付)																
13	コージェイトFS®バイオセット注1000 999国際単位(溶解液付)																
14	コージェイトFS®バイオセット注2000 1999国際単位(溶解液付)																
15	アドベイト®静注用250 249単位(溶解液付)																
16	アドベイト®静注用500 499単位(溶解液付)																
17	アドベイト®静注用1000 1,001単位(溶解液付)																
18	アドベイト®静注用2000 2,001単位(溶解液付)																
19	アドベイト®静注用1500 1,499単位(溶解液付)																
20	コンファクトF®注射用250 249単位(溶解液付)																
21	コンファクトF®注射用500 499単位(溶解液付)																
22	コンファクトF®注射用1000 1,001単位(溶解液付)																
23	ノボエイト®静注用250 249国際単位(溶解液付)																
24	ノボエイト®静注用500 499国際単位(溶解液付)																
25	ノボエイト®静注用1000 1,001国際単位(溶解液付)																
26	ノボエイト®静注用1500 1,499国際単位(溶解液付)																
27	ノボエイト®静注用2000 2,001国際単位(溶解液付)																
28	ノボエイト®静注用3000 3,001国際単位(溶解液付)																

薬剤番号	2013年～2015年に使われた薬剤 (2013年までに使われなくなった薬剤は対象外です)	血液製剤の備考	血液製剤の備考	血液製剤以外の傷病への使用(適応外処方を含む) がある場合はその傷病名を記載ください。
1	ファイバ静注用500 500単位10mL(溶解液付)	021204831		
2	ファイバ静注用1000 1,000単位20mL(溶解液付)	021204901		
3	ノボセプト静注用1mg 1mL(溶解液付)	021205201		
4	ノボセプト静注用2mg 2mL(溶解液付)	021205301		
5	ノボセプト静注用5mg 5mL(溶解液付)	021205401		
6	ノボセプト静注用1mg シリンジ 1mL(溶解液付)	022266301		
7	ノボセプト静注用2mg シリンジ 2mL(溶解液付)	022266401		
8	ノボセプト静注用5mg シリンジ 5mL(溶解液付)	022266501		
9	ノボセプト静注用8mg シリンジ 8mL(溶解液付)	022266601		
10	バイクロット配合注 第7a因子1.5mg第X因子15mg溶解液付	022267201		
11	コージネイトFSバイオセット注250 250国際単位(溶解液付)	020002211		
12	コージネイトFSバイオセット注500 500国際単位(溶解液付)	020002212		
13	コージネイトFSバイオセット注1000 1000国際単位(溶解液付)	020002213		
14	コージネイトFSバイオセット注2000 2000国際単位(溶解液付)	021000601		
15	アドベイト静注用250 250単位(溶解液付)	021769701		
16	アドベイト静注用500 500単位(溶解液付)	021769801		
17	アドベイト静注用1000 1,000単位(溶解液付)	021769901		
18	アドベイト静注用2000 2,000単位(溶解液付)	021864102		
19	アドベイト静注用1500 1,500単位(溶解液付)	022440101		
20	コンファクトF注射用250 250単位(溶解液付)	021153004		
21	コンファクトF注射用500 500単位(溶解液付)	021153004		
22	コンファクトF注射用1000 1,000単位(溶解液付)	021154003		
23	ノボエイト静注用250 250国際単位(溶解液付)	022233001		
24	ノボエイト静注用500 500国際単位(溶解液付)	022233101		
25	ノボエイト静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	022233201		
26	ノボエイト静注用1500 1,500国際単位(溶解液付)	022233301		
27	ノボエイト静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	022233401		
28	ノボエイト静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)	022233501		
29	クロスエイトMC静注用250単位(溶解液付)	021153004		
30	クロスエイトMC静注用500単位(溶解液付)	021153003		

第Ⅲ因子欠乏の所見を見て「後天性」という診断がつかない限り「先天性」として「第Ⅲ因子製剤」が使用されるケースが散見される(特に後天性血友病Aに関連し)

稀ではあるがT11やプロテインC欠乏症や新生児低PT血症などで使われる可能性がある(特に第Ⅲ因子、第Ⅴ因子インヒビター陽性先天性血友病Aに関連し)

薬剤番号	2013年～2015年に使われた薬剤 (2013年までに使われなくなった薬剤は対象外です)	血友病	血友病A	血友病B	プロトロンビン欠乏症	パラ血友病	フォンウィルブラント病	ファブリノゲン欠乏症	後天性第Ⅲ因子欠乏症	遺伝性第Ⅲ因子欠乏症	先天性血友病第Ⅲ因子異常	血友病第Ⅲ因子	アンチ-ロビンⅢ因子欠乏症	血友病性出血	後天性低プロトロンビン血症	先天性第Ⅲ因子欠乏症	先天性第Ⅳ因子欠乏症	先天性第Ⅴ因子欠乏症	先天性第Ⅷ因子欠乏症	
29	クロスエイトMC静注用250単位(溶解液付)	2860001	2860002	2861002	2862004	2863010	2864002	2865018	2867001	2868004	2869021	7132002	8030404	8033200	8032806	8034208	8036209	8038200		
30	クロスエイトMC静注用500単位(溶解液付)																			
31	クロスエイトMC静注用1000単位(1,001単位)(溶解液付)																			
32	クロスエイトMC静注用2000単位(2,001単位)(溶解液付)																			
33	イロクテ静注用250 249国際単位(溶解液付)																			
34	イロクテ静注用500 499国際単位(溶解液付)																			
35	イロクテ静注用750 749国際単位(溶解液付)																			
36	イロクテ静注用1000 1,001国際単位(溶解液付)																			
37	イロクテ静注用1500 1,499国際単位(溶解液付)																			
38	イロクテ静注用2000 2,001国際単位(溶解液付)																			
39	イロクテ静注用3000 3,001国際単位(溶解液付)																			
40	クリスマシンM静注用399単位(溶解液付)																			
41	クリスマシンM静注用1000単位(1,001単位)(溶解液付)																			
42	ノバクトM静注用400単位(溶解液付)																			
43	ノバクトM静注用800単位(溶解液付)																			
44	ノバクトM静注用1600単位(1,599単位)(溶解液付)																			
45	ノバクトM静注用499単位(溶解液付)																			
46	ノバクトM静注用1000単位(1,001単位)(溶解液付)																			
47	ノバクトM静注用2000単位(2,001単位)(溶解液付)																			
48	ベネフィクス静注用500 499国際単位(溶解液付)																			
49	ベネフィクス静注用1000 1,001国際単位(溶解液付)																			
50	ベネフィクス静注用2000 2,001国際単位(溶解液付)																			
51	ベネフィクス静注用3000 3,001国際単位(溶解液付)																			
52	オルプロロクス静注用500 499国際単位(溶解液付)																			
53	オルプロロクス静注用1000 1,001国際単位(溶解液付)																			
54	オルプロロクス静注用2000 2,001国際単位(溶解液付)																			
55	オルプロロクス静注用3000 3,001国際単位(溶解液付)																			
56	オルプロロクス静注用250 249国際単位(溶解液付)																			
57	PPSB-H静注用200単位「ニチヤク」(溶解液付)																			
58	PPSB-HT静注用500単位「ニチヤク」(溶解液付)																			

薬品番号	2013年～2015年に使われた薬剤 (2012年までに使われなくなった薬剤は対象外です)	先天性無フィリノゲン血症	症トロンピン血症	フィブリノゲン異常症	フィブリノゲン減少症	プロテインC欠乏症	プロテインS欠乏症	後天性血友病A	後天性血友病B	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病	新生児低プロロンピン血症	アンテロロビン欠乏症	後天性第XIII因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	先天性第XI因子欠乏症
		8836376	8837890	8839602	8839603	8841336	8841337	8845658	8845659	8845702	8845703	8845955	8847158	8847752	8847783	8847221
29	クロスエイトMC静注用250単位 (溶解液付)															
30	クロスエイトMC静注用500単位 (溶解液付)															
31	クロスエイトMC静注用1000単位 1,001単位 (溶解液付)															
32	クロスエイトMC静注用2000単位 2,001単位 (溶解液付)															
33	イロクテイト静注用250 249国際単位 (溶解液付)															
34	イロクテイト静注用500 499国際単位 (溶解液付)															
35	イロクテイト静注用750 749国際単位 (溶解液付)															
36	イロクテイト静注用1000 1,001国際単位 (溶解液付)															
37	イロクテイト静注用1500 1,499国際単位 (溶解液付)															
38	イロクテイト静注用2000 2,001国際単位 (溶解液付)															
39	イロクテイト静注用3000 3,001国際単位 (溶解液付)															
40	クリスマシンM静注用399単位 (溶解液付)															
41	クリスマシンM静注用1000単位 1,001単位 (溶解液付)															
42	ノバクトM静注用400単位 (溶解液付)															
43	ノバクトM静注用800単位 (溶解液付)															
44	ノバクトM静注用1600単位 1,599単位 (溶解液付)															
45	ノバクトM静注用499単位 (溶解液付)															
46	ノバクトM静注用1000単位 1,001単位 (溶解液付)															
47	ノバクトM静注用2000単位 2,001単位 (溶解液付)															
48	ベネフィクス静注用500 499国際単位 (溶解液付)															
49	ベネフィクス静注用1000 1,001国際単位 (溶解液付)															
50	ベネフィクス静注用2000 2,001国際単位 (溶解液付)															
51	ベネフィクス静注用3000 3,001国際単位 (溶解液付)															
52	オルブロリクス静注用500 499国際単位 (溶解液付)															
53	オルブロリクス静注用1000 1,001国際単位 (溶解液付)															
54	オルブロリクス静注用2000 2,001国際単位 (溶解液付)															
55	オルブロリクス静注用3000 3,001国際単位 (溶解液付)															
56	オルブロリクス静注用250 249国際単位 (溶解液付)															
57	PPSB-H静注用200単位「ニテヤク」 (溶解液付)															
58	PPSB-H静注用500単位「ニテヤク」 (溶解液付)															

薬品番号	2013年～2015年に使われた薬剤 (2012年までに使われなくなった薬剤は対象外です)	血友病	血友病A	血友病B	プロトロンピン欠乏症	Ⅴ因子血症	フィブリノゲン欠乏症	フィブリノゲン減少症	後天性血友病A	後天性血友病B	先天性血友病A	先天性血友病B	先天性血友病C	アンテロロビン欠乏症	後天性第XIII因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	先天性第XI因子欠乏症	
		2843001	2843002	2843202	2843004	2843119	2843002	2843003	2843001	2843004	2843001	2843002	2843003	2843004	2843005	2843006	2843007	2843008
59	アディノベイト静注用500 499国際単位 (溶解液付)																	
	アディノベイト静注用1000 1,001国際単位 (溶解液付)																	
	アディノベイト静注用2000 2,001国際単位 (溶解液付)																	
60	コイールトイ静注用250 249国際単位 (溶解液付)																	
	コイールトイ静注用500 499国際単位 (溶解液付)																	
	コイールトイ静注用1000 1,001国際単位 (溶解液付)																	
	コイールトイ静注用2000 2,001国際単位 (溶解液付)																	
	コイールトイ静注用3000 3,001国際単位 (溶解液付)																	
61	イデルズオン静注用250 249国際単位 (溶解液付)																	
	イデルズオン静注用500 499国際単位 (溶解液付)																	
	イデルズオン静注用1000 1,001国際単位 (溶解液付)																	
	イデルズオン静注用2000 2,001国際単位 (溶解液付)																	
62	新鮮凍結血漿 - LRF 120 血液190mL 凍結に由来する血漿																	
	新鮮凍結血漿 - LRF 240 血液390mL 凍結に由来する血漿																	
	新鮮凍結血漿 - LRF 日赤 480 478mL																	
	新鮮凍結血漿 - LRF 日赤 血液200mL 凝固に由来する血漿																	
	新鮮凍結血漿 - LRF 日赤 血液400mL 凝固に由来する血漿																	
	新鮮凍結血漿 - LRF 日赤 成分凍結 440mL																	
	新鮮凍結血漿「日赤」160mL																	
	新鮮凍結血漿「日赤」450mL																	
	新鮮凍結血漿「日赤」80mL																	
63	デスマプレリン塩4塩和 30g																	
	デスマプレリン塩凍結 0.01% 塩和 240g																	
	デスマプレリン塩凍結スプレー0.01% 塩和 499g																	
	デスマプレリン塩スプレー2 5塩和 120g																	
	デスマプレリン塩スプレー10 塩和 499g																	
64	フィブリノゲン静注用 正常人血漿1mL 含有量200mg 溶解液付																	
65	ノボサール静注用2500 2,499国際単位 (溶解液付)																	
66	フィブリノゲン静注用0.2g「ベネシス」 (溶解液付)																	
67	フィブリノゲン静注用0.2g「ベネシス」 (溶解液付)																	
	乾燥人フィブリノゲン 0g (溶解液付)																	

薬剤番号	2013年～2018年に発売された薬剤 (2012年までに発売された薬剤は対象外です)	先天性血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	血小板減少症	
		8836376	8837880	8839602	8839603	8841336	8841337	8845658	8845659	8845702	8845703	8845955	8847158	8847752	8847783	8847221					
59	アディバイト静注用500 499国際単位(溶解液付)																				
	アディバイト静注用1000 1,001国際単位(溶解液付)																				
	アディバイト静注用2000 2,001国際単位(溶解液付)																				
60	コバルトリー静注用250 249国際単位(溶解液付)																				
	コバルトリー静注用500 499国際単位(溶解液付)																				
	コバルトリー静注用1000 1,001国際単位(溶解液付)																				
	コバルトリー静注用2000 2,001国際単位(溶解液付)																				
	コバルトリー静注用3000 3,001国際単位(溶解液付)																				
61	イデルピオン静注用250 249国際単位(溶解液付)																				
	イデルピオン静注用500 499国際単位(溶解液付)																				
	イデルピオン静注用1000 1,001国際単位(溶解液付)																				
	イデルピオン静注用2000 2,001国際単位(溶解液付)																				
62	新鮮凍結血漿-LR日赤120 血液199mL相当に由来する血漿																				
	新鮮凍結血漿-LR日赤240 血液399mL相当に由来する血漿																				
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」480 479mL																				
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」 血液200mL相当に由来する血漿																				
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」 血液400mL相当に由来する血漿																				
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」成分採血 449mL																				
	新鮮凍結血漿「日赤」 160mL																				
	新鮮凍結血漿「日赤」 450mL																				
	新鮮凍結血漿「日赤」 80mL																				
63	デスマレリン注4塩和 3μg																				
	デスマレリン点鼻液0.01%塩和 249μg																				
	デスマレリン点鼻スプレー0.01%[T.S.] 499μg																				
	デスマレリン・スプレー2.5塩和 124μg																				
	デスマレリン・スプレー10塩和 499μg																				
64	フィログラミンP静注用 正常人血漿1mL中含有量239倍溶解液付																				
65	ノボサートン静注用2500 2,499国際単位(溶解液付)																				
66	フィブリノゲンHT静注用0g「ベネシス」(溶解液付)																				
67	フィブリノゲンHT静注用0g「JB」(溶解液付)																				
	乾燥人フィブリノゲン 0g(溶解液付)																				

薬剤番号	2013年～2018年に発売された薬剤 (2012年までに発売された薬剤は対象外です)	血友病	血友病A	血友病B	プロトロンビ ン欠乏症	パルク血友病	フォンウィルブラ ン欠乏症	フィブリノゲン欠 乏症	先天性凝固因子欠乏症	凝固因子欠乏症	先天性血漿凝固因子異常	血友病様因子	アンチトロンピン 欠乏症	血友病性出血	後天性抗プロト ロンピン血症	先天性XI因子欠乏症	先天性XIII因子欠乏症	先天性XI因子欠乏症	先天性XIII因子欠乏症	
		2880001	2880002	2881002	2883004	2883010	2884002	2884028	2887001	2889004	2890021	7132002	8830404	8832300	8833588	8834288	8836288	8836288	8836230	
68	アコラン静注用600 599国際単位(溶解液付)																			
	アコラン静注用1800 1,799国際単位(溶解液付)																			
69	注射用アナクトC2, 499単位 (溶解液付)																			
72	アンズロピンP1500注射用 1,499単位(溶解液付)																			
73	アンズロピンP500注射用 499単位(溶解液付)																			
74	ノイアート静注用1500単位 1,499単位(溶解液付)																			
75	ノイアート静注用499単位 (溶解液付)																			
76	ノボサートン静注用2500 2,499国際単位(溶解液付)																			
80	献血ノスロン1500注射用 1,499単位(溶解液付)																			
81	献血ノスロン500注射用 499単位(溶解液付)																			
82	トランサミン錠49%																			
83	トランサミン錠250mg																			
84	トランサミン錠500mg																			
	トランサミンカプセル249mg																			
	トランサミンシロップ4%																			
	トランサミン注5% 4mL																			
	トランサミン注10% 2.4mL																			
	トランサミン注10% 9mL																			
85	カチーフN錠10mg/錠 0%																			
	カチーフN錠5mg																			
	カチーフN錠10mg																			
	ケーワンカプセル10mg																			
	ケーワンカプセル20mg																			
	ケーワン錠4mg																			
	ケイツーカプセル4mg																			
	ケイツーシロップ0.1%																			
	ケイツーN静注9mg																			
	ビタミンK1錠4mg「ツルハラ」																			
	ビタミンK1錠5 4mg																			
	ビタミンK1注10mg																			
	ビタミンK1注30mg																			
	ビタミンK1注50mg																			

薬剤番号	2013年～2015年に使われた薬剤 (2012年までに使われなくなった薬剤は対象外です)	先天性無フィブ	症トロンビン血	フィブリノゲン減	フィブリノゲン減	プロテインC欠	プロテインS欠	後天性血友病A	後天性血友病B	第Ⅴ因子インヒビター陽	第Ⅴ因子インヒビター陽	新生児低プロ	アンチトロンビン	後天性第ⅩIII因	先天性第ⅩIII因	先天性第ⅩIII因	先天性第ⅩIII因
		リンゲン血症	症	常症	少症	乏症	乏症			性先天性血友病	先天性血友病	ロンピン血症	欠乏症	子欠乏症	子欠乏症	子欠乏症	子欠乏症
		8836376	8837880	8839602	8839603	8841336	8841337	8845656	8845659	8845702	8845703	8845955	8847156	8847752	8847783	8847721	
68	アコラン静注用600 599国際単位(溶解液付)																
	アコラン静注用1800 1,799国際単位(溶解液付)																
69	注射用アナクトC2 499単位(溶解液付)																
72	アンスロピンP1500注射用 1,499単位(溶解液付)																
73	アンスロピンP500注射用 499単位(溶解液付)																
74	ノイアート静注用1500単位 1,499単位(溶解液付)																
75	ノイアート静注用499単位(溶解液付)																
76	ノボサートン静注用2500 2,499国際単位(溶解液付)																
80	献血ノスロン1500注射用 1,499単位(溶解液付)																
81	献血ノスロン500注射用 499単位(溶解液付)																
82	トランサミン錠49%																
83	トランサミン錠250mg																
84	トランサミン錠500mg																
	トランサミンカプセル249mg																
	トランサミンシロップ4%																
	トランサミン注5% 4mL																
	トランサミン注10% 2.4mL																
	トランサミン注10% 9mL																
85	カチーフN錠10mg/0.9%																
	カチーフN錠5mg																
	カチーフN錠10mg																
	ケーワンカプセル10mg																
	ケーワンカプセル20mg																
	ケーワン錠4mg																
	ケイツーカプセル4mg																
	ケイツーシロップ0.1%																
	ケイツーN静注9mg																
	ビタミンK1錠4mg「ツルハラ」																
	ビタミンK1錠5 4mg																
	ビタミンK1注10mg																
	ビタミンK1注30mg																
	ビタミンK1注50mg																

血液凝固異常症医薬品マスタ

参考資料 3

医薬品コード	医薬品名	患者定義条件
621154301	P P S B - H T 静注用 2 0 0 単位「ニチャク」（溶解液付）	入院のみは除外
621154501	P P S B - H T 静注用 5 0 0 単位「ニチャク」（溶解液付）	入院のみは除外
622488101	アディノバイト静注用 1 0 0 0 1, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622488201	アディノバイト静注用 2 0 0 0 2, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622488001	アディノバイト静注用 5 0 0 5 0 0 国際単位（溶解液付）	
621769901	アドバイト静注用 1 0 0 0 1, 0 0 0 単位（溶解液付）	
622440101	アドバイト静注用 1 5 0 0 1, 5 0 0 単位（溶解液付）	
621984102	アドバイト静注用 2 0 0 0 2, 0 0 0 単位（溶解液付）	
621769701	アドバイト静注用 2 5 0 2 5 0 単位（溶解液付）	
621769801	アドバイト静注用 5 0 0 5 0 0 単位（溶解液付）	
622526301	イデルビオン静注用 1 0 0 0 1, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622526401	イデルビオン静注用 2 0 0 0 2, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622526101	イデルビオン静注用 2 5 0 2 5 0 国際単位（溶解液付）	
622526201	イデルビオン静注用 5 0 0 5 0 0 国際単位（溶解液付）	
622403101	イロクテイト静注用 1 0 0 0 1, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622403201	イロクテイト静注用 1 5 0 0 1, 5 0 0 国際単位（溶解液付）	
622403301	イロクテイト静注用 2 0 0 0 2, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622402801	イロクテイト静注用 2 5 0 2 5 0 国際単位（溶解液付）	
622403401	イロクテイト静注用 3 0 0 0 3, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622402901	イロクテイト静注用 5 0 0 5 0 0 国際単位（溶解液付）	
622403001	イロクテイト静注用 7 5 0 7 5 0 国際単位（溶解液付）	
622364201	オルプロリクス静注用 1 0 0 0 1, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622364301	オルプロリクス静注用 2 0 0 0 2, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622426501	オルプロリクス静注用 2 5 0 2 5 0 国際単位（溶解液付）	
622364401	オルプロリクス静注用 3 0 0 0 3, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622364101	オルプロリクス静注用 5 0 0 5 0 0 国際単位（溶解液付）	
620009264	クリスマシンM静注用 1 0 0 0 単位 1, 0 0 0 単位（溶解液付）	
620009263	クリスマシンM静注用 4 0 0 単位（溶解液付）	
621154006	クロスエイトMC静注用 1 0 0 0 単位 1, 0 0 0 単位（溶解液付）	
622454901	クロスエイトMC静注用 2 0 0 0 単位 2, 0 0 0 単位（溶解液付）	
621153808	クロスエイトMC静注用 2 5 0 単位（溶解液付）	
621153909	クロスエイトMC静注用 5 0 0 単位（溶解液付）	
620003213	コージネイトFSバイオセット注 1 0 0 0 1 0 0 0 国際単位溶解液付	
621990601	コージネイトFSバイオセット注 2 0 0 0 2 0 0 0 国際単位溶解液付	
620003211	コージネイトFSバイオセット注 2 5 0 2 5 0 国際単位（溶解液付）	
620003212	コージネイトFSバイオセット注 5 0 0 5 0 0 国際単位（溶解液付）	
622489501	コバールトリイ静注用 1 0 0 0 1, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622489601	コバールトリイ静注用 2 0 0 0 2, 0 0 0 国際単位（溶解液付）	
622489301	コバールトリイ静注用 2 5 0 2 5 0 国際単位（溶解液付）	

医薬品コード	医薬品名	患者定義条件
622489701	コバールトリイ静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)	
622489401	コバールトリイ静注用500 500国際単位(溶解液付)	
621154003	コンファクトF注射用1000 1,000単位(溶解液付)	
621153804	コンファクトF注射用250 250単位(溶解液付)	
621153904	コンファクトF注射用500 500単位(溶解液付)	
622408301	ノバクトM静注用1000単位 1,000単位(溶解液付)	
622034201	ノバクトM静注用1600単位 1,600単位(溶解液付)	
622408401	ノバクトM静注用2000単位 2,000単位(溶解液付)	
622034001	ノバクトM静注用400単位 (溶解液付)	
622408201	ノバクトM静注用500単位 (溶解液付)	
622034101	ノバクトM静注用800単位 (溶解液付)	
622333201	ノボエイト静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	
622333301	ノボエイト静注用1500 1,500国際単位(溶解液付)	
622333401	ノボエイト静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	
622333001	ノボエイト静注用250 250国際単位(溶解液付)	
622333501	ノボエイト静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)	
622333101	ノボエイト静注用500 500国際単位(溶解液付)	
622424901	ノボサーティーン静注用2500 2,500国際単位(溶解液付)	
622424901	ノボサーティーン静注用2500 2,500国際単位(溶解液付)	
621929201	ノボセブンHI静注用1mg 1mL(溶解液付)	
622366301	ノボセブンHI静注用1mg シリンジ 1mL(溶解液付)	
621929301	ノボセブンHI静注用2mg 2mL(溶解液付)	
622366401	ノボセブンHI静注用2mg シリンジ 2mL(溶解液付)	
621929401	ノボセブンHI静注用5mg 5mL(溶解液付)	
622366501	ノボセブンHI静注用5mg シリンジ 5mL(溶解液付)	
622366601	ノボセブンHI静注用8mg シリンジ 8mL(溶解液付)	
622367201	バイクロット配合注 第7a因子1.5mg第X因子15mg 溶解液付	
621384901	ファイバ静注用1000 1,000単位20mL(溶解液付)	
621384801	ファイバ静注用500 500単位10mL(溶解液付)	
621157504	フィブリノゲンHT静注用1g「JB」(溶解液付)	入院のみは除外
620009274	フィブリノゲンHT静注用1g「ベネシス」(溶解液付)	入院のみは除外
620009198	フィブロガミンP静注用 正常人血漿1mL中含有量240倍溶解液付	入院のみは除外
621971701	ベネフィクス静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	
621971801	ベネフィクス静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	
622273601	ベネフィクス静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)	
621971601	ベネフィクス静注用500 500国際単位(溶解液付)	
646340028	乾燥人フィブリノゲン 1g(溶解液付)	入院のみは除外

血液凝固異常症関連傷病名

傷病名コード	血友病関連傷病名
2860001	血友病
2860002	血友病 A
2861002	血友病 B
2863004	プロトロンビン欠乏症
2863010	パラ血友病
2864002	フォンヴィレブランド病
2866028	フィブリノゲン欠乏症
2867001	後天性凝固因子欠乏症
2869004	凝固因子欠乏症
2869021	先天性血液凝固因子異常
7132002	血友病関節炎
8833200	血友病性出血
8833586	後天性低プロトロンビン血症
8836288	先天性第 X 因子欠乏症
8836289	先天性第 X I I 因子欠乏症
8836290	先天性第 X I I I 因子欠乏症
8836376	先天性無フィブリノゲン血症
8837880	低トロンビン血症
8839602	フィブリノゲン異常症
8839603	フィブリノゲン減少症
8841336	プロテイン C 欠乏症
8841337	プロテイン S 欠乏症
8845658	後天性血友病 A
8845659	後天性血友病 B
8845702	第 V I I I 因子インヒビター陽性先天性血友病
8845703	第 I X 因子インヒビター陽性先天性血友病
8845955	新生児低プロトロンビン血症
8847752	後天性第 X I I I 因子欠乏症
8847783	先天性第 X I 因子欠乏症
8847221	先天性第 VII 因子欠乏症

HIV感染症医薬品マスタ

医薬品コード	HIV薬名称	略名	一般名	作用機序	1錠あたりの容量	配合剤	薬価(円、20190702)	薬価(円、その他)	薬価(暫定)
620005140	レトロビルカプセル100mg	AZT(ZDV)	ジドブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	100	0 AZT(ZDV)	284.4		284.4
610443081	ヴァイデックスECカプセル125 125mg	ddL	ジダノシン	核酸系逆転写酵素阻害剤	125	0 ddL	#N/A	948.2	948.2
610443082	ヴァイデックスECカプセル200 200mg	ddL	ジダノシン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0 ddL	#N/A	1393.4	1393.4
62000426	エビビル錠150 150mg	3TC_150mg	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	150	0 3TC_150mg	801.8		801.8
62000426	エビビル錠300 300mg	3TC_300mg	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0 3TC_300mg	1571.1		1571.1
610412192	ゼリットカプセル15 15mg	d4T	ザコルブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	15	0 d4T	#N/A	390.8	390.8
610412193	ゼリットカプセル20 20mg	d4T	ザコルブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	20	0 d4T	#N/A	391.8	391.8
621144201	コンビル配合錠	COM	ジドブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1 AZT(ZDV)	1518.3		1518.3
621144201	コンビル配合錠	COM	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	150	1 3TC	1518.3		1518.3
620004998	ザリアジェン錠300mg	ABC	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0 ABC	821		821
620001903	ビリアド錠300mg	TDF	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0 TDF	2044.8		2044.8
621657001	エブジコム配合錠	EZC	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	600	1 ABC	3961.8		3961.8
621657001	エブジコム配合錠	EZC	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1 3TC	3961.8		3961.8
620002488	エムトリノカプセル200mg	FTC	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0 FTC	1659.8		1659.8
621662301	ツルバダ配合錠	TVD	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1 TDF	3863.6		3863.6
621662301	ツルバダ配合錠	TVD	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1 FTC	3863.6		3863.6
610421341	ピラミューン錠200 200mg	NVP	ネビラピン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0 NVP	787.2		787.2
620006943	ストックリン錠600mg	EFV	エファビレンツ	非核酸系逆転写酵素阻害剤	600	0 EFV	1526.8		1526.8
621932401	ストックリン錠200mg	EFV	エファビレンツ	非核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0 EFV	535.2		535.2
620009086	インテレンス錠100mg	ETR	エトラビリン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	100	0 ETR	636.4		636.4
622149101	エジュラント錠25mg	RPV	リルビリン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	25	0 RPV	2108.7		2108.7
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1 FTC	5815.9		5815.9
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	リルビリン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	25	1 RPV	5815.9		5815.9
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1 TDF	5815.9		5815.9
620004975	クリキサンカプセル200mg	IDV	硫酸インジナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0 IDV	#N/A	103.3	103.3
620003516	インビラーゼカプセル200mg	SQV	メシル酸サキナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0 SQV	#N/A	130.1	130.1
620004347	インビラーゼ錠500mg	SQV	メシル酸サキナビル	プロテアーゼ阻害薬	500	0 SQV	#N/A	362.9	362.9
621143701	ピラセプト錠250mg	NFV	メシル酸ネルフィナビル	プロテアーゼ阻害薬	250	0 NFV	135.5		135.5
621143601	ノービア内用液8% 80mg	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	80	0 RTV	#N/A	107.7	107.7
622054801	ノービア錠100mg	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	100	0 RTV	102.2		102.2
621384201	カレトラ配合内用液	LPV/r	ロピナビル	プロテアーゼ阻害薬	80mg/mL	1 CPV	147.4		147.4
621384201	カレトラ配合内用液	LPV/r	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	20mg/mL	1 RTV	147.4		147.4
621765701	カレトラ配合錠	LPV/r	ロピナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	1 CPV	322.1		322.1
621765701	カレトラ配合錠	LPV/r	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	5	1 RTV	322.1		322.1
620004454	レイアタツカプセル150mg	ATV	硫酸アタザナビル	プロテアーゼ阻害薬	150	0 ATV	568		568
620004455	レイアタツカプセル200mg	ATV	硫酸アタザナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0 ATV	765.7		765.7
620002465	レクシヴァ錠700 700mg	FPV	ホスアンプレナビルカルシウム水和物	プロテアーゼ阻害薬	700	0 FPV	793.9		793.9
620005884	ブリジスタ錠300mg	DRV	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	300	0 DRV	#N/A	442.3	442.3
622276701	ブリジスタナイーブ錠800mg	DRVN	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	800	0 DRVN	1890.9		1890.9
622403501	ブリジスタ錠600mg	DRV	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	600	0 DRV	885		885
620007815	アイセントレス錠400mg	RAL	ラルデグラビルカリウム	インテグラーゼ阻害薬	400	0 RAL	1553.6		1553.6
622235801	スタリビルド配合錠	STB	エルテグラビル	インテグラーゼ阻害薬	150	1 エルテグラビル	6942.1		6942.1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	コピシスタット	CYP3A阻害薬	150	1 コピシスタット	6942.1		6942.1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1 FTC	6942.1		6942.1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1 TDF	6942.1		6942.1
622336201	デビケイ錠50mg	DTG	ドルテグラビルナトリウム	インテグラーゼ阻害薬	50	0 DTG	3248.5		3248.5
622408801	トリメク配合錠	TRI	ドルテグラビルナトリウム	インテグラーゼ阻害薬	50	1 DTG	6972.3		6972.3
622408801	トリメク配合錠	TRI	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	600	1 ABC	6972.3		6972.3
622408801	トリメク配合錠	TRI	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1 3TC	6972.3		6972.3
620009087	シーエルセントリ錠150mg	MVC	マラビロク	CCR5阻害薬	150	0 MVC	2334.5		2334.5
621930301	ブリジスタナイーブ錠400mg	DRVN	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	400	0 DRVN	#N/A	921.9	921.9
622522601	デシコビ配合錠LT	DVY-LT	テノホビルアララフェナミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	10	1 TAF	2748.2		2748.2
622522601	デシコビ配合錠LT	DVY-LT	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1 FTC	2748.2		2748.2
622522501	デシコビ配合錠HT	DVY-HT	テノホビルアララフェナミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	25	1 TAF	3934.3		3934.3
622522501	デシコビ配合錠HT	DVY-HT	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1 FTC	3934.3		3934.3
622532301	プレジコビックス配合錠	PCX	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	800	1 DRVN	2002.8		2002.8
622532301	プレジコビックス配合錠	PCX	コピシスタット	CYP3A阻害薬	150	1 コピシスタット	2002.8		2002.8
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	エルテグラビル	インテグラーゼ阻害薬	150	1 エルテグラビル	6942.1		6942.1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	コピシスタット	CYP3A阻害薬	150	1 コピシスタット	6942.1		6942.1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1 FTC	6942.1		6942.1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	フマル酸テノホビルアララフェナミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	10	1 TAF	6942.1		6942.1
610409330	ハイビット錠0.375	ddC	ザルシタピン	2008年3月販売中止	0.375	0 ddC	#N/A	770	770

血友病患者数

全体		*127全国調査																	
性別	患者数	血友病	血友病A	血友病B	プロトロンビン欠乏症	バラ血友病	フォンヴィレブランド病	フィブリノゲン欠乏症	後天性凝固因子欠乏症	凝固因子欠乏症	先天性血液凝固因子異常症	血友病関節炎	血友病性出血	後天性低プロトロンビン血症	先天性第X因子欠乏症	先天性第XII因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	先天性無フィブリノゲン血症	フィブリノゲン異常症
男性	5418	406	3081	819	24		179	108	72	544	128							194	13
女性	892	20	25	13	16		178	77	40	233	22							88	21
総計	6310	426	3106	832	40		357	185	112	777	150	1359	260		10			282	34

全体		*127全国調査																	
年齢	患者数	血友病	血友病A	血友病B	プロトロンビン欠乏症	バラ血友病	フォンヴィレブランド病	フィブリノゲン欠乏症	後天性凝固因子欠乏症	凝固因子欠乏症	先天性血液凝固因子異常症	血友病関節炎	血友病性出血	後天性低プロトロンビン血症	先天性第X因子欠乏症	先天性第XII因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	先天性無フィブリノゲン血症	フィブリノゲン異常症
0歳	149		25	15				24		36									44
1歳	66		38	15															
2歳	66		45																
3歳	63		46	13															
4歳	76		55	10								10							
5歳	92		58	20								13							
6歳	75		51	12								20							
7歳	76		55									16							
8歳	73		47	14								22							
9歳	64		45									23							
10～14歳	388	17	246	86			23		19			118	20					10	
15～19歳	388	22	257	78			24		13			109	16						
20～24歳	349	26	224	72			16		10			101	22						
25～29歳	353	18	224	61			29					85	25						11
30～34歳	406	35	264	61			21	13		25	12	129	21						12
35～39歳	453	39	295	71			37		20	24	24	142	26						11
40～44歳	426	30	285	65			30		28	10	10	153	24						
45～49歳	333	36	209	49			12		27	22	22	118	12						11
50～54歳	337	29	197	38			22		30	22	16	97	13						13
55～59歳	243	25	106	28			23		36	11	11	62	11						11
60～64歳	330	28	123	30			20	11	61	10	10	57	11						17
65～69歳	407	24	102	21			15	17	82			31							33
70～74歳	360	12	48	22			12	19	15	101	12	21							24
75～79歳	318	10	30				16	15	16	102									32
80～84歳	253		22	11			14		18	88									13
85～89歳	124									50									
90～94歳										10									
95～99歳																			
総計	6310	426	3106	832	40		357	185	112	777	150	1359	260		10			282	34

全体		*127全国調査																	
都道府県	患者数	血友病	血友病A	血友病B	プロトロンビン欠乏症	バラ血友病	フォンヴィレブランド病	フィブリノゲン欠乏症	後天性凝固因子欠乏症	凝固因子欠乏症	先天性血液凝固因子異常症	血友病関節炎	血友病性出血	後天性低プロトロンビン血症	先天性第X因子欠乏症	先天性第XII因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	先天性無フィブリノゲン血症	フィブリノゲン異常症
北海道	333	20	102	39			19	95		42	44	42	11						14
青森県	53		17	15															
岩手県	86		39						13										
宮城県	142		79	11					19			22							
秋田県	48		12	10															
山形県	54		18							16									
福島県	87		40							11									
茨城県	98		42	13						26		17							
栃木県	94		48	13			12			21		11							
群馬県	84		47	16								24							
埼玉県	209	15	77	22				14	16	32	11	10							16
千葉県	201	13	93	28						39		47	10						10
東京都	1032	44	563	145			47		10	84	24	278	115						29
神奈川県	337	15	208	55			14			35		98	11						13
新潟県	151		66	16						34		15							
富山県	45		22																
石川県	41		18																
福井県	39		10										11						
山梨県	29																		
長野県	86	11	44	13						10		13							
岐阜県	95		46	20						15									
静岡県	134	11	75	20						16		22							
愛知県	433	18	231	71			40			28		125							12
三重県	60		22							13		11							
滋賀県	72		36	11															
京都府	112		44	16						18		21							
大阪府	390	46	187	42			22			77		88	21						14
兵庫県	321	28	198	42			25			20		80	13						10
奈良県	125		83	14			14					58							
和歌山県	56		26																
鳥取県	26																		
島根県	40		21																
岡山県	69		38							10									
広島県	153	14	82	18			16			16	18	65							
山口県	90		26							34									
徳島県	49		15																
香川県	41		22																
愛媛県	63		25										10						
高知県	22																		
福岡県	279	12	153	42			25			29		109	13						
佐賀県	31		20																
長崎県	66		40										11						
熊本県	66		39	11									11						
大分県	56		27										11						
宮崎県	38		20																
鹿児島県	95	10	28					16				14							16
沖縄県	79		32	15						11		18							
総計	6310	426	3106	832	40		357	185	112	777	150	1359	260		10			282	34

全体		*127全国調査																	
年次	患者数	血友病	血友病A	血友病B	プロトロンビン欠乏症	バラ血友病	フォンヴィレブランド病	フィブリノゲン欠乏症	後天性凝固因子欠乏症	凝固因子欠乏症	先天性血液凝固因子異常症	血友病関節炎	血友病性出血	後天性低プロトロンビン血症	先天性第X因子欠乏症	先天性第XII因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	先天性無フィブリノゲン血症	フィブリノゲン異常症
201504	1769	119	980	382			82	23	17	132	35	446	78						62
201505	1764	134	1020	373			68	17		103	44	456	64						68
201506	1852	122	1058	399			74	29	13	103	37	460	91						74
201507	1943	139	1098	411			95	27	16	108									

血友病患者数

	フィブリノゲン減少症	プロテインC欠乏症	プロテインS欠乏症	後天性血友病A	後天性血友病B	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病	第VII因子欠乏症	後天性第XIII因子欠乏症	先天性第XI因子欠乏症
男性	20			58				17	444	
女性	18			41				13	194	
総計	38	10		99		122	21	30	638	

	フィブリノゲン減少症	プロテインC欠乏症	プロテインS欠乏症	後天性血友病A	後天性血友病B	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病	第VII因子欠乏症	後天性第XIII因子欠乏症	先天性第XI因子欠乏症
0歳										10
1歳										
2歳										
3歳										
4歳										
5歳										
6歳										
7歳										
8歳										
9歳										
10～14歳										
15～19歳										
20～24歳										
25～29歳										
30～34歳										
35～39歳										10
40～44歳										14
45～49歳										20
50～54歳										26
55～59歳										27
60～64歳										62
65～69歳				17						107
70～74歳										108
75～79歳				17						84
80～84歳				19						71
85～89歳				10						35
90～94歳										14
95～99歳										
総計	38	10		99		122	21	30	638	

	フィブリノゲン減少症	プロテインC欠乏症	プロテインS欠乏症	後天性血友病A	後天性血友病B	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病	第VII因子欠乏症	後天性第XIII因子欠乏症	先天性第XI因子欠乏症
北海道										21
青森県										
岩手県										11
宮城県										20
秋田県										
山形県										
福島県										
茨城県										13
栃木県										12
群馬県										
埼玉県										22
千葉県										14
東京都				17						155
神奈川県										20
新潟県										14
富山県										
石川県										
福井県										
山梨県										
長野県										
岐阜県										
静岡県										
愛知県										25
三重県										11
滋賀県										
京都府										14
大阪府				11						25
兵庫県				10						18
奈良県										
和歌山県										
鳥取県										
島根県										
岡山県										
広島県										14
山口県										13
徳島県										16
香川県										
愛媛県										18
高知県										
福岡県										23
佐賀県										
長崎県										
熊本県										
大分県										10
宮崎県										11
鹿児島県										12
沖縄県										15
総計	38	10		99		122	21	30	638	

	フィブリノゲン減少症	プロテインC欠乏症	プロテインS欠乏症	後天性血友病A	後天性血友病B	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病	第VII因子欠乏症	後天性第XIII因子欠乏症	先天性第XI因子欠乏症
201504				17						50
201505				13						49
201506										53
201507										49
201508										52
201509							11			57
201510				10						48
201511				11						57
201512				15						56
201601										65
201602				13						66
201603				19			10			69
										73

最終定義に基づいたNDBによる血液凝固異常症患者数集計結果

		旧定義	新定義	血友病	血友病A	血友病B	プロトロンピン欠乏症	パラ血友病	フォンヴィレブランド病	フィブリノゲン欠乏症	後天性凝固因子欠乏症	凝固因子欠乏症	先天性血液凝固因子異常	血友病関節炎	血友病性出血	後天性低プロトロンビン血症	先天性第X因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	先天性無フィブリノゲン血症	低プロトロンビン血症	フィブリノゲン異常症	フィブリノゲン減少症	プロテインC欠乏症	プロテインS欠乏症	後天性血友病A	後天性血友病B	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病	新生児低プロトロンビン血症	後天性第XIII因子欠乏症	先天性第XI因子欠乏症	先天性第VII因子欠乏症					
男性	0~4歳	612	303	140	238	95			78			40		37	40																				38			
	5~9歳	544	481	154	378	92			78			48		150	61																				51			
	10~14歳	493	468	115	358	78			58			35		210	77																					28		
	15~19歳	565	521	120	372	114			61			39		258	62																					21		
	20~24歳	494	458	96	341	105			43			25	12	234	51																					23		
	25~29歳	483	454	93	339	96			36			23	14	189	45																					17		
	30~34歳	482	456	95	351	88			47			24	26	198	54																					15		
	35~39歳	444	471	104	357	91			37			38	22	224	38																					14		
	40~44歳	446	532	110	402	102			47			38	36	265	68																					18		
	45~49歳	426	449	114	332	86			36			42	36	222	52												11									16		
	50~54歳	394	380	109	299	50			38			33	44	169	48												15									16		
	55~59歳	445	281	77	193	54			34			36	31	119	32												12											
	60~64歳	597	291	93	187	51			45			40	25	104	30												21									11		
	65~69歳	1001	326	113	208	48			49			46	19	89	26												41	11								15		
	70~74歳	1085	242	82	121	43			47			18	53	20	42	13											47									13		
	75~79歳	1035	214	79	83	29			37			15	52	15	31												63									10		
	80~84歳	931	177	51	67	26			26			26			17												69									13		
85~89歳	483	92	29	30	11							21														37												
90~94歳	128	19																																				
95~99歳	11																																					
100歳以上																																						
女性	0~4歳	238	12																																			
	5~9歳	91	26						19																													
	10~14歳	59	31						21																													
	15~19歳	55	30						23																													
	20~24歳	69	45		12				32																													
	25~29歳	109	62		14				50			12																										
	30~34歳	132	76	16	16				44				27																									12
	35~39歳	170	79	13	12				54																													
	40~44歳	172	82	10	17				56																													
	45~49歳	123	66	13	11				39				13																									
	50~54歳	124	54						39																													
	55~59歳	126	53	11	10				36				10																									
	60~64歳	160	51		11				28																													
	65~69歳	279	72	14					33																													17
	70~74歳	335	70	12	10				35																													20
	75~79歳	403	62	12	11				16																													21
	80~84歳	447	72	15					21																													39
85~89歳	296	53	16					13																													34	
90~94歳	134	34	13					12																													21	
95~99歳	21																																					
100歳以上																																						

特定地域の医療機関における血液製剤別処方人数と総処方量（医療機関数：5191）

医薬品コード	医薬品名称	人数	総処方量	人数2013年度	人数2014年度	人数2015年度	人数2016年度	人数2017年度	総処方量2013年度	総処方量2014年度	総処方量2015年度	総処方量2016年度	総処方量2017年度
620009198	フィブrogamin P 静注用 正常人血漿 1 mL 中含有量 2.4 0 倍溶解液付	1935	27287	409	262	361	377	563	3703	5410	6666	4941	6567
621984102	アドベイト静注用 2000 2,000 単位 (溶解液付)	677	2856			58	343	336			407	1551	898
621769901	アドベイト静注用 1000 1,000 単位 (溶解液付)	569	5514			34	370	209			219	3595	1700
621990601	コージネイト F S バイオセット注 2000 2000 国際単位溶解液付	465	2923	245	22	136	88	11	1785	84	807	236	11
622366501	ノボセブン H I 静注用 5 mg シリンジ 5 mL (溶解液付)	455	9822			148	153	223			2592	2389	4841
621929401	ノボセブン H I 静注用 5 mg 5 mL (溶解液付)	435	4863	289	165				4014	849			
620009274	フィブリノゲン H T 静注用 1 g 「ベネシス」 (溶解液付)	370	1779	157	61	27	27	100	873	291	81	162	372
621154003	コンファクト F 注射用 1000 1,000 単位 (溶解液付)	354	2550	231	42	15	42	37	2138	224	39	89	60
621384901	ファイバ静注用 1000 1,000 単位 20 mL (溶解液付)	338	17024			68	155	128			4322	7706	4996
620003213	コージネイト F S バイオセット注 1000 1000 国際単位溶解液付	309	998	81	32	131	64	12	144	142	568	120	24
621929301	ノボセブン H I 静注用 2 mg 2 mL (溶解液付)	245	2702	212	47				2263	439			
622034201	ノバクト M 静注用 1600 単位 1,600 単位 (溶解液付)	230	3241	95	31	104			2387	173	681		
622366601	ノボセブン H I 静注用 8 mg シリンジ 8 mL (溶解液付)	222	1817			89	111	22			685	875	257
622366401	ノボセブン H I 静注用 2 mg シリンジ 2 mL (溶解液付)	199	1902			82	67	50			1190	339	373
622333501	ノボエイト静注用 3000 3,000 国際単位 (溶解液付)	182	4448					106	76			1216	3232
622367201	バイクロット配合注 第 7 a 因子 1.5 mg 第 X 因子 1.5 mg 溶解液付	155	4916			53		128			660		4256
622366301	ノボセブン H I 静注用 1 mg シリンジ 1 mL (溶解液付)	144	1524			60	78	49			429	343	752
621971801	ベネフィクス静注用 2000 2,000 国際単位 (溶解液付)	114	1714	36		48		40	719		441	90	464
620003212	コージネイト F S バイオセット注 500 500 国際単位 (溶解液付)	99	170			84	11	12			140	17	13
621154501	P P S B - H T 静注用 500 単位 「ニチャク」 (溶解液付)	94	169	33	61				72	97			
621769701	アドベイト静注用 250 250 単位 (溶解液付)	70	269				70					269	
622273601	ベネフィクス静注用 3000 3,000 国際単位 (溶解液付)	69	202		20	11	38			25	11	166	
622403401	イロクテイト静注用 3000 3,000 国際単位 (溶解液付)	68	441			46	13	21			127	96	218
621154006	クロスエイト MC 静注用 1000 単位 1,000 単位 (溶解液付)	52	832	20	25	14	14	14	177	177	140	189	149
622408401	ノバクト M 静注用 2000 単位 2,000 単位 (溶解液付)	49	272			36	14	17			134	40	98
622364401	オルプロリクス静注用 3000 3,000 国際単位 (溶解液付)	46	106					36					91
621929201	ノボセブン H I 静注用 1 mg 1 mL (溶解液付)	41	174	31	15				152	22			
621769801	アドベイト静注用 500 500 単位 (溶解液付)	40	228				17	23				42	186
622403201	イロクテイト静注用 1500 1,500 国際単位 (溶解液付)	40	147			33	16				60	87	
622408301	ノバクト M 静注用 1000 単位 1,000 単位 (溶解液付)	37	150			36					126	24	
621971701	ベネフィクス静注用 1000 1,000 国際単位 (溶解液付)	30	96	30					96				
622333401	ノボエイト静注用 2000 2,000 国際単位 (溶解液付)	29	376				11	18				16	360
622488101	アディノベイト静注用 1000 1,000 国際単位 (溶解液付)	14	44					14					44
621153804	コンファクト F 注射用 250 250 単位 (溶解液付)	14	30		14					30			
622454901	クロスエイト MC 静注用 2000 単位 2,000 単位 (溶解液付)	14	17										
622489601	コバルトトリイ静注用 2000 2,000 国際単位 (溶解液付)	13	29					13					29
622364301	オルプロリクス静注用 2000 2,000 国際単位 (溶解液付)	11	60					11					60
622488201	アディノベイト静注用 2000 2,000 国際単位 (溶解液付)	10	12					10					12
622403301	イロクテイト静注用 2000 2,000 国際単位 (溶解液付)		79								13	66	
622526401	イデルピオン静注用 2000 2,000 国際単位 (溶解液付)		16										16
621153904	コンファクト F 注射用 500 500 単位 (溶解液付)												

●手術後医学管理料（病院）を算定された人の血液製剤処方量

医薬品コード	医薬品名称	人数	総処方量	人数2013年度	人数2014年度	人数2015年度	人数2016年度	人数2017年度	総処方量2013年度	総処方量2014年度	総処方量2015年度	総処方量2016年度	総処方量2017年度
620009198	フィブロガミンP 静注用 正常人血漿1mL中含有量240倍溶解液付	56	596	10	15		10	14	109	165	92	90	140
620003213	コージネイトFSバイオセット注1000 1000国際単位溶解液付	10	171						33	66	14	58	
621154003	コンファクトF注射用1000 1,000単位（溶解液付）	10	37						13	11			
621154006	クロスエイトMC静注用1000単位 1,000単位（溶解液付）		86						22		29	23	
621769901	アドベイト静注用1000 1,000単位（溶解液付）		84									58	26
621153904	コンファクトF注射用500 500単位（溶解液付）		26						15				11
622034201	ノバクトM静注用1600単位 1,600単位（溶解液付）		37						19	18			
621971701	ベネフィクス静注用1000 1,000国際単位（溶解液付）		19								13		
621971801	ベネフィクス静注用2000 2,000国際単位（溶解液付）		36							11	12		
621153804	コンファクトF注射用250 250単位（溶解液付）												
621929401	ノボセブンHI 静注用5mg 5mL（溶解液付）		46						33	13			
622367201	バイクロット配合注 第7a因子1.5mg 第X因子15mg 溶解液付		18							10			
621990601	コージネイトFSバイオセット注2000 2000国際単位溶解液付												
622366401	ノボセブンHI 静注用2mg シリンジ 2mL（溶解液付）		44									44	
622489501	コバルトトリ静注用1000 1,000国際単位（溶解液付）		11										11
622364201	オルプロロクス静注用1000 1,000国際単位（溶解液付）												
620003212	コージネイトFSバイオセット注500 500国際単位（溶解液付）												
621929301	ノボセブンHI 静注用2mg 2mL（溶解液付）												
621984102	アドベイト静注用2000 2,000単位（溶解液付）												
621157504	フィブリノゲンHT 静注用1g「JB」（溶解液付）												
622034001	ノバクトM静注用400単位（溶解液付）												
622273601	ベネフィクス静注用3000 3,000国際単位（溶解液付）												
620009274	フィブリノゲンHT 静注用1g「ベネシス」（溶解液付）												
621154501	PPSB-H 静注用500単位「ニチャク」（溶解液付）												
621929201	ノボセブンHI 静注用1mg 1mL（溶解液付）												
622034101	ノバクトM静注用800単位（溶解液付）												

●調剤料（入院）を算定された人の血液製剤処方量

医薬品コード	医薬品名称	人数	総処方量	人数2013年度	人数2014年度	人数2015年度	人数2016年度	人数2017年度	総処方量2013年度	総処方量2014年度	総処方量2015年度	総処方量2016年度	総処方量2017年度
620009198	フィプロガミンP 静注用 正常人血漿 1mL 中含有量 240 倍溶解液付	6630	148134	1251	1359	1453	1394	1388	26105	30632	32044	28961	30391
621154501	PPSB-HT 静注用 500 単位「ニチャク」 (溶解液付)	442	960	84	96	94	98	83	163	304	173	165	155
620003213	コージネイトFS バイオセット注 1000 1000 国際単位溶解液付	315	10012	113	87	88	68	42	2333	2935	2735	1115	894
621154003	コンファクトF 注射用 1000 1,000 単位 (溶解液付)	311	3601	72	64	64	67	102	671	690	697	584	960
620009274	フィブリノゲンHT 静注用 1g 「ベネシス」 (溶解液付)	305	1219	53	45	138	40	37	185	220	564	142	108
621929401	ノボセブンHI 静注用 5mg 5mL (溶解液付)	282	7242	124	128	55	12		3342	2965	702	233	
621157504	フィブリノゲンHT 静注用 1g 「JB」 (溶解液付)	261	1118			14	141	109			104	632	382
622366501	ノボセブンHI 静注用 5mg シリンジ 5mL (溶解液付)	257	7638			64	96	124		17	2176	2174	3271
621769901	アドベイト静注用 1000 1,000 単位 (溶解液付)	242	4793			21	142	105			186	2636	1971
621153904	コンファクトF 注射用 500 500 単位 (溶解液付)	222	3645	61	54	59	40	46	867	1235	630	382	531
621154006	クロスエイトMC 静注用 1000 単位 1,000 単位 (溶解液付)	205	9637	42	67	72	55	53	840	2755	2403	1655	1985
621984102	アドベイト静注用 2000 2,000 単位 (溶解液付)	182	3663			27	97	96			445	1435	1783
621990601	コージネイトFS バイオセット注 2000 2000 国際単位溶解液付	176	3165	62	42	46	40	25	842	574	820	620	309
646340028	乾燥人フィブリノゲン 1g (溶解液付)	143	565	33	64	32		11	140	240	122	26	37
621384901	ファイバ静注用 1000 1,000 単位 20mL (溶解液付)	134	9720			20	70	63			1628	3807	4285
621929301	ノボセブンHI 静注用 2mg 2mL (溶解液付)	110	2310	62	40	23			1196	905	197	12	
620003212	コージネイトFS バイオセット注 500 500 国際単位 (溶解液付)	109	1496	34	34	25	25		494	462	322	179	39
621929201	ノボセブンHI 静注用 1mg 1mL (溶解液付)	102	2766	47	47	18			1285	949	487	45	
621971801	ベネフィクス静注用 2000 2,000 国際単位 (溶解液付)	97	2163	23	30	23	19	18	472	631	548	305	207
622034201	ノバクトM 静注用 1600 単位 1,600 単位 (溶解液付)	90	4983	44	38	24			3007	1620	354		
621769801	アドベイト静注用 500 500 単位 (溶解液付)	90	1268			11	51	36			22	639	607
621971701	ベネフィクス静注用 1000 1,000 国際単位 (溶解液付)	86	3049	22	21	22	25	13	318	1199	469	887	176
622366301	ノボセブンHI 静注用 1mg シリンジ 1mL (溶解液付)	78	2009			24	30	30		15	835	657	502
622034101	ノバクトM 静注用 800 単位 (溶解液付)	70	2055	24	30	25			722	658	661	14	
622366401	ノボセブンHI 静注用 2mg シリンジ 2mL (溶解液付)	70	1704			21	28	29			640	482	582
621154301	PPSB-HT 静注用 200 単位「ニチャク」 (溶解液付)	61	938	20	13	14	14		195	184	199	198	162
622367201	バイクロット配合注 第7a 因子 1.5mg 第X 因子 15mg 溶解液付	55	942			20	14	29		69	193	133	547
622408401	ノバクトM 静注用 2000 単位 2,000 単位 (溶解液付)	40	569				24	14			36	290	243
621153909	クロスエイトMC 静注用 500 単位 (溶解液付)	38	542		10	15	12		145	77	180	119	21
622403301	イロクテイト静注用 2000 2,000 国際単位 (溶解液付)	37	386				18	19			40	185	161
621971601	ベネフィクス静注用 500 500 国際単位 (溶解液付)	36	1999						447	344	379	461	368
622403401	イロクテイト静注用 3000 3,000 国際単位 (溶解液付)	36	274				11	20			31	94	149
621769701	アドベイト静注用 250 250 単位 (溶解液付)	35	275				16	18				105	165
622273601	ベネフィクス静注用 3000 3,000 国際単位 (溶解液付)	31	358				12		72	71	27	163	25
622364401	オルプロリクス静注用 3000 3,000 国際単位 (溶解液付)	31	155			13		10			78	20	54
622454901	クロスエイトMC 静注用 2000 単位 2,000 単位 (溶解液付)	29	438				11	22				142	296

医薬品コード	医薬品名称	人数	総処方量	人数2013年度	人数2014年度	人数2015年度	人数2016年度	人数2017年度	総処方量2013年度	総処方量2014年度	総処方量2015年度	総処方量2016年度	総処方量2017年度
622333201	ノボエイト静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	26	553				12	10			62	191	296
622488201	アディノベイト静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	26	324					23				22	302
622403201	イロクテイト静注用1500 1,500国際単位(溶解液付)	22	275			10	10				42	83	150
620003211	コージネイトFSバイオセット注250 250国際単位(溶解液付)	22	120	10					46	12		42	17
622408301	ノバクトM静注用1000単位 1,000単位(溶解液付)	21	409				12				40	255	114
622333401	ノボエイト静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	21	187								77	35	72
622489501	コバルトトリ静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	19	737					15				366	371
622333501	ノボエイト静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)	19	447								65	151	231
621153804	コンファクトF注射用250 250単位(溶解液付)	19	154						89	26	11		21
622403101	イロクテイト静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	18	178								55	47	76
622333301	ノボエイト静注用1500 1,500国際単位(溶解液付)	16	315							105	132	65	13
622489601	コバルトトリ静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	16	293					14				49	244
622366601	ノボセブンHI静注用8mg シリンジ 8mL(溶解液付)	15	379								211	77	83
622364201	オルプロリクス静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)	15	280							30	78	75	97
622364301	オルプロリクス静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)	15	107								20	46	38
622402901	イロクテイト静注用500 500国際単位(溶解液付)	11	42								18		17
622364101	オルプロリクス静注用500 500国際単位(溶解液付)	10	62								12	19	30
622488101	アディノベイト静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)		138									34	104
622489701	コバルトトリ静注用3000 3,000国際単位(溶解液付)		73									24	49
621384801	ファイバ静注用500 500単位10mL(溶解液付)		131									111	16
622440101	アドベイト静注用1500 1,500単位(溶解液付)		70								18	29	23
621153808	クロスエイトMC静注用250単位(溶解液付)		118							24	69	25	
620009264	クリスマシンM静注用1000単位 1,000単位(溶解液付)		79							36	15		28
622526401	イデルピオン静注用2000 2,000国際単位(溶解液付)		23										21
622034001	ノバクトM静注用400単位(溶解液付)		20								14		
622489401	コバルトトリ静注用500 500国際単位(溶解液付)												
622526201	イデルピオン静注用500 500国際単位(溶解液付)		24										23
622408201	ノバクトM静注用500単位(溶解液付)		23									14	
622488001	アディノベイト静注用500 500国際単位(溶解液付)		18									10	
622333001	ノボエイト静注用250 250国際単位(溶解液付)		17							13			
622402801	イロクテイト静注用250 250国際単位(溶解液付)		17										13
622526301	イデルピオン静注用1000 1,000国際単位(溶解液付)		14										13
622333101	ノボエイト静注用500 500国際単位(溶解液付)												
622403001	イロクテイト静注用750 750国際単位(溶解液付)												
622426501	オルプロリクス静注用250 250国際単位(溶解液付)												
622526101	イデルピオン静注用250 250国際単位(溶解液付)		18										18
622489301	コバルトトリ静注用250 250国際単位(溶解液付)												

資料5

日本のHIV/AIDS患者数

		H27委員会報告
男性	18738	22899
女性	1511	3096
総計	20249	25995

0歳	
3歳	
4歳	
5歳	
10～14歳	
15～19歳	32
20～24歳	375
25～29歳	1358
30～34歳	2217
35～39歳	3286
40～44歳	4118
45～49歳	3065
50～54歳	1977
55～59歳	1263
60～64歳	1148
65～69歳	761
70～74歳	389
75～79歳	175
80～84歳	65
85～89歳	
90～94歳	
総計	20249

北海道	361
青森県	57
岩手県	37
宮城県	190
秋田県	34
山形県	38
福島県	61
茨城県	314
栃木県	269
群馬県	195
埼玉県	401
千葉県	589
東京都	8145
神奈川県	1167
新潟県	100
富山県	52
石川県	111
福井県	42
山梨県	55
長野県	236
岐阜県	114
静岡県	336
愛知県	1230
三重県	119

滋賀県	111
京都府	310
大阪府	2517
兵庫県	542
奈良県	131
和歌山県	72
鳥取県	29
島根県	18
岡山県	170
広島県	254
山口県	52
徳島県	40
香川県	82
愛媛県	101
高知県	56
福岡県	702
佐賀県	20
長崎県	83
熊本県	146
大分県	56
宮崎県	86
鹿児島県	115
沖縄県	303
総計	20249

201504	8265
201505	7969
201506	8412
201507	8398
201508	8275
201509	8358
201510	8618
201511	8205
201512	8900
201601	8188
201602	8436
201603	9016

資料6

HIV感染症を合併した血友病患者数

	全体	血友病	血友病A	血友病B	フォンヴィレブランド病	フィブリノゲン欠乏症	凝固因子欠乏症	先天性血液凝固因子異常	血友病関節炎	血友病性出血	後天性低プロトロンビン血症	先天性第X因子欠乏症	先天性第XII因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	フィブリノゲン減少症
男性															
女性															
総計	504	57	372	122			15	32	251	40					

	全体	血友病	血友病A	血友病B	フォンヴィレブランド病	フィブリノゲン欠乏症	凝固因子欠乏症	先天性血液凝固因子異常	血友病関節炎	血友病性出血	後天性低プロトロンビン血症	先天性第X因子欠乏症	先天性第XII因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	フィブリノゲン減少症
30～34歳	26			15											
35～39歳	110	14	75	36					51	12					
40～44歳	130	11	105	25					69	11					
45～49歳	94	10	76	18					49						
50～54歳	76		62	13					42						
55～59歳	34		22						14						
60～64歳	24		16						10						
65～69歳	10														
総計	504	57	372	122			15	32	251	40					

	全体	血友病	血友病A	血友病B	フォンヴィレブランド病	フィブリノゲン欠乏症	凝固因子欠乏症	先天性血液凝固因子異常	血友病関節炎	血友病性出血	後天性低プロトロンビン血症	先天性第X因子欠乏症	先天性第XII因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	フィブリノゲン減少症
北海道	24		16					16							
青森県															
岩手県															
宮城県	20		21												
秋田県															
山形県															
福島県															
茨城県															
栃木県															
群馬県															
埼玉県															
千葉県															
東京都	169		134	36					91	29					
神奈川県	13		10												
新潟県															
富山県															
石川県															
福井県															
山梨県															
長野県															
岐阜県															
静岡県															
愛知県	23		16						18						
三重県															
滋賀県															
京都府															
大阪府	30		24						20						
兵庫県	16		10						11						
奈良県															
和歌山県															
鳥取県															
島根県															
岡山県															
広島県	13								13						
山口県															
徳島県															
香川県															
愛媛県															
高知県															
福岡県	38		29	11					22						
佐賀県															
長崎県	11														
熊本県															
大分県															
宮崎県															
鹿児島県															
沖縄県															

	全体	血友病	血友病A	血友病B	フォンヴィレブランド病	フィブリノゲン欠乏症	凝固因子欠乏症	先天性血液凝固因子異常	血友病関節炎	血友病性出血	後天性低プロトロンビン血症	先天性第X因子欠乏症	先天性第XII因子欠乏症	先天性第XIII因子欠乏症	フィブリノゲン減少症
201504	220	22	142	69					104	12					
201505	227	20	156	60					101	16					
201506	232	20	150	72					98	19					
201507	246	20	168	68			10		110	17					
201508	247	22	163	74					104	15					
201509	223	17	153	63					95	10					
201510	256	26	168	74					108	15					
201511	263	19	192	63				12	112	11					
201512	293	26	207	74				12	129	16					
201601	270	18	198	68				16	120	12					
201602	311	32	216	87				10	136	18					
201603	325	27	249	69				17	140	16					

HIV感染症

	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病	第VII因子欠乏症	後天性第XIII因子欠乏症	先天性第XI因子欠乏症	後天性血友病B
男性						
女性						
総計	12					

	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病	第VII因子欠乏症	後天性第XIII因子欠乏症	先天性第XI因子欠乏症	後天性血友病B
30～34歳						
35～39歳						
40～44歳						
45～49歳						
50～54歳						
55～59歳						
60～64歳						
65～69歳						
総計	12					

	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病	第VII因子欠乏症	後天性第XIII因子欠乏症	先天性第XI因子欠乏症	後天性血友病B
北海道						
青森県						
岩手県						
宮城県						
秋田県						
山形県						
福島県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
埼玉県						
千葉県						
東京都						
神奈川県						
新潟県						
富山県						
石川県						
福井県						
山梨県						
長野県						
岐阜県						
静岡県						
愛知県						
三重県						
滋賀県						
京都府						
大阪府						
兵庫県						
奈良県						
和歌山県						
鳥取県						
島根県						
岡山県						
広島県						
山口県						
徳島県						
香川県						
愛媛県						
高知県						
福岡県						
佐賀県						
長崎県						
熊本県						
大分県						
宮崎県						
鹿児島県						
沖縄県						

	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	第IX因子インヒビター陽性先天性血友病	第VII因子欠乏症	後天性第XIII因子欠乏症	先天性第XI因子欠乏症	後天性血友病B
201504						
201505						
201506						
201507						
201508						
201509						
201510						
201511						
201512	10					
201601						
201602						
201603						

HIV感染症単独で行ったNDB集計（レジメン集計ーピル数、合剤の内容）

資料7

抗HIV薬①	抗HIV薬②	抗HIV薬③	抗HIV薬④	ピル数	2013年4月～6月	2013年7月～9月	2013年10月～12月	2014年1月～3月	2014年4月～6月	2014年7月～9月	2014年10月～12月	2015年1月～3月	2015年4月～6月	2015年7月～9月	2015年10月～12月	2016年1月～3月	2016年4月～6月	2016年7月～9月	2016年10月～12月	2017年1月～3月
DTG	DVY-HT			4																1347
TRI				2									792	1608	2064	2400	2691	2956	3213	3411
GEN				2														714	1610	2131
DVY-HT	RAL			5																383
EZC	RAL			5	884	975	1053	1115	1052	970	985	972	937	933	934	924	923	925	909	889
TVD	DTG			4					610	1505	1995	2381	2628	2863	3037	3211	3383	3523	3676	2504
TVD	RAL			5	2161	2196	2308	2385	2232	2025	1958	1884	1864	1799	1806	1789	1778	1731	1734	1341
DVY-LT	PCX			4																303
TVD	RTV	DRVN		6			84	1071	1865	2182	2273	2193	2164	2052	2025	1945	1923	1827	1773	1178
EZC	DTG			4					406	943	1267	1569	1187	887	795	786	731	743	728	688
RTV	DRVN	DVY-LT		6																139
EFV	TVD			4	1577	1589	1580	1549	1469	1415	1368	1308	1233	1209	1158	1140	1098	1074	1033	816
EFV	DVY-HT			4																148
EZC	RTV	DRVN		6			31	462	730	818	857	850	803	756	741	717	708	680	658	489
CMP				2								133	206	248	287	320	341	347	351	342
STB				2	61	240	462	730	868	981	1058	1124	1210	1286	1366	1427	1468	955	365	163
EFV	EZC			4	394	390	406	399	381	367	357	338	323	313	314	287	285	281	280	256
EZC	PCX			4																118
EZC	RPV			4	153	192	206	223	223	217	211	208	205	202	198	204	198	200	200	194
TVD	RTV	ATV		7	950	896	852	810	707	580	530	487	437	388	374	337	304	290	264	194
TVD	RTV	DRVN		7	2415	2504	2505	1516	632	124										
EZC	RTV	ATV		7	462	441	447	439	388	305	285	266	241	205	195	174	163	151	144	119
TVD	LPV/r			7	525	483	458	438	405	346	323	294	279	255	246	225	220	202	186	137
RPV	DTG			4					16	41	48	54	63	74	85	92	102	102	111	110
EZC	LPV/r			7	268	255	251	248	238	195	187	170	147	129	129	123	109	109	98	87
RPV	DVY-HT			4																21
RTV	DVY-LT	ATV		7																31
3TC_150mg	ABC	RAL		9	94	100	102	108	96	86	85	82	80	75	76	78	75	72	75	68
TVD	RTV	FPV		7	260	245	250	239	199	168	158	144	133	111	104	104	101	89	85	57
TVD	EFV			6	228	225	219	213	206	157	160	154	153	139	140	137	129	126	117	120
RAL	ETR			8	46	45	49	51	56	55	57	62	62	66	62	58	62	61	59	59
DVY-LT	LPV/r			7																27
EZC	RTV	DRVN		7	813	865	899	506	199	31										
DVY-HT	EFV			6																
3TC_150mg	ABC	RAL		8	29	30	33	34	38	38	40	39	45	48	49	49	51	55	54	54
COM	LPV/r			8	108	107	104	99	96	82	76	69	62	57	60	59	54	45	50	43
TVD	RPV			4	201	232	252	262	242	228	216	95	59	40	38	40	36	36	34	20
EZC	ATV			5	99	93	91	90	80	63	58	61	50	51	48	42	42	40	40	41
RTV	DRVN	DTG		6						13	17	24	24	33	43	49	50	51	48	33
RTV	DRVN	RAL		7				26	47	57	60	59	62	55	47	45	48	47	51	38
EFV	COM			5	67	65	66	66	66	68	61	61	57	51	50	43	43	44	44	42
RTV	DVY-LT	FPV		7																18
3TC_150mg	DTG	ABC		7					12	11	10	13	15	18	17	21	19	22	22	23
EZC	RTV	FPV		7	125	121	120	122	111	90	75	66	59	50	45	44	39	39	33	27
3TC_150mg	ABC	LPV/r		11	85	77	79	75	72	66	64	61	57	58	53	50	48	47	45	37
EFV	3TC_150mg	AZT(ZDV)		10	61	62	60	58	58	54	52	50	47	48	45	42	38	37	36	33
TDF	EFV	3TC_150mg		7	76	74	75	71	73	62	60	57	47	48	46	45	42	42	38	35
RAL	COM			6	32	37	40	41	35	31	35	31	31	32	31	32	29	31	29	31
EZC	EFV			6	59	59	60	59	62	52	44	38	40	39	36	36	36	29	25	28
DTG	PCX			4																15
3TC_150mg	AZT(ZDV)	LPV/r		13	80	74	68	64	64	47	42	39	34	29	23	24	22	20	19	16
PCX	RAL			5																13
3TC_150mg	ABC	RAL		7			11	11	10	12	12			12	13	13	12	12	12	12
TVD	PCX			4																69
RAL	RTV	DRV		9											22	29	29	27	29	29
RPV	RAL			5	13	16	17	19	14	13	11	10		12	11	13	12	14	15	14
RAL	LPV/r			8	27	26	23	22	20	20	19	19	19	21	20	19	21	17	17	16
FTC	RPV	DTG		6											11	12	14	18	18	16
TDF	RTV	3TC_150mg	ATV	10	50	46	45	41	35	32	28	23	22	15	16	15	17	13	14	14
EZC	FPV	RTV		8	34	34	34	34	31	28	25	24	21	21	21	17	16	15	15	13
RPV	DTG	DVY-HT		6																
DVY-HT	PCX			4																13
TVD	FPV	RTV		8	46	45	46	44	32	31	26	22	17	11	11	10				
DVY-LT	RTV	DRV		8																
DTG	DVY-LT	PCX		6																
TDF				2																
DTG				2						13		12	13	12						13
3TC_150mg	DTG	ABC		6																
RTV	DRVN	DVY-HT		6																
DVY-HT	DTG			5																

抗HIV薬①	抗HIV薬②	抗HIV薬③	抗HIV薬④	ピル数	2017年4月～6月	2017年7月～9月	2017年10月～12月	2018年1月～3月	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	暦年2013年(4月～)	暦年2014年	暦年2015年	暦年2016年	暦年2017年	暦年2018年(～3月)
DTG	DVY-HT			4	3184	3873	4357	4616				1347	5018					4674	4616
TRI				2	3594	3725	3906	4001			2549	3722	4382			2161	3504	4246	4001
GEN				2	2411	2630	2773	2873				2242	3113				1648	3030	2873
DVY-HT	RAL			5	1128	1376	1483	1500				383	1622					1572	1500
EZC	RAL			5	865	852	829	817	1209	1057	1011	971	887	1120	1082	1028	1011	906	817
TVD	DTG			4	960	542	361	314		2526	3554	2885	370	2086	2885	3340	4070	495	314
TVD	RAL			5	588	366	292	240	2635	2123	1985	1522	285	2483	2192	2029	1923	369	240
DVY-LT	PCX			4	616	701	740	781				303	851					809	781
TVD	RTV	DRVN		6	585	346	306	248	1077	2468	2213	1402	282	84	2503	2305	2024	366	248
EZC	DTG			4	644	600	586	575		1648	871	766	624		1323	918	803	641	575
RTV	DRVN	DVY-LT		6	466	601	619	633				139	691					670	633
EFV	TVD			4	471	343	294	256	1730	1446	1245	922	276	1709	1518	1288	1154	337	256
EFV	DVY-HT			4	432	547	566	579				148	625					605	579
EZC	RTV	DRVN		6	359	336	310	297	463	917	795	552	336	31	919	826	721	356	297
CMP				2	316	298	293	294				374	321			311	392	335	294
STB				2	106	60	49	44	758	1233	1597	250	50	475	1161	1533	511	64	44
EFV	EZC			4	228	222	218	205	445	379	321	277	229	442	402	339	301	237	205
EZC	PCX			4	212	236	242	256				118	270					266	256
EZC	RPV			4	177	171	176	171	239	239	219	208	188	219	242	221	219	192	171
TVD	RTV	ATV		7	133	84	81	58	909	556	386	225	69	927	614	422	299	91	58
TVD	RTV	DRVN		7					1834	18					2731	76			
EZC	RTV	ATV		7	111	108	98	97	469	311	211	143	104	471	336	233	161	108	97
TVD	LPV/r			7	92	64	56	50	495	336	270	164	55	503	367	287	218	64	50
RPV	DTG			4	106	109	114	119		58	94	120	127		51	88	120	123	119
EZC	LPV/r			7	76	66	60	57	281	193	134	100	61	278	220	140	111	65	57
RPV	DVY-HT			4	64	74	85	96				21	100					89	96
RTV	DVY-LT	ATV		7	61	87	89	84				31	92					95	84
3TC_150mg	ABC	RAL		9	67	65	64	68	116	89	83	76	71	108	94	79	83	75	68
TVD	RTV	FPV		7	25	19	11	11	285	177	117	65	15	281	193	123	100	15	11
TVD	EFV			6	75	58	47	32	235	172	147	127	34	238	177	149	131	53	32
RAL	ETR			8	58	62	60	64	55	62	65	62	64	53	58	68	61	63	64
DVY-LT	LPV/r			7	60	63	62	62				27	72					71	62
EZC	RTV	DRVN		7					604	12				972	29				
DVY-HT	EFV			6	40	49	49	65					68					56	65
3TC_150mg	ABC	RAL		8	57	55	55	53	37	42	50	58	59	35	42	50	57	58	53
COM	LPV/r			8	38	34	35	33		112	81	65	50	114	90	66	55	37	33
TVD	RPV			4	10				296	125	47	23		272	241	48	39	10	
EZC	ATV			5	35	34	30	29	104	64	54	44	33	105	66	54	47	36	29
RTV	DRVN	DTG		6	29	33	31	32		25	52	43	34		18	43	56	36	32
RTV	DRVN	RAL		7	26	28	27	27	26	63	53	43	30		60	56	57	33	27
EFV	COM			5	35	32	34	28	74	65	50	43	31		66	53	44	36	28
RTV	DVY-LT	FPV		7	40	45	44	39				18	41					46	39
3TC_150mg	DTG	ABC		7	20	24	28	30		12	20	25	32		13	19	24	29	30
EZC	RTV	FPV		7	22	19	20	20	131	77	47	33	23	130	84	53	36	24	20
3TC_150mg	ABC	LPV/r		11	30	27	25	23	80	66	53	40	26	81	67	59	48	27	23
EFV	3TC_150mg	AZT(ZDV)		10	29	27	27	27	61	54	45	36	30		61	56	47	38	27
TDF	EFV	3TC_150mg		7	33	26	22	21	77	61	45	40	22		79	64	49	25	21
RAL	COM			6	28	28	27	23	41	35	37	32	26		40	36	33	30	23
EZC	EFV			6	26	23	23	24	61	45	37	31	25		62	50	39	26	24
DTG	PCX			4	22	21	26	26				15	29					27	26
3TC_150mg	AZT(ZDV)	LPV/r		13	16	16	16	13	73	46	28	17	14		74	53	28	21	16
PCX	RAL			5	20	21	27	24				13	28					29	24
3TC_150mg	ABC	RAL		7	17	14	14	16	11	14	14	12	18		11	14	14	16	16
TVD	PCX			4	36	30	27	21				69	22					31	21
RAL	RTV	DRV		9	25	22	22	18			29	30	22			22	32	24	18
RPV	RAL			5	16	14	16	18	20	10	14	16	19	17	13	12	16	17	18
RAL	LPV/r			8	15	15	16	14	24	20	21	18	14	24	20	21	19	16	14
FTC	RPV	DTG		6	18	17	16	13				17	16			13	18	17	13
TDF	RTV	3TC_150mg	ATV	10	11				46	30	22	14	10	48	36	20	17	11	
EZC	FPV	RTV		8	10	10	10	10		38	26	15	10	38	28	21	16	10	10
RPV	DTG	DVY-HT		6	11	14	15	15					17					16	15
DVY-HT	PCX			4	12	14	17	15				13	17					18	15
TVD	FPV	RTV		8					48	27	13			49	34	14	11		
DVY-LT	RTV	DRV		8		11	10	15					16					12	15
DTG	DVY-LT	PCX		6	10	10	12	15					16					13	15
TDF				2					10	14					13				
DTG				2		12	13			17		15			10			16	
3TC_150mg	DTG	ABC		6	10	10	12						13					13	
RTV	DRVN	DVY-HT		6		11	13	11					15					15	11
DVY-HT	DTG			5		14	12	14					15					14	14

HIV感染症単独で行ったNDB集計（レジメン集計—一般名）

資料 8

抗HIV薬①	抗HIV薬②	抗HIV薬③	抗HIV薬④	抗HIV薬⑤	2013年4月～6月	2013年7月～9月	2013年10月～12月	2014年1月～3月	2014年4月～6月	2014年7月～9月	2014年10月～12月	2015年1月～3月	2015年4月～6月	2015年7月～9月	2015年10月～12月	2016年1月～3月	2016年4月～6月	2016年7月～9月	2016年10月～12月	2017年1月～3月	
3TC	ABC	DTG							416	967	1292	1598	2014	2539	2905	3232	3468	3744	3987	4146	
DTG	FTC	TAF																			1353
FTC	TAF	エルテグラビル	コピシタット																714	1611	2131
FTC	RAL	TAF																			391
3TC	ABC	RAL			1034	1134	1217	1285	1215	1122	1140	1119	1088	1083	1086	1082	1078	1078	1063	1037	
DRVN	FTC	RTV	TDF		2426	2511	2597	2598	2510	2324	2283	2203	2169	2054	2028	1948	1925	1831	1775	1179	
DTG	FTC	TDF							620	1518	2008	2398	2648	2882	3059	3234	3408	3545	3694	2514	
FTC	RAL	TDF			2213	2243	2352	2429	2263	2054	1982	1904	1891	1825	1827	1804	1800	1751	1750	1349	
DRVN	FTC	TAF	コピシタット																		325
EFV	FTC	TDF			1825	1834	1823	1786	1697	1590	1546	1479	1403	1365	1317	1293	1240	1212	1164	946	
DRVN	FTC	RTV	TAF																		140
EFV	FTC	TAF																			158
3TC	ABC	DRVN	RTV		821	877	945	985	943	867	876	865	817	771	753	729	718	692	671	498	
FTC	RPV	TDF			201	232	252	262	242	228	225	232	265	289	328	360	378	383	385	362	
3TC	ABC	EFV			488	487	508	502	486	461	440	415	398	387	381	356	354	341	335	311	
FTC	TDF	エルテグラビル	コピシタット		61	241	464	731	868	981	1058	1124	1210	1287	1366	1427	1468	955	365	163	
3TC	ABC	DRVN	コピシタット																		124
3TC	ABC	RPV			155	194	207	224	226	221	216	211	208	205	200	206	201	202	202	196	
ATV	FTC	RTV	TDF		961	900	857	816	711	584	534	491	441	392	377	340	307	292	266	195	
3TC	ABC	ATV	RTV		485	465	470	462	410	325	303	286	260	224	210	189	178	166	157	131	
3TC	ABC	CPV	RTV		367	347	343	336	320	273	261	242	216	199	193	184	167	167	153	133	
CPV	FTC	RTV	TDF		537	492	467	447	411	351	326	298	284	259	249	229	223	205	190	141	
DTG	RPV								17	41	48	54	63	74	85	92	102	102	111	110	
FPV	FTC	RTV	TDF		307	292	297	284	232	199	184	166	150	122	115	115	111	98	94	63	
3TC	AZT(ZDV)	CPV	RTV		210	204	193	181	179	145	130	122	109	99	95	93	87	76	75	65	
FTC	RPV	TAF																			21
3TC	AZT(ZDV)	EFV			187	184	182	179	173	167	156	150	143	129	125	114	107	106	104	96	
ATV	FTC	RTV	TAF																		32
CPV	FTC	RTV	TAF																		27
ETR	RAL				47	46	49	52	57	56	57	63	63	67	63	60	64	62	60	60	
3TC	ABC	FPV	RTV		163	159	157	159	145	120	101	91	81	73	67	62	56	55	49	41	
3TC	ABC	ATV			105	97	94	94	83	66	61	63	50	51	48	48	42	42	40	41	
3TC	EFV	TDF			149	146	145	142	141	129	113	106	87	83	79	77	75	75	68	63	
DRVN	RAL	RTV			66	67	69	68	67	61	61	60	63	58	50	46	50	49	52	40	
3TC	AZT(ZDV)	RAL			56	63	67	63	56	53	56	51	53	52	50	52	48	49	45	45	
FPV	FTC	RTV	TAF																		21
DRVN	DTG	RTV								13	17	26	24	33	43	49	50	51	49	34	
DRVN	DTG	コピシタット																			15
DRVN	RAL	コピシタット																			14
3TC	AZT(ZDV)	NFV			77	74	70	67	58	54	46	40	38	39	32	34	29	28	26	25	
DRV	RAL	RTV			30	31	31	32	28	29	29	29	29	30	31	31	29	27	29	29	
RAL						13	10	10	14	10											
RAL	RPV				14	17	18	20	15	14	12	11	10	13	11	14	13	15	16	15	
3TC	ATV	RTV	TDF		82	76	70	65	58	54	44	36	34	26	27	25	25	23	23	23	
DRVN	FTC	TDF	コピシタット																		71
3TC	ABC	NVP			33	33	31	32	27	28	27	25	25	23	21	22	20	20	20	17	
CPV	RAL	RTV			27	26	23	22	20	20	20	19	19	21	20	19	21	17	17	16	
DRVN	DTG	FTC	TAF	コピシタット																	
DTG	FTC	RPV	TAF												11	12	14	18	18	16	
DRV	FTC	RTV	TAF																		
DTG										13		12	13	12							13
DTG	FTC	RPV	TAF																		
3TC	DRVN	RAL	RTV		10	13	15	16	16	12	14	13	11	12	14	16	17	16	14	11	
DRV	FTC	RTV	TDF		59	58	59	59	55	43	44	40	37	35	29	31	31	30	29	22	
TDF																					
3TC	ABC	DRV	RTV		26	25	26	31	26	24	24	21	22	18	18	16	16	12	13	12	
3TC	CPV	RTV	TDF		39	39	35	29	26	25	23	21	18	16	15	12	14	12	13	10	
3TC	DRV	RAL	RTV		18	17	18	17	17	16	15	14	15	13	12	11	11	11	10	10	
3TC	DTG																				
3TC	RAL	RPV					11	10			11										10
3TC	RAL	TDF			22	19	28	23	20	21	20	17	17	13	14	13	15	12	12	11	
DRV	ETR	RAL	RTV		18	17	17	17	15	15	15	15	13	13	12	12	11	12	11	12	
AZT(ZDV)																					
3TC	AZT(ZDV)	DRVN	RTV		15	12	12	13	11	12	12	11	10	11	10	10					
3TC	ETR	RAL			21	22	26	28	24	20	16	15	16	16	14	15	15	14	15	13	
DRVN	DTG	FTC	RTV	TAF																	
ETR	FTC	TAF																			
FTC	MVC	RAL	TDF		27	27	28	24	25	20	20	20	20	18	17	17	15	13	12	12	
FTC	TDF				11		11		26	17		11			11						
3TC	ABC	ETR	RAL		12	13	15	13	12	11		10	10	10	11	11	10	11	10	10	
3TC	AZT(ZDV)	DTG										10	12	15	13	16	16	14	14	12	
3TC	DTG	RPV								10		13	14	14	16	15	13	13	13	15	
DRV	FTC	RAL	RTV	TDF	26	29	26	25	20	19	17	16	16	16	15	13	14	15	13	10	

抗HIV薬①	抗HIV薬②	抗HIV薬③	抗HIV薬④	抗HIV薬⑤	2017年4月～6月	2017年7月～9月	2017年10月～12月	2018年1月～3月	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	暦年2013年(4月～)	暦年2014年	暦年2015年	暦年2016年	暦年2017年	暦年2018年(～3月)	
3TC	ABC	DTG			4294	4383	4556	4637		1680	3473	4539	5076		1351	3130	4358	4954	4637	
DTG	FTC	TAF			3195	3888	4372	4632				1353	5036					4691	4632	
FTC	TAF	エルテグラビル	コピシスタット		2413	2631	2773	2873				2243	3113				1649	3030	2873	
FTC	RAL	TAF			1134	1383	1496	1509				391	1633					1585	1509	
3TC	ABC	RAL			1020	997	971	965	1391	1223	1177	1131	1046	1294	1254	1187	1179	1064	965	
DRVN	FTC	RTV	TDF		586	348	306	248	2924	2498	2217	1403	282	2826	2591	2310	2027	366	248	
DTG	FTC	TDF			965	546	365	318		2544	3581	2898	374		2100	3368	4093	499	318	
FTC	RAL	TDF			595	375	297	247	2684	2149	2003	1533	295	2533	2224	2051	1943	378	247	
DRVN	FTC	TAF	コピシスタット		635	715	757	798				325	870					827	798	
EFV	FTC	TDF			551	404	347	293	1990	1638	1409	1059	316	1971	1715	1457	1301	397	293	
DRVN	FTC	RTV	TAF		474	612	632	644				140	706					685	644	
EFV	FTC	TAF			477	603	621	650				158	700					667	650	
3TC	ABC	DRVN	RTV		369	344	316	304	1084	945	809	561	343	1018	965	842	735	362	304	
FTC	RPV	TDF			326	304	302	301	296	264	394	397	330	272	250	362	431	345	301	
3TC	ABC	EFV			280	270	263	249	555	466	392	338	277	550	494	411	363	286	249	
FTC	TDF	エルテグラビル	コピシスタット		106	60	49	44	759	1233	1597	250	50	477	1161	1533	511	64	44	
3TC	ABC	DRVN	コピシスタット		218	239	243	258				124	272					268	258	
3TC	ABC	RPV			179	173	179	174	241	242	221	210	191	221	247	223	221	195	174	
ATV	FTC	RTV	TDF		133	84	81	58	915	560	389	226	69	932	618	425	301	91	58	
3TC	ABC	ATV	RTV		121	117	109	106	493	333	228	155	113	495	356	249	176	119	106	
3TC	ABC	CPV	RTV		115	101	93	86	375	270	200	150	93	373	297	213	170	100	86	
CPV	FTC	RTV	TDF		94	66	58	52	507	341	274	168	57	515	372	291	222	67	52	
DTG	RPV				107	109	114	119		58	94	120	127		51	88	120	123	119	
FPV	FTC	RTV	TDF		29	22	15	15	335	204	131	72	20	332	227	137	111	20	15	
3TC	AZT(ZDV)	CPV	RTV		60	55	56	50	208	143	105	74	53	212	158	108	83	58	50	
FTC	RPV	TAF			64	74	85	96				21	100					89	96	
3TC	AZT(ZDV)	EFV			81	79	78	68	193	160	129	101	77	190	168	135	107	84	68	
ATV	FTC	RTV	TAF		63	89	91	86				32	94					97	86	
CPV	FTC	RTV	TAF		62	65	62	67				27	77					72	67	
ETR	RAL				59	63	62	65	56	64	67	63	65	54	59	69	62	65	65	
3TC	ABC	FPV	RTV		32	29	30	30	173	104	66	49	33	172	113	76	53	34	30	
3TC	ABC	ATV			35	34	30	29	109	67	54	44	33	109	70	54	47	36	29	
3TC	EFV	TDF			54	42	37	33	153	110	78	68	35	153	122	85	75	41	33	
DRVN	RAL	RTV			28	29	28	27	78	65	54	45	31	76	63	59	58	35	27	
3TC	AZT(ZDV)	RAL			42	40	36	34	67	55	59	47	37	68	57	57	51	40	34	
FPV	FTC	RTV	TAF		42	49	46	43				21	47					50	43	
DRVN	DTG	RTV			30	34	32	33		27	52	44	35		18	43	57	37	33	
DRVN	DTG	コピシスタット			23	22	28	28				15	31					29	28	
DRVN	RAL	コピシスタット			21	22	28	25				14	29					30	25	
3TC	AZT(ZDV)	NFV			22	21	21	16	72	46	38	27	20	74	56	39	28	23	16	
DRV	RAL	RTV			25	22	22	18	32	31	32	30	22	32	30	32	32	24	18	
RAL									12	10		12			13		12			
RAL	RPV				16	15	17	19	21	12	15	17	20	18	14	14	17	19	19	
3TC	ATV	RTV	TDF		17	12	10	11	74	44	32	23	14	77	53	31	27	14	11	
DRVN	FTC	TDF	コピシスタット		36	30	27	21				71	22					31	21	
3TC	ABC	NVP			16	15	15	15	33	28	24	19	15	33	27	24	20	17	15	
CPV	RAL	RTV			15	15	16	14	24	20	21	18	14	24	21	21	19	16	14	
DRVN	DTG	FTC	TAF	コピシスタット	12	12	14	18					19					15	18	
DTG	FTC	RPV			18	17	16	13			13	17	16			13	18	17	13	
DRV	FTC	RTV	TAF			12	11	16					17					13	16	
DTG						13	14					15			10			17		
DTG	FTC	RPV	TAF		11	14	15	15					17					16	15	
3TC	DRVN	RAL	RTV		10			17	13	17	17	14	10	17	15	15	17	10		
DRV	FTC	RTV	TDF		19	14	13		62	46	34	23		61	47	34	32	15		
TDF									10	14					13					
3TC	ABC	DRV	RTV		12	11	10		35	25	19	14		30	28	22	14	11		
3TC	CPV	RTV	TDF						37	24	16	12		39	26	18	16			
3TC	DRV	RAL	RTV		10	11	10	11	19	16	12	10	11	19	16	12	11	11	11	
3TC	DTG							10					12					10	10	
3TC	RAL	RPV			11	14	15	13	11			10	14		11	10		15	13	
3TC	RAL	TDF							26	20	17	13		29	21	16	15			
DRV	ETR	RAL	RTV		11	11	10	10	17	16	13	13	10	18	18	13	13	11	10	
AZT(ZDV)																				
3TC	AZT(ZDV)	DRVN	RTV						15	13	12			14	13	11		12	10	
3TC	ETR	RAL			12	11	11	10	28	17	15	14	11	26	18	15	15	14	11	
DRVN	DTG	FTC	RTV	TAF			13	11					12					14	11	
ETR	FTC	TAF			10	12	10	11					12					12	11	
FTC	MVC	RAL	TDF						30	22	18	14		32	24	18	15			
FTC	TDF									15	15			15	12					
3TC	ABC	ETR	RAL						14	11	11	10		15	12	11	10			
3TC	AZT(ZDV)	DTG			12	11	10		10	16	13	10	10		14	16	16	12		
3TC	DTG	RPV			12	11	10			13	15	15	11		16	13	11			
DRV	FTC	RAL	RTV	TDF					29	19	14	11		28	20	15	17			

資料9

特定のHIV薬を処方されている患者（HIV/AIDS患者全体）

	全体	ヴァイデックスECカプセル125 125mg	ヴァイデックスECカプセル200 200mg	ピリアード錠300mg	レクシヴァ錠700 700mg	インビラーゼカプセル200mg	インビラーゼ錠500mg	クリキシバンカプセル200mg	ピラセプト錠250mg
男性	725			334	305				64
女性	87			43	25				16
総計	812	10		377	330			14	80

	全体	ヴァイデックスECカプセル125 125mg	ヴァイデックスECカプセル200 200mg	ピリアード錠300mg	レクシヴァ錠700 700mg	インビラーゼカプセル200mg	インビラーゼ錠500mg	クリキシバンカプセル200mg	ピラセプト錠250mg
5歳									
15～19歳									
20～24歳	11								
25～29歳	16								
30～34歳	54								
35～39歳	120			21	33				
40～44歳	157			48	63				
45～49歳	149			80	61				11
50～54歳	93			73	58				16
55～59歳	68			43	34				
60～64歳	57			34	23				
65～69歳	53			20	21				13
70～74歳	21			27	19				
75～79歳									
80～84歳									
85～89歳									
90～94歳									
総計	812	10		377	330			14	80

	全体	ヴァイデックスECカプセル125 125mg	ヴァイデックスECカプセル200 200mg	ピリアード錠300mg	レクシヴァ錠700 700mg	インビラーゼカプセル200mg	インビラーゼ錠500mg	クリキシバンカプセル200mg	ピラセプト錠250mg
北海道									
青森県									
岩手県									
宮城県	10								
秋田県									
山形県									
福島県									
茨城県	14								
栃木県									
群馬県									
埼玉県	16								
千葉県	12						12		
東京都	320			124	177				17
神奈川県	43			18	16				
新潟県									
富山県									
石川県									
福井県									
山梨県									
長野県	10								
岐阜県									
静岡県	22			11					
愛知県	102			86					
三重県	12								
滋賀県									
京都府									
大阪府	54			22	26				
兵庫県	20								
奈良県	18								
和歌山県									
鳥取県									
島根県									
岡山県	11								
広島県									
山口県									
徳島県									
香川県									
愛媛県	17								
高知県									
福岡県	22			16					
佐賀県									
長崎県									
熊本県									
大分県									
宮崎県									
鹿児島県									
沖縄県									
総計	812	10		377	330			14	80

	全体	ヴァイデックスECカプセル125 125mg	ヴァイデックスECカプセル200 200mg	ピリアード錠300mg	レクシヴァ錠700 700mg	インビラーゼカプセル200mg	インビラーゼ錠500mg	クリキシバンカプセル200mg	ピラセプト錠250mg
201504	351			161	135			10	40
201505	309			143	122				35
201506	335			154	127				39
201507	307			131	123			10	39
201508	284			137	103				35
201509	286			116	120			10	33
201510	312			136	126				37
201511	266			127	95				36
201512	290			133	112			10	31
201601	281			118	111				41
201602	264			123	99				32
201603	271			117	109				32

資料10

特定のHIV薬を処方されている患者 (HIV/AIDS+血友病の患者)

	全体
男性	22
女性	13
総計	45

ピリアード錠300mg	レクシヴァ錠700 700mg	ピラセプト錠250mg	インビラーゼ錠500mg	インビラーゼカプセル200mg	ヴァイデックスECカプセル200 200mg
22	13				

	全体
30～34歳	
35～39歳	13
40～44歳	10
45～49歳	11
50～54歳	
55～59歳	
60～64歳	
65～69歳	
総計	45

ピリアード錠300mg	レクシヴァ錠700 700mg	ピラセプト錠250mg	インビラーゼ錠500mg	インビラーゼカプセル200mg	ヴァイデックスECカプセル200 200mg
22	13				

	全体
201504	30
201505	27
201506	24
201601	30
201510	27
201602	25
201508	26
201509	27
201603	25
201512	27
201511	27
201507	32

ピリアード錠300mg	レクシヴァ錠700 700mg	ピラセプト錠250mg	インビラーゼ錠500mg	インビラーゼカプセル200mg	ヴァイデックスECカプセル200 200mg
15					
12					
12					
14					
14					
12					
11					
14					
12					
15					
13					
15					

	全体
血友病	
血友病A	31
血友病B	12
凝固因子欠乏症	
先天性血液凝固因子異常	
血友病関節炎	17
血友病性出血	
第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	

ピリアード錠300mg	レクシヴァ錠700 700mg	ピラセプト錠250mg	インビラーゼ錠500mg	インビラーゼカプセル200mg	ヴァイデックスECカプセル200 200mg
15					

	全体
北海道	
青森県	
岩手県	
宮城県	
秋田県	
山形県	
福島県	
茨城県	
栃木県	
群馬県	
埼玉県	
千葉県	
東京都	14
神奈川県	
新潟県	
富山県	
石川県	
福井県	
山梨県	
長野県	
岐阜県	
静岡県	
愛知県	
三重県	
滋賀県	
京都府	
大阪府	
兵庫県	
奈良県	
和歌山県	
鳥取県	
島根県	
岡山県	
広島県	
山口県	
徳島県	
香川県	
愛媛県	
高知県	
福岡県	
佐賀県	
長崎県	
熊本県	
大分県	
宮崎県	
鹿児島県	
沖縄県	
総計	45

ピリアード錠300mg	レクシヴァ錠700 700mg	ピラセプト錠250mg	インビラーゼ錠500mg	インビラーゼカプセル200mg	ヴァイデックスECカプセル200 200mg
22	13				

資料11

特定のHIV薬と他のHIV薬の組み合わせ処方 (HIV感染者/AIDS患者)

	ヴァイデックスECカプセル125 125mg	ヴァイデックスECカプセル200 200mg	ビリアード錠300mg	レクシヴァ錠700 700mg	インビラーゼカプセル200mg	インビラーゼ錠500mg	クリキシバンカプセル200mg	ピラセプト錠250mg
ゼリットカプセル15 15mg								10
ゼリットカプセル20 20mg								
ピラミューン錠200 200mg								
ヴァイデックスECカプセル125 125mg	10							
ヴァイデックスECカプセル200 200mg								
エビビル錠150 150mg			162	20			12	54
エビビル錠300 300mg			63					
レイアタツカプセル150mg			52					
レイアタツカプセル200mg								
ビリアード錠300mg			377	11				
レクシヴァ錠700 700mg			11	330				
エムトリバカプセル200mg			82					
インビラーゼカプセル200mg								
インビラーゼ錠500mg								
クリキシバンカプセル200mg							14	
ザイアジェン錠300mg			27	11				
レトロビルカプセル100mg							12	29
ブリジスタ錠300mg			14					
ストックリン錠600mg			85					
アイセントレス錠400mg			68	18				
インテレンス錠100mg			13					
シーエルセントリ錠150mg								
ノービア内用液8% 80mg								
ピラセプト錠250mg								80
コンビビル配合錠								15
カレトラ配合内用液								
エブジコム配合錠			20	104				
ツルバダ配合錠			83	197				
カレトラ配合錠			41					
ストックリン錠200mg			30					
ノービア錠100mg			104	284				
エジュラント錠25mg			17					
スタリビルド配合錠								
ブリジスタナイーブ錠800mg			37					
テビケイ錠50mg			97	36				
コムブレラ配合錠								
ブリジスタ錠600mg			10					
トリーメク配合錠			13	35				
総計	34	35	1447	1079	19	15		232

資料12

特定のHIV薬と他のHIV薬の組み合わせ処方（HIV/AIDS＋血友病の患者）

	ヴァイデックスECカプセル200 200mg	ビリアード錠300mg	レクシヴァ錠700 700mg	インビラーゼカプセル200mg	インビラーゼ錠500mg	ビラセプト錠250mg
ゼリットカプセル20 20mg						
ヴァイデックスECカプセル200 200mg						
エピビル錠150 150mg						
エピビル錠300 300mg						
レイアタツカプセル150mg						
ビリアード錠300mg		22				
レクシヴァ錠700 700mg			13			
インビラーゼカプセル200mg						
インビラーゼ錠500mg						
ザイアジェン錠300mg						
レトロビルカプセル100mg						
ストックリン錠600mg						
アイセントレス錠400mg		11				
インテレンス錠100mg						
シーエルセントリ錠150mg						
ビラセプト錠250mg						
コンビビル配合錠						
エブジコム配合錠						
ツルバダ配合錠						
カレトラ配合錠						
ストックリン錠200mg						
ノービア錠100mg						
エジュラント錠25mg						
プリジスタナイーブ錠800mg						
テビケイ錠50mg						
コムプレラ配合錠						
トリーメク配合錠						
総計		76	44			24

血友病かつB型肝炎の患者

全体	
男性	
女性	
総計	20

全体	
45～49歳	
50～54歳	
25～29歳	
30～34歳	
35～39歳	
40～44歳	
60～64歳	
65～69歳	
70～74歳	
75～79歳	
総計	20

全体	
北海道	
山形県	
千葉県	
東京都	
新潟県	
愛知県	
大阪府	
兵庫県	
香川県	
愛媛県	
福岡県	
佐賀県	
総計	20

全体	
201504	
201505	
201506	
201507	
201508	
201509	
201510	
201511	
201512	
201601	
201602	
201603	10

HIV/AIDS+血友病患者か
つB型肝炎の患者

全体	
男性	
女性	
総計	

全体	
40～44歳	
45～49歳	
50～54歳	
総計	

全体	
北海道	
福岡県	
総計	

全体	
201504	
201505	
201506	
201507	
201508	
201509	
201510	
201511	
201512	
201601	
201602	
201603	

HIV/AIDSでない血友病患
者でB型肝炎の患者

全体	
男性	
女性	
総計	

全体	
30～34歳	
35～39歳	
40～44歳	
45～49歳	
60～64歳	
65～69歳	
70～74歳	
75～79歳	
総計	

全体	
北海道	
山形県	
千葉県	
東京都	
新潟県	
愛知県	
大阪府	
兵庫県	
香川県	
愛媛県	
佐賀県	
総計	

全体	
201504	
201505	
201506	
201507	
201508	
201509	
201510	
201511	
201512	
201601	
201602	
201603	

血友病かつC型肝炎の患者

全体	
男性	289
女性	17
総計	306

全体	
25～29歳	
30～34歳	24
35～39歳	40
40～44歳	59
45～49歳	47
50～54歳	48
55～59歳	22
60～64歳	29
65～69歳	18
70～74歳	
75～79歳	
総計	306

全体	
北海道	
青森県	
岩手県	
宮城県	
秋田県	
山形県	
福島県	
茨城県	
栃木県	
群馬県	
埼玉県	
千葉県	
東京都	97
神奈川県	11
新潟県	
富山県	
石川県	
山梨県	
長野県	
岐阜県	
静岡県	
愛知県	27
三重県	
滋賀県	
京都府	
大阪府	19
兵庫県	16
奈良県	
和歌山県	
鳥取県	
岡山県	
広島県	
山口県	
徳島県	
香川県	
福岡県	10
佐賀県	
長崎県	
熊本県	
大分県	
宮崎県	
鹿児島県	
沖縄県	
総計	306

全体	
201504	120
201505	129
201506	130
201507	123
201508	133
201509	127
201510	134
201511	147
201512	151
201601	150
201602	167
201603	175

HIV AIDS+血友病患者か
つC型肝炎の患者

全体	
男性	
女性	
総計	106

全体	
30～34歳	
35～39歳	18
40～44歳	35
45～49歳	19
50～54歳	19
55～59歳	
60～64歳	
65～69歳	
総計	106

全体	
北海道	
岩手県	
宮城県	
秋田県	
茨城県	
栃木県	
群馬県	
千葉県	
東京都	46
神奈川県	
富山県	
石川県	
岐阜県	
静岡県	
愛知県	
滋賀県	
大阪府	
和歌山県	
岡山県	
広島県	
福岡県	
長崎県	
熊本県	
総計	106

全体	
201504	49
201505	50
201506	52
201507	50
201508	52
201509	53
201510	56
201511	60
201512	62
201601	54
201602	71
201603	70

HIV AIDSでない血友病患
者でC型肝炎の患者

全体	
男性	
女性	
総計	200

全体	
25～29歳	
30～34歳	
35～39歳	22
40～44歳	24
45～49歳	28
50～54歳	29
55～59歳	
60～64歳	
65～69歳	
70～74歳	
75～79歳	
総計	200

全体	
北海道	
青森県	
岩手県	
宮城県	
秋田県	
山形県	
福島県	
茨城県	
栃木県	
群馬県	
埼玉県	
千葉県	
東京都	51
神奈川県	
新潟県	
富山県	
山梨県	
長野県	
岐阜県	
静岡県	
愛知県	
三重県	
滋賀県	
京都府	
大阪府	
兵庫県	
奈良県	
和歌山県	
鳥取県	
岡山県	
広島県	
山口県	
徳島県	
香川県	
福岡県	
佐賀県	
長崎県	
大分県	
宮崎県	
鹿児島県	
沖縄県	
	200

全体	
201504	71
201505	79
201506	78
201507	73
201508	81
201509	74
201510	78
201511	87
201512	89
201601	96
201602	96
201603	105

資料15

血友病患者へのDAA投与

DAA処方組み合わせ(血友病患者全体)

	全体	レベトールカプセル200mg	ペガシス皮下注90μg 1mL	ペグイントロン皮下注用100μg/0.5mL用(溶解液付)	コペガス錠200mg	フェロン注射用300万 300万国際単位(溶解液付)	スミフェロン注DS300万IU 300万国際単位	テラビック錠250mg	ソブリアードカプセル100mg	ダクルインザ錠60mg	スンベブラカプセル100mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠	ヴィキラックス配合錠
テラビック錠250mg														
ダクルインザ錠60mg	23									23	23			
スンベブラカプセル100mg	23									23	23			
ソバルディ錠400mg	39	15			25									
ハーボニー配合錠	226													
ヴィキラックス配合錠														

DAA処方組み合わせ(いわゆる薬害エイズ患者)

	全体	レベトールカプセル200mg	ペガシス皮下注90μg 1mL	ペグイントロン皮下注用100μg/0.5mL用(溶解液付)	コペガス錠200mg	スミフェロン注DS300万IU 300万国際単位	テラビック錠250mg	ソブリアードカプセル100mg	ダクルインザ錠60mg	スンベブラカプセル100mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠
テラビック錠250mg												
ダクルインザ錠60mg												
スンベブラカプセル100mg												
ソバルディ錠400mg	16				13							
ハーボニー配合錠	78											

DAA処方組み合わせ(HIV/AIDSを合併していない血友病患者)

	全体	レベトールカプセル200mg	ペガシス皮下注90μg 1mL	ペグイントロン皮下注用100μg/0.5mL用(溶解液付)	コペガス錠200mg	フェロン注射用300万 300万国際単位(溶解液付)	ダクルインザ錠60mg	スンベブラカプセル100mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠	ヴィキラックス配合錠
ダクルインザ錠60mg											
スンベブラカプセル100mg											
ソバルディ錠400mg	23				12						
ハーボニー配合錠	148										
ヴィキラックス配合錠											

資料16

C型肝炎患者へのDAAs処方(日本のC型肝炎患者全体)

	全体	テラビック錠250mg	ダクルインザ錠60mg	スンベプラカプセル100mg	バニヘップカプセル150mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠	ヴィキラックス配合錠
男性	49348		17631	17629	364	13182	17293	841
女性	59682		22144	22140	263	13247	23029	985
総計	109030	36	39775	39769	627	26429	40322	1826

	全体	テラビック錠250mg	ダクルインザ錠60mg	スンベプラカプセル100mg	バニヘップカプセル150mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠	ヴィキラックス配合錠
9歳								
10～14歳								
15～19歳	50					24	20	
20～24歳	133		17	17		63	47	
25～29歳	370		47	47		178	133	
30～34歳	761		122	122	11	365	254	
35～39歳	1240		179	179	25	625	398	12
40～44歳	2369		424	424	26	1098	783	38
45～49歳	3703		874	873	38	1483	1249	53
50～54歳	6933		1902	1902	67	2405	2472	84
55～59歳	9353		2941	2940	103	2637	3534	133
60～64歳	13069		4610	4610	128	3198	4950	175
65～69歳	19205		7179	7178	123	4241	7394	255
70～74歳	20437		8633	8633	76	3895	7475	346
75～79歳	19312		8087	8085	18	3689	7123	391
80～84歳	10252		4068	4067		2140	3787	257
85～89歳	1729		639	639		366	665	59
90～94歳	106		45	45		19	36	
95～99歳								
総計	109030	36	39775	39769	627	26429	40322	1826

	全体	テラビック錠250mg	ダクルインザ錠60mg	スンベプラカプセル100mg	バニヘップカプセル150mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠	ヴィキラックス配合錠
201504	22388	17	21938	21930	434			
201505	22135	11	21745	21740	338	40		
201506	23790	11	22555	22549	266	959		
201507	23896		21053	21048	180	2653		
201508	24389	11	18958	18955	125	5294		
201509	27071		16713	16708	82	8338	1936	
201510	29777		13798	13791	51	10369	5562	
201511	31404		10070	10061	34	9509	11787	
201512	31573		6991	6983	22	7877	16562	122
201601	31758		4671	4668	19	6591	20012	465
201602	30191		3123	3124	13	6160	19839	1054
201603	28879		2142	2142	15	6392	18657	1672

	全体	テラビック錠250mg	ダクルインザ錠60mg	スンベプラカプセル100mg	バニヘップカプセル150mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠	ヴィキラックス配合錠
北海道	3758		1700	1700	16	948	1051	40
青森県	1190		482	482		292	411	
岩手県	982		524	524	14	190	236	18
宮城県	1809		695	695	13	416	666	19
秋田県	797		360	360		200	226	
山形県	905		385	385		192	320	
福島県	1390		539	538	10	378	460	
茨城県	2573		808	808	12	739	982	31
栃木県	1746		672	672		536	509	22
群馬県	2271		660	660		674	905	27
埼玉県	4478		1755	1756	45	1075	1456	145
千葉県	4098		1296	1297	22	1169	1549	59

	全体	テラビック錠250mg	ダクルインザ錠60mg	スンベプラカプセル100mg	バニヘップカプセル150mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠	ヴィキラックス配合錠
東京都	9721		3148	3143	69	2212	4096	192
神奈川県	6444		2400	2400	23	1697	2196	123
新潟県	1040		515	515	19	226	263	16
富山県	932		341	341		203	368	16
石川県	1214		572	572		171	452	15
福井県	830		354	354		182	246	38
山梨県	1073		256	256		273	529	
長野県	1683		486	487	14	493	666	23
岐阜県	2152		908	907	14	558	596	75
静岡県	3289		1241	1241	11	901	1114	21
愛知県	5045		1977	1977	23	1109	1901	36
三重県	1619		774	773	11	376	450	
滋賀県	1014		347	347		237	379	43
京都府	2793		979	980		610	1135	59
大阪府	7393		2107	2107	53	1632	3499	101
兵庫県	4707	12	1645	1644	29	969	1960	93
奈良県	1077		298	298	11	217	520	31
和歌山県	1377		349	349		355	658	
鳥取県	655		210	210		107	330	
島根県	857		255	255		272	321	
岡山県	2391		900	901	10	586	857	36
広島県	4029		1750	1749	28	949	1219	83
山口県	1567		539	539		456	528	36
徳島県	871		332	332		220	307	
香川県	1204		355	355		374	434	33
愛媛県	1765		513	513		475	741	29
高知県	958		265	265		208	464	14
福岡県	6167		2429	2428	41	1460	2089	140
佐賀県	1655		717	716		355	558	21
長崎県	1239		424	425		253	538	18
熊本県	1747		671	671		456	579	32
大分県	1412		512	512		309	554	34
宮崎県	1218		512	511		310	380	15
鹿児島県	1565		697	698		339	496	27
沖縄県	330		121	121		70	128	
	109030	36	39775	39769	627	26429	40322	1826

資料17

C型肝炎患者へのDAA処方(C型肝炎を有する薬害エイズ患者)

	全体	テラビック錠250mg	ダクルインザ錠60mg	スンペプラカプセル100mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠
男性						
女性						
総計	98				16	78

		テラビック錠250mg	ダクルインザ錠60mg	スンペプラカプセル100mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠
30～34歳						
35～39歳	15					10
40～44歳	34					31
45～49歳	18					13
50～54歳	18					11
55～59歳						
60～64歳						
65～69歳						
総計	98				16	78

	全体	テラビック錠250mg	ダクルインザ錠60mg	スンペプラカプセル100mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠
北海道						
宮城県						
秋田県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
千葉県						
東京都	48					41
神奈川県						
富山県						
石川県						
岐阜県						
静岡県						
愛知県						
滋賀県						
大阪府						
和歌山県						
岡山県						
広島県						
福岡県						
熊本県						
総計	98				16	78

	全体	テラビック錠250mg	ダクルインザ錠60mg	スンペプラカプセル100mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠
201504						
201505						
201506						
201507						
201508						
201509	27					20
201510	38					33
201511	38					33
201512	31					28
201601	33					31
201602	33					31
201603	20					19

資料18

C型肝炎患者へのDAAs処方(「HIV/AIDSを合併しない血友病患者」のうちC型肝炎を有する方)

	全体	ダクルインザ錠60mg	スンベプラカプセル100mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠	ヴィキラックス配合錠
男性	177				138	
女性	15				10	
総計	192	20	20	23	148	

	全体	ダクルインザ錠60mg	スンベプラカプセル100mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠	ヴィキラックス配合錠
25～29歳						
30～34歳	19				17	
35～39歳	19				17	
40～44歳	26				19	
45～49歳	25				19	
50～54歳	27				23	
55～59歳	15				11	
60～64歳	24				16	
65～69歳	18				13	
70～74歳						
75～79歳						
80～84歳						
総計	192	20	20	23	148	

	全体	ダクルインザ錠60mg	スンベプラカプセル100mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠	ヴィキラックス配合錠
201504	16	16	16			
201505	13	12	12			
201506	13	10	10			
201507	13					
201508	11					
201509	39				29	
201510	57				50	
201511	61				55	
201512	56				47	
201601	58				49	
201602	56				49	
201603	68				58	

	全体	ダクルインザ錠60mg	スンベプラカプセル100mg	ソバルディ錠400mg	ハーボニー配合錠	ヴィキラックス配合錠
北海道						
青森県						
岩手県						
宮城県						
秋田県						
山形県						
福島県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
埼玉県						
千葉県						
東京都	52				44	
神奈川県						
新潟県						
富山県						
山梨県						
長野県						
岐阜県						
静岡県						
愛知県	25				17	
三重県						
滋賀県						
京都府						
大阪府	10					
兵庫県	13				11	
奈良県						
和歌山県						
鳥取県						
岡山県						
広島県						
山口県						
徳島県						
香川県						
福岡県						
佐賀県						
長崎県						
大分県						
宮崎県						
沖縄県						
総計	192	20	20	23	148	

人工関節置換術（股・膝）後の併存疾患

	施行人数	30日以内の死亡	30日以内に赤血球製剤を使用	30日以内の肺塞栓（病名）	30日以内のACS（心カテ）	30日以内の脳梗塞（脳卒中リハ算定+病名）
人工関節置換術（股）	238,155	164	11,103	1,431	26	315
うち重複発生患者に限定	31,010	31	1,845	242		62
人工関節置換術（膝）	310,128	127	12,676	2,858	36	576
うち重複発生患者に限定	72,538	55	3,869	805	17	195
	施行回数	30日以内の死亡	30日以内に赤血球製剤を使用			
人工関節置換術（股）	270,688	166	11,670	1,504	26	319
うち重複発生患者に限定	63,543	33	2,412	315		66
人工関節置換術（膝）	388,871	129	14,041	3,077	36	587
うち重複発生患者に限定	152,181	57	5,234	1,024	17	206

※1人に複数回の対象手術が行われた場合、手術ごとに別のイベントとしてカウント（1人を複数回数えている可能性がある）

●2013-2017年度に1回以上抗HIV薬を処方された患者28549名に限定（血液凝固異常症の定義を満たした患者570名を含む）

	施行人数	30日以内の死亡	30日以内に赤血球製剤を使用	30日以内の肺塞栓（病名）	30日以内のACS（心カテ）	30日以内の脳梗塞（脳卒中リハ算定+病名）
人工関節置換術（股）	47					
人工関節置換術（膝）	21					
	施行回数	30日以内の死亡	30日以内に赤血球製剤を使用			
人工関節置換術（股）	57					
人工関節置換術（膝）	25					

※1人に複数回の対象手術が行われた場合、手術ごとに別のイベントとしてカウント（1人を複数回数えている可能性がある）

●2013-2017年度で血液凝固異常症の定義を満たした患者15215名に限定（抗HIV薬を処方された570名を含む）

	施行人数	30日以内の死亡	30日以内に赤血球製剤を使用	30日以内の肺塞栓（病名）	30日以内のACS（心カテ）	30日以内の脳梗塞（脳卒中リハ算定+病名）
人工関節置換術（股）	76					
人工関節置換術（膝）	104					
	施行回数	30日以内の死亡	30日以内に赤血球製剤を使用			
人工関節置換術（股）	88					
人工関節置換術（膝）	118					

※1人に複数回の対象手術が行われた場合、手術ごとに別のイベントとしてカウント（1人を複数回数えている可能性がある）

●2013-2017年度で血液凝固異常症の定義を満たしかつ抗HIV薬を処方された患者570名に限定

	施行人数	30日以内の死亡	30日以内に赤血球製剤を使用	30日以内の肺塞栓（病名）	30日以内のACS（心カテ）	30日以内の脳梗塞（脳卒中リハ算定+病名）
人工関節置換術（股）						
人工関節置換術（膝）	15					
	施行回数	30日以内の死亡	30日以内に赤血球製剤を使用			
人工関節置換術（股）	10					
人工関節置換術（膝）	19					

※1人に複数回の対象手術が行われた場合、手術ごとに別のイベントとしてカウント（1人を複数回数えている可能性がある）

人工関節置換術（股・膝）後の感染

対象期間：2013年4月～2018年3月の5年間、感染ありは手術施行後（最大5年間）に感染を表す診療行為コードが発生した者を集計

●全体（血友病患者含む）		
術式	施行人数	感染あり
人工関節置換術（股）	238156	56098
人工関節置換術（膝）	310128	105731

●血友病患者		
術式	施行人数	感染あり
人工関節置換術（股）	46	14
人工関節置換術（膝）	76	21

集計期間：2013年度～2017年度 病名には疑い病名を含む

	人数	降圧薬処方	糖尿病薬処方	DVT病名(I802)	PE病名(I269)	入院中のDVT病名	入院中のPE病名	人工関節置換術施行	骨折の手術施行	骨粗鬆症薬処方	MRI撮影	C T撮影	C型肝炎薬処方	
男性	0～4歳													
	5～9歳													
	10～14歳													
	15～19歳	16												
	20～24歳	402			19						73	155		
	25～29歳	1,693	14	10	60	20	12		23	19	335	625	13	
	30～34歳	2,806	60	36	102	30	16		27	59	621	981	25	
	35～39歳	3,725	152	91	145	48	17	12	44	69	943	1,385	41	
	40～44歳	4,793	364	202	238	84	38	17	10	73	141	1,386	2,006	65
	45～49歳	4,338	614	328	252	72	50	14		78	172	1,424	1,924	56
	50～54歳	2,885	596	288	175	46	24			68	152	1,019	1,397	48
	55～59歳	1,755	475	215	142	35	26			26	116	704	893	21
	60～64歳	1,324	427	241	116	32	30			40	112	553	731	16
	65～69歳	1,169	434	237	97	23	28			22	108	527	706	19
	70～74歳	556	256	133	59	19	16			18	66	290	375	15
	75～79歳	292	146	72	42	12	10			11	41	176	225	
	80～84歳	108	66	26	22						21	67	89	
	85～89歳	35	19									26	31	
90～94歳														
95～99歳														
100歳以上														
女性	0～4歳													
	5～9歳													
	10～14歳													
	15～19歳													
	20～24歳	30										10		
	25～29歳	53									10	19		
	30～34歳	157									36	51		
	35～39歳	283	11	11	20					15	68	110		
	40～44歳	387	16	11	11					14	100	135		
	45～49歳	370	30	11	16					27	112	142		
	50～54歳	281	41	21	18					29	106	123		
	55～59歳	169	33	11						29	74	88		
	60～64歳	115	26							22	48	57		
	65～69歳	86	23	14						21	40	52		
	70～74歳	64	26	10						28	30	35		
	75～79歳	39	17							22	20	21		
	80～84歳	18								12	12	15		
	85～89歳													
90～94歳														
95～99歳														
100歳以上														

集計期間：2013年度～2017年度 病名には疑い病名を含む

	人数	降圧薬処方	糖尿病薬処方	DVT病名(I802)	PE病名(I269)	入院中のDVT病名	入院中のPE病名	人工関節置換術施行	骨折の手術施行	骨粗鬆症薬処方	MRI撮影	C T撮影	C型肝炎薬処方	
男性	0～4歳	612	71	65	13					396	269	313		
	5～9歳	544	28		19				12	49	138	241		
	10～14歳	493	13		17				21	13	171	179		
	15～19歳	565	29	17	38				29	18	250	281		
	20～24歳	494	18		38		11		10	17	174	200		
	25～29歳	483	24	15	35				11	17	136	183		
	30～34歳	482	28	24	42					20	145	223	29	
	35～39歳	444	47	32	56		13		14	26	160	206	45	
	40～44歳	446	103	55	64		13		17	40	202	253	75	
	45～49歳	426	125	72	76		17		12	21	56	210	279	55
	50～54歳	394	148	76	73		18			27	70	234	300	59
	55～59歳	445	220	142	92	15	27		14	26	118	287	371	47
	60～64歳	597	307	232	104	29	35	15	11	34	172	428	523	40
	65～69歳	1,001	590	451	224	54	91	26	13	44	330	800	943	44
	70～74歳	1,085	738	555	277	63	109	34	12	73	412	934	1,050	29
	75～79歳	1,035	690	560	255	61	113	31		45	409	928	1,023	23
	80～84歳	931	681	458	231	71	108	34		50	413	848	922	13
85～89歳	483	370	198	113	31	53	16		39	248	423	475		
90～94歳	128	98	44	37	10	19			10	68	118	127		
95～99歳	11										10	11		
100歳以上														
女性	0～4歳	238	65	55	13					222	139	116		
	5～9歳	91	21							33	26	51		
	10～14歳	59	10							10	25	31		
	15～19歳	55	10							11	27	29		
	20～24歳	69	10	11	19					17	26	37		
	25～29歳	109	19	15	22					22	43	53		
	30～34歳	132	18	15	39		11			31	49	58		
	35～39歳	170	27	21	31					46	67	85		
	40～44歳	172	28	24	41		10			55	87	98		
	45～49歳	123	34	21	35		13			40	83	94		
	50～54歳	124	40	27	39		11			31	98	99		
	55～59歳	126	49	31	32		11			12	39	87	109	
	60～64歳	160	82	60	47	10	20			16	67	132	148	
	65～69歳	279	154	127	72	14	39			25	148	244	270	
	70～74歳	335	224	173	109	24	48	12		29	190	299	329	
	75～79歳	403	300	217	117	27	60	13		39	250	363	393	
	80～84歳	447	359	240	146	36	74	17	15	75	332	413	444	
85～89歳	296	232	139	73	18	41			37	223	267	291		
90～94歳	134	105	57	33		20			24	95	119	133		
95～99歳	21	15								13	17	21		
100歳以上														

集計期間：2013年度～2017年度 病名には疑い病名を含む

	人数	降圧薬処方	糖尿病薬処方	DVT病名(I802)	PE病名(I269)	入院中のDVT病名	入院中のPE病名	人工関節置換術施行	骨折の手術施行	骨粗鬆症薬処方	MRI撮影	C T撮影	C型肝炎薬処方
男性	0～4歳												
	5～9歳												
	10～14歳												
	15～19歳												
	20～24歳												
	25～29歳												
	30～34歳	10											
	35～39歳	64									21	35	15
	40～44歳	147	46	14	17					17	86	95	53
	45～49歳	129	49	19	13					21	64	87	48
	50～54歳	103	47	13	14					20	50	71	36
	55～59歳	53	22	11						13	33	39	12
	60～64歳	34	25							10	27	28	
	65～69歳	21	15								19	18	
	70～74歳												
	75～79歳												
	80～84歳												
85～89歳													
90～94歳													
95～99歳													
100歳以上													
女性	0～4歳												
	5～9歳												
	10～14歳												
	15～19歳												
	20～24歳												
	25～29歳												
	30～34歳												
	35～39歳												
	40～44歳												
	45～49歳												
	50～54歳												
	55～59歳												
	60～64歳												
	65～69歳												
	70～74歳												
	75～79歳												
	80～84歳												
85～89歳													
90～94歳													
95～99歳													
100歳以上													

集計期間：2013年度～2017年度 病名には疑い病名を含む

	人数	降圧薬処方	糖尿病薬処方	DVT病名(I802)	PE病名(I269)	入院中のDVT病名	入院中のPE病名	人工関節置換術施行	骨折の手術施行	骨粗鬆症薬処方	MRI撮影	C T撮影	C型肝炎薬処方	
男性	0～4歳	1,046	272	1,046	57		42			852	342	476		
	5～9歳	1,048	169	1,048	36		27		25	292	196	304		
	10～14歳	1,647	143	1,647	27		11		116	159	420	489		
	15～19歳	4,233	352	4,233	126	32	45	15	289	288	1,033	1,547		
	20～24歳	9,160	1,003	9,160	259	71	80	33	168	454	1,675	3,158		
	25～29歳	18,013	2,813	18,013	483	134	145	46	215	587	2,948	5,933		
	30～34歳	36,954	8,208	36,954	1,024	352	268	114	515	1,051	6,557	12,482	19	
	35～39歳	71,666	21,068	71,666	2,155	723	498	202	1,103	2,285	14,521	26,039	111	
	40～44歳	158,005	59,243	158,005	5,444	1,750	1,233	461	80	2,850	36,649	61,296	292	
	45～49歳	270,503	120,884	270,503	10,588	3,333	2,315	805	167	5,719	71,185	112,306	806	
	50～54歳	356,210	180,693	356,210	15,973	5,015	3,297	1,169	360	8,204	106,698	159,012	1,659	
	55～59歳	457,353	254,826	457,353	22,856	6,696	5,080	1,678	725	11,971	23,896	154,212	2,665	
	60～64歳	625,925	368,064	625,925	34,645	9,651	8,166	2,528	1,498	17,709	39,602	232,946	320,941	3,513
	65～69歳	961,408	600,885	961,408	64,567	17,824	15,654	4,980	2,814	32,487	76,262	419,328	556,728	5,317
	70～74歳	888,158	585,216	888,158	77,153	21,812	19,189	6,181	3,971	38,387	93,636	475,373	601,312	5,212
	75～79歳	810,169	549,415	810,169	83,731	23,515	22,136	7,063	5,176	42,777	112,421	488,928	600,674	4,242
	80～84歳	648,397	462,468	648,397	78,757	23,088	23,147	7,316	5,017	42,485	118,204	433,926	532,259	3,095
	85～89歳	369,200	264,538	369,200	46,331	14,366	15,558	4,990	2,486	26,095	78,330	251,038	318,114	946
	90～94歳	124,318	86,893	124,318	15,050	4,835	5,678	1,859	424	8,757	27,771	80,929	109,688	107
	95～99歳	22,323	14,463	22,323	2,371	766	1,057	346	26	1,583	4,698	13,397	19,692	
	100歳以上	2,584	1,542	2,584	231	90	106	41		173	477	1,359	2,251	
女性	0～4歳	942	258	942	52	14	40			750	296	394		
	5～9歳	1,155	140	1,155	29		23		24	287	199	305		
	10～14歳	2,057	112	2,057	37		17		83	157	397	472		
	15～19歳	4,175	237	4,175	113	23	49		127	372	993	1,219		
	20～24歳	9,025	554	9,025	385	84	86	33	83	907	1,585	2,502		
	25～29歳	19,452	1,473	19,452	946	172	228	68	120	2,396	3,342	4,766		
	30～34歳	39,391	4,359	39,391	2,395	403	535	155	306	5,240	7,388	9,697	27	
	35～39歳	56,600	9,663	56,600	3,990	648	944	237	544	6,725	13,389	16,211	39	
	40～44歳	79,679	21,641	79,679	5,234	1,007	1,151	291	62	1,022	8,185	22,873	28,329	71
	45～49歳	107,768	41,654	107,768	6,951	1,575	1,449	466	218	1,893	9,909	36,302	44,648	145
	50～54歳	146,024	67,797	146,024	9,165	2,216	1,991	632	651	3,809	14,468	52,892	65,185	319
	55～59歳	214,355	107,574	214,355	13,168	3,090	3,122	905	1,725	8,530	24,126	78,203	99,762	691
	60～64歳	324,846	171,800	324,846	20,341	4,688	5,310	1,415	3,778	16,579	46,166	121,348	156,891	1,198
	65～69歳	558,063	319,106	558,063	40,672	9,528	10,975	2,898	8,414	35,870	113,446	237,468	297,854	2,562
	70～74歳	596,391	374,215	596,391	53,998	12,676	15,618	4,000	12,649	51,313	175,189	301,674	363,096	3,471
	75～79歳	616,593	414,578	616,593	67,753	16,500	21,275	5,569	16,688	66,723	245,753	348,819	414,612	3,860
	80～84歳	574,938	420,165	574,938	75,333	19,897	27,588	7,345	17,102	79,302	282,735	363,063	439,369	2,954
	85～89歳	440,969	329,947	440,969	58,733	16,540	24,841	6,789	7,983	65,943	227,952	277,363	357,671	804
	90～94歳	242,881	177,067	242,881	29,256	8,619	14,209	3,967	1,415	36,805	117,108	141,975	202,758	97
	95～99歳	76,347	51,646	76,347	8,151	2,392	4,490	1,190	109	11,991	31,588	40,445	64,223	
	100歳以上	12,488	7,406	12,488	1,162	294	698	150		1,751	4,025	5,640	10,169	

資料番号22

後天性血友病の患者数

男性	573
女性	271
総計	844

0歳	12
1歳	
2歳	
3歳	
4歳	
5歳	
6歳	
7歳	
10～14歳	11
15～19歳	
20～24歳	
25～29歳	
30～34歳	11
35～39歳	16
40～44歳	20
45～49歳	25
50～54歳	37
55～59歳	34
60～64歳	77
65～69歳	137
70～74歳	133
75～79歳	116
80～84歳	105
85～89歳	52
90～94歳	17
95～99歳	
総計	844

後天性凝固因子欠乏症	109
後天性低プロトロンビン血症	
後天性血友病A	98
後天性血友病B	
後天性第XIII因子欠乏症	623

201504	83
201505	54
201506	65
201507	80
201508	55
201509	65
201510	56
201511	87
201512	70
201601	59
201602	78
201603	92

北海道	30
青森県	
岩手県	26
宮城県	23
秋田県	
山形県	
福島県	13
茨城県	14
栃木県	12
群馬県	
埼玉県	40
千葉県	20
東京都	180
神奈川県	27
新潟県	22
富山県	
石川県	
福井県	
山梨県	
長野県	
岐阜県	
静岡県	13
愛知県	41
三重県	12
滋賀県	11
京都府	19
大阪府	38
兵庫県	29
奈良県	
和歌山県	
鳥取県	
島根県	
岡山県	
広島県	17
山口県	17
徳島県	19
香川県	
愛媛県	21
高知県	
福岡県	29
佐賀県	
長崎県	
熊本県	
大分県	12
宮崎県	11
鹿児島県	15
沖縄県	17
総計	844

資料24

悪性腫瘍の患者数(後天性血友病を除く薬害エイズ患者)

悪性腫瘍の併存(いわゆる薬害エイズ患者)(集計から後天性血友病は除いている)

	がん	薬害エイズ患者数	併存率
男性			
総計		504	1~2%

肝胆膵がん	脳腫瘍

40~44歳	
45~49歳	
50~54歳	
60~64歳	
65~69歳	

青森県	
東京都	
広島県	
福岡県	

201504	
201505	
201507	
201508	
201509	
201511	

がん病名集計_HIV感染症

serial	病名は疑い病名を含む	がん病名	がん傷病名ID0数
1	0	患者数	27,979
264	2028005	悪性リンパ腫	3,810
55	1539004	大腸癌	3,525
32	1519006	胃癌	2,910
80	1629006	肺癌	2,530
154	1859003	前立腺癌	1,772
61	1550004	肝癌	1,757
70	1579002	脾癌	1,406
1297	8847374	成人T細胞白血病リンパ腫	1,139
274	2030003	多発性骨髄腫	1,092
268	2028017	非ホジキンリンパ腫	1,080
62	1550005	肝細胞癌	881
160	1889005	膀胱癌	713
56	1541005	直腸癌	482
136	1809004	子宮頸癌	465
117	1739001	カポジ肉腫	434
25	1509003	食道癌	407
526	8838679	脳悪性リンパ腫	351
59	1543002	肛門癌	233
311	8830213	悪性腫瘍	219
39	1519022	早期胃癌	202
125	1749008	乳癌	196
138	1820002	子宮体癌	193
584	8841113	リンパ腫	192
40	1520002	十二指腸癌	190
223	1970006	転移性肺腫瘍	178
478	8837166	胆のう癌	176
209	1939005	甲状腺癌	176
79	1629003	原発性肺癌	173
1328	8847422	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	173
53	1536002	上行結腸癌	170
222	1970005	転移性肺癌	168
229	1977006	転移性肝腫瘍	157
240	1983019	転移性脳腫瘍	156
142	1830005	卵巣癌	155
161	1890009	腎癌	151

がん病名集計_血液凝固異常症

serial	病名は疑い病名を含む	がん病名	がん傷病名ID0数
1	0	患者数	14,645
55	1539004	大腸癌	3,505
32	1519006	胃癌	3,248
80	1629006	肺癌	2,448
154	1859003	前立腺癌	1,975
61	1550004	肝癌	1,915
70	1579002	膵癌	1,835
228	1977005	転移性肝癌	1,039
160	1889005	膀胱癌	1,013
222	1970005	転移性肺癌	1,013
229	1977006	転移性肝腫瘍	981
62	1550005	肝細胞癌	929
223	1970006	転移性肺腫瘍	821
240	1983019	転移性脳腫瘍	739
56	1541005	直腸癌	706
264	2028005	悪性リンパ腫	638
25	1509003	食道癌	510
247	1985023	転移性骨腫瘍	497
221	1969001	リンパ節転移	476
49	1533003	S状結腸癌	425
434	8835493	上葉肺癌	392
274	2030003	多発性骨髄腫	387
336	8831458	下葉肺癌	341
478	8837166	胆のう癌	325
31	1514002	胃体部癌	314
65	1561004	胆管癌	281
53	1536002	上行結腸癌	270
125	1749008	乳癌	265
142	1830005	卵巣癌	260
161	1890009	腎癌	254
268	2028017	非ホジキンリンパ腫	249
39	1519022	早期胃癌	249
79	1629003	原発性肺癌	239
227	1976001	癌性腹膜炎	228
136	1809004	子宮頸癌	227
1297	8847374	成人T細胞白血病リンパ腫	223

がん病名集計_血液凝固異常症かつHIV感染症上位35

serial	病名は疑い病名を含む	がん病名	がん傷病名ID0数
1	0	患者数	570
61	1550004	肝癌	325
62	1550005	肝細胞癌	251
32	1519006	胃癌	125
55	1539004	大腸癌	90
154	1859003	前立腺癌	62
264	2028005	悪性リンパ腫	58
70	1579002	膵癌	57
80	1629006	肺癌	44
160	1889005	膀胱癌	35
1297	8847374	成人T細胞白血病リンパ腫	18
274	2030003	多発性骨髄腫	16
478	8837166	胆のう癌	10
268	2028017	非ホジキンリンパ腫	10
161	1890009	腎癌	
222	1970005	転移性肺癌	
39	1519022	早期胃癌	
25	1509003	食道癌	
209	1939005	甲状腺癌	
65	1561004	胆管癌	
228	1977005	転移性肝癌	
40	1520002	十二指腸癌	
66	1561005	胆管細胞癌	
223	1970006	転移性肺腫瘍	
229	1977006	転移性肝腫瘍	
56	1541005	直腸癌	
247	1985023	転移性骨腫瘍	
79	1629003	原発性肺癌	
164	1891003	腎盂癌	
63	1550012	原発性肝癌	
221	1969001	リンパ節転移	
64	1551002	肝内胆管癌	
240	1983019	転移性脳腫瘍	
434	8835493	上葉肺癌	
166	1892003	尿管癌	
302	2733003	原発性マクログロブリン血症	

がん病名集計_糖尿病上位35

serial	病名は疑い病名を含む	がん病名	がん傷病名ID0数
1		患者数	9,962,459
55	1539004	大腸癌	2,511,639
32	1519006	胃癌	2,057,075
70	1579002	膵癌	1,864,899
154	1859003	前立腺癌	1,637,675
80	1629006	肺癌	1,610,578
61	1550004	肝癌	882,783
160	1889005	膀胱癌	607,167
62	1550005	肝細胞癌	320,048
222	1970005	転移性肺癌	309,972
228	1977005	転移性肝癌	284,501
223	1970006	転移性肺腫瘍	278,557
229	1977006	転移性肝腫瘍	276,702
125	1749008	乳癌	265,229
264	2028005	悪性リンパ腫	221,815
56	1541005	直腸癌	198,810
247	1985023	転移性骨腫瘍	191,447
478	8837166	胆のう癌	189,613
161	1890009	腎癌	187,305
25	1509003	食道癌	186,469
138	1820002	子宮体癌	175,585
274	2030003	多発性骨髄腫	170,371
240	1983019	転移性脳腫瘍	162,898
209	1939005	甲状腺癌	160,470
49	1533003	S状結腸癌	150,890
142	1830005	卵巣癌	137,010
136	1809004	子宮頸癌	134,297
39	1519022	早期胃癌	126,885
221	1969001	リンパ節転移	124,232
65	1561004	胆管癌	119,929
53	1536002	上行結腸癌	105,414
268	2028017	非ホジキンリンパ腫	90,564
31	1514002	胃体部癌	77,918
350	8831889	癌	77,701
434	8835493	上葉肺癌	77,337
54	1539002	結腸癌	73,278

エイズ動向委員会 NDB 資料解説

奈良県立医科大学
講師 野田 龍也

今回の提出資料は、「HIV 感染症を合併した血友病患者に対する全国的な医療提供体制に関する研究班」（HIV 血友病班；代表 野田）の分析結果である。

NDB は、国民皆保険制度を有する我が国における保険診療の全数調査であり、1億2千7百万人の医療受療状況のデータがほぼすべて格納されていることになっている（実際は生活保護の医療扶助など、1割弱の医療は格納されていない）。しかしながら、NDB は病院だけでなく、診療所のデータも取得可能であり、日本国民の9割以上の状況を網羅的に把握できることが強みである。

当研究班では、この NDB を用いて、HIV 感染者及び血液凝固異常症（血友病）患者の医療状況を調査・分析している。今回提出する資料の内容は以下のとおりである：

- ・ HIV 感染者（抗 HIV 薬被処方者）の現在の継続通院者数（全国総数、性年齢階級別、都道府県別；表 1, 表 2）
- ・ 新規の HIV 感染者（抗 HIV 薬被処方者）数（表 3）
- ・ 継続通院及び新規の HIV 感染者（抗 HIV 薬被処方者）（都道府県別・ブロック別；表 4）
- ・ HIV 感染者の現在までの累積患者数（表 5-1、表 5-2）
- ・ HIV 感染者の死亡数（表 6-1）
- ・ HIV 感染者の年齢調整死亡率（糖尿病患者集団との比較；表 6-2）
- ・ NDB 集計に用いた抗 HIV 薬のリスト（マスタ）

NDB の詳細については、別添のスライド資料もご参照ください。

このように、NDB は新しい手法での全国集計が可能であるが、未把握の項目もあり、従来の委員会報告を置き換えるものではない。NDB と感染症法届出（従来の集計）が並立することで、報告値の正確さが増し、より確実に国際的な責任が果たせるのではないかと考えている。特に、国際的な HIV 医療指標である 90-90-90 の一部を半自動的に測定できることが NDB の強みである。また、HIV 感染者の死亡も比較的高い精度で追跡可能であることが強みである。

(白阪委員長からの事前質問とその回答)

● 表 5-1 HIV 感染者+エイズ患者 (累積)

抗 HIV 薬処方の累積患者数 25570 人・・・①

このうち、現在受診中の患者 20646 人・・・②

①-②=4924 人は、おおむね、この期間の非治療者を示すと考えてよいか？

この 4924 人は、2017 年 1 月～2018 年 3 月に「抗 HIV 薬の処方を受けなかった」か「処方を受けたが、この期間に臨床治験対象者か生活保護受給者であり、観察外となった」というどちらかである。後者は、「もともとは医療保険だったが生保等へ変わった患者さん」のため、数値に影響を及ぼすほど多数でないとする。(くわしい定義は以下)

====

①2013 年 4 月 1 日～2016 年 12 月 30 日にレセプトが発生し抗 HIV 薬が処方された患者

②上記①のうち「2017 年 1 月 1 日～2018 年 3 月 31 日」にも抗 HIV 薬処方が確認された患者

※観察期間に医療保険を使用しなかった患者(全期間で生活保護受給中等)は対象外となっている。

※患者であるにも関わらず、「医療保険」で「2013 年 4 月～2016 年 12 月に抗 HIV 薬の処方を受けなかった人」は拾えていない。

====

● この 4924 人の内訳、つまり既治療者(つまり中断者)か、未治療者か、NDB から脱落者(帰国、死亡、NDB 対象外施設に収監)かは分かるか？

→限界はあるものの、一定程度は分かる。

・未治療者・・・HIV 感染/AIDS の診断を受けたが、治療を行っていない人

→NDB ではダイレクトには把握できない。ただ、感染症法の届出(入口)と NDB 処方数(出口)を組み合わせることで一定程度、推定可能と思われる。

・既治療者(中断者)

→HIV-RNA 定量検査を定期的に受けている経過観察患者は確実に追跡・把握できる。定量検査を受けず(HIV の診療を中断し)、まったく別の疾病で受診をした患者さんも追跡・把握できる。

一方、HIV の治療を中断した後、何らの医療機関受診もおこなっていない方は、NDB では把握できない(おそらく他の調査でも把握が困難)。

・ NDB からの脱落者

→死亡者は、奈良県立医科大学が開発した「NDB 死亡者特定ロジック」では、全死亡の 9 割ほど把握できます。残り 1 割は、交通事故死や自殺など、医療管理下（レセプト発生条件）以外でお亡くなりになった場合で、NDB では死亡特定できない。

また、帰国や刑事施設等への収容は残念ながら NDB では把握できない。

つまり、医療保険を使用する環境にある患者さんの治療中断や死亡はある程度把握できると考えられるが、「日本の医療保険を使用しない環境」の方や「医療保険環境にいるが何年も未受診が継続している」方、「医療管理下以外でお亡くなりになった」方は、NDB では脱落理由を把握することができない。

- もし、HIV ウイルス量という検査項目も追加できると、HIV 陽性と診断され医療機関につながっている全患者数が把握できる。その時は、ウイルス量測定は一回程度なら HIV 感染症かどうかの診断でも用いる（結果は感度未満）ので、複数回（3 回以上？）測定者を拾うことが必要であろう。もし、検査値も拾えるようであれば、90-90-90 の最後の 90（治療中でウイルス量が 200 未満）も示せるのではないか。

残念ながら、検査結果の値は NDB では拾うことができない。

ただし、「HIV のウイルス量検査を複数回または定期的に行っていること」は把握・追跡できる。つまり、きちんと標準的なモニタリングを受けている患者さんの数は NDB で把握できる。

(表1)抗HIV薬処方患者数(NDB集計・継続通院患者数)(年齢階級別)

		NDBを用いた抗HIV薬処方患者数(継続通院患者数)の集計(年齢階級別)								
		追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数
		男			女			合計		
合計		19,156	51,481,319	37.2	1,490	59,130,630	2.5	20,646	110,611,949	18.7
年 齢	0歳	<10	3150程度	<10	<10	3200程度	<10	<10	6350程度	<10
	1歳	<10	320150程度	<10	<10	295300程度	<10	<10	615450程度	<10
	2歳	<10	519100程度	<10	<10	492800程度	<10	<10	1011900程度	<10
	3歳	<10	526600程度	<10	<10	496550程度	<10	<10	1023100程度	<10
	4歳	<10	532800程度	<10	<10	504700程度	<10	<10	1037550程度	<10
	5歳	<10	537200程度	<10	<10	509100程度	<10	<10	1046300程度	<10
	6歳	<10	546800程度	<10	<10	519200程度	<10	<10	1066000程度	<10
	7歳	<10	549550程度	<10	<10	517500程度	<10	<10	1067050程度	<10
	8歳	<10	545350程度	<10	<10	514800程度	<10	<10	1060150程度	<10
	9歳	<10	548200程度	<10	<10	519400程度	<10	<10	1067600程度	<10
	10-14歳	<10	2712600程度	<10	<10	2543050程度	<10	<10	5255700程度	<10
	15-19歳	<10	2642700程度	<10	<10	2590500程度	<10	<10	5233200程度	<10
	20-24歳	138	2,327,401	5.9	14	2,639,711	0.5	152	4,967,112	3.1
	25-29歳	873	2,376,824	36.7	26	2,777,613	0.9	899	5,154,437	17.4
	30-34歳	1,727	2,731,075	63.2	94	3,196,086	2.9	1,821	5,927,161	30.7
	35-39歳	2,588	3,044,361	84.9	178	3,512,731	5.1	2,766	6,557,092	42.2
	40-44歳	3,568	3,590,202	99.3	284	4,043,967	7.0	3,852	7,634,169	50.4
	45-49歳	3,537	3,647,232	96.9	276	4,087,883	6.8	3,813	7,735,115	49.3
	50-54歳	2,407	3,210,901	74.9	227	3,572,702	6.4	2,634	6,783,603	38.8
	55-59歳	1,471	3,075,219	47.8	127	3,363,783	3.8	1,598	6,439,002	24.8
60-64歳	1,035	3,139,522	33.0	93	3,432,171	2.7	1,128	6,571,693	17.2	
65-69歳	978	4,018,636	24.3	65	4,460,915	1.5	1,043	8,479,551	12.3	
70-74歳	475	3,396,070	14.0	56	3,919,924	1.4	531	7,315,994	7.3	
75-79歳	229	2,856,117	8.0	31	3,505,309	0.9	260	6,361,426	4.1	
80-84歳	89	2,171,656	4.1	12	3,028,753	0.4	101	5,200,409	1.9	
85-89歳	30程度	1,284,961	5程度	<10	2275150程度	<10	33	3,560,109	0.9	
90-94歳	<10	509030程度	<10	<10	1276080程度	<10	<10	1785110程度	<10	
95-99歳	<10	103760程度	<10	<10	443195程度	<10	<10	546960程度	<10	
100歳以上	<10	14040程度	<10	<10	88460程度	<10	<10	102500程度	<10	

*「2013年4月1日～2016年12月30日」と「2016年12月30日～2018年3月31日」の両方にレセプトが発生した患者のうち抗HIV薬が処方された患者

(表2) 抗HIV薬処方患者数(NDB集計・継続通院患者数)(都道府県別)

		NDBを用いた抗HIV薬処方患者数(継続通院患者数)の集計(都道府県別)								
		追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数
		男			女			合計		
		合計								
合計	19,156	51,481,319	37.2	1,490	59,130,630	2.5	20,646	110,611,949	18.7	
都 道 府 県	北海道	352	2,050,478	17.2	17	2,490,555	0.7	369	4,541,033	8.1
	青森県	65程度	503,579	13程度	<10	622210程度	<10	67	1,125,792	6.0
	岩手県	30程度	501,989	5程度	<10	592850程度	<10	37	1,094,844	3.4
	宮城県	175	965,420	18.1	18	1,095,786	1.6	193	2,061,206	9.4
	秋田県	40程度	403,311	19程度	<10	490450程度	<10	43	893,751	4.8
	山形県	30程度	464,049	5程度	<10	541550程度	<10	33	1,005,584	3.3
	福島県	55程度	799,184	5程度	<10	889930程度	<10	64	1,689,111	3.8
	茨城県	247	1,178,688	21.0	51	1,298,876	3.9	298	2,477,564	12.0
	栃木県	221	829,204	26.6	42	917,705	4.6	263	1,746,909	15.1
	群馬県	168	826,693	20.3	28	929,357	3.0	196	1,756,050	11.2
	埼玉県	383	2,777,161	13.8	40	3,115,700	1.3	423	5,892,861	7.2
	千葉県	489	2,424,572	20.2	106	2,734,729	3.9	595	5,159,301	11.5
	東京都	7,790	5,922,181	131.4	481	6,556,595	7.3	8,271	12,478,776	66.2
	神奈川県	1,038	3,614,405	28.7	130	4,077,262	3.2	1,168	7,691,667	15.2
	新潟県	84	937,063	9.0	16	1,082,334	1.5	100	2,019,397	5.0
	富山県	50程度	439,589	10程度	<10	506590程度	<10	55	946,177	5.8
	石川県	107	470,559	22.7	11	543,679	2.0	118	1,014,238	11.6
	福井県	40程度	325,354	10程度	<10	371340程度	<10	43	696,695	6.2
	山梨県	42	336,392	12.5	15	382,791	3.9	57	719,183	7.9
	長野県	165	866,576	19.0	66	988,869	6.7	231	1,855,445	12.4
	岐阜県	110程度	839,106	15程度	<10	961400程度	<10	119	1,800,513	6.6
	静岡県	287	1,531,724	18.7	43	1,707,492	2.5	330	3,239,216	10.2
	愛知県	1,140	3,149,958	36.2	97	3,414,070	2.8	1,237	6,564,028	18.8
	三重県	107	754,382	14.2	25	849,648	2.9	132	1,604,030	8.2
	滋賀県	100程度	574,261	15程度	<10	642200程度	<10	109	1,216,467	9.0
	京都府	292	997,414	29.3	13	1,182,962	1.1	305	2,180,376	14.0
	大阪府	2,540	3,491,518	72.7	86	4,111,801	2.1	2,626	7,603,319	34.5
	兵庫県	508	2,172,674	23.4	24	2,603,122	0.9	532	4,775,796	11.1
	奈良県	123	530,686	23.2	14	643,181	2.2	137	1,173,867	11.7
	和歌山県	70程度	397,843	15程度	<10	475490程度	<10	73	873,335	8.4
	鳥取県	25程度	240,548	10程度	<10	284100程度	<10	26	524,645	5.0
	島根県	15程度	283,999	5程度	<10	330650程度	<10	17	614,649	2.8
	岡山県	171	780,931	21.9	11	903,172	1.2	182	1,684,103	10.8
	広島県	250程度	1,162,960	20程度	<10	1340150程度	<10	255	2,503,110	10.2
	山口県	50程度	564,811	10程度	<10	668100程度	<10	54	1,232,944	4.4
	徳島県	40程度	307,793	10程度	<10	362650程度	<10	43	670,432	6.4
	香川県	80程度	409,933	20程度	<10	471450程度	<10	84	881,412	9.5
	愛媛県	100程度	559,864	20程度	<10	667900程度	<10	106	1,227,782	8.6
	高知県	55程度	283,353	20程度	<10	346250程度	<10	61	629,597	9.7
	福岡県	702	2,019,733	34.7	36	2,423,261	1.5	738	4,442,994	16.6
	佐賀県	25程度	340,179	5程度	<10	405250程度	<10	24	745,455	3.2
	長崎県	75程度	555,077	15程度	<10	673250程度	<10	85	1,228,352	6.9
	熊本県	150程度	727,329	20程度	<10	870400程度	<10	163	1,597,727	10.2
	大分県	60程度	479,439	10程度	<10	565700程度	<10	61	1,045,140	5.8
	宮崎県	80程度	460,263	20程度	<10	551450程度	<10	86	1,011,739	8.5
	鹿児島県	120程度	665,827	15程度	<10	799950程度	<10	123	1,465,758	8.4
	沖縄県	297	563,267	52.7	17	646,312	2.6	314	1,209,579	26.0

*「2013年4月1日～2016年12月30日」と「2016年12月30日～2018年3月31日」の両方にレセプトが発生した患者のうち抗HIV薬が処方された患者

(表3)HIV感染者+エイズ患者(新規)(年齢階級別)

NDB	NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数(新規) 〔平成29年1月1日～平成29年3月31日〕 H I V感染者及びエイズ患者の性別、年齢別集計
感染症法	感染症法に基づくH I V感染者・エイズ患者情報 〔平成28年12月26日～平成29年3月26日〕 H I V感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別、年齢別、感染地域別報告数

	診断区分	男		女		計		
		NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	
	合計	564	313	36	12	600	325	
H I V感染者+エイズ患者	感染経路	異性間の性的接触		45		8		53
		同性間の性的接触		237		0		237
		静注薬物使用	不明	1	不明	0	不明	1
		母子感染		0		0		0
		その他*2		3		1		4
		不明		27		3		30
年齢	10歳未満	<10	0	<10	0	<10	0	
	10～19歳	<10	0	<10	0	<10	0	
	20～29歳	95程度	88	<10	1	100	89	
	30～39歳	190程度	91	<10	7	198	98	
	40～49歳	162	86	11	0	173	86	
	50～59歳	87	33	10	3	97	36	
	60～69歳	20程度	10	<10	1	23	11	
	70歳以上	<10	5	<10	0	<10	5	
	不明		0		0		0	
感染地域	国内		258		7		265	
	海外	不明	17	不明	1	不明	18	
	不明		38		4		42	

NDB集計:2017年1月～3月の新規(抗HIV薬処方開始)患者

*2013年4月1日から2016年12月31日までに抗HIV薬を処方されていないかつ
2017年1月1日から2017年3月31日までに新たに抗HIV薬を処方された患者

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が
複数ある例を含む。

(表4) HIV感染者+エイズ患者 新規・累計(都道府県別・ブロック別)

NDB	HIV感染者・エイズ患者集計 新規・累積(都道府県別集計) (平成29年1月1日～平成29年3月31日) HIV感染者+エイズ患者
	感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報HIV感染者及びエイズ患者の都道府県別累積報告状況 (平成28年12月26日～平成29年3月26日) HIV感染者+エイズ患者

ブロック名	都道府県名	今回新規(2017年1月～3月)				前回新規(2016年10月～12月)				累計(感染症法は1985年～、NDBは2013年4月～2017年3月)								
		報告地		〔居住地〕		報告地		〔居住地〕		報告地		〔居住地〕		報告地		〔居住地〕		
		NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	(NDB継)	NDB	感染症法	NDB	感染症法		
北海道	1 北海道	19	11	不明	[11]	12	10	不明	[9]	493	477	388	不明	[274]	1.9%	1.7%	不明	[2.0%]
東北	2 青森県	<10	1		[1]	<10	2		[1]	87	84	69		[34]	0.3%	0.3%		[0.3%]
	3 岩手県	<10	1		[1]	<10	0		[0]	49	63	40		[28]	0.2%	0.2%		[0.2%]
	4 宮城県	<10	5		[5]	<10	5		[4]	258	228	198		[119]	1.0%	0.8%		[0.9%]
	5 秋田県	<10	0		[0]	<10	0		[0]	44	47	43		[19]	0.2%	0.2%		[0.1%]
	6 山形県	<10	0		[0]	<10	1		[0]	40	51	34		[19]	0.2%	0.2%		[0.1%]
	7 福島県	<10	1		[1]	<10	5		[4]	81	126	69		[64]	0.3%	0.5%		[0.5%]
	ブロック計	16	8		[8]	<10	13		[9]	559	599	453		[283]	2.1%	2.2%		[2.1%]
関東甲信越	8 茨城県	<10	3		[4]	<10	2		[2]	384	866	306		[228]	1.5%	3.1%		[1.7%]
	9 栃木県	<10	1		[1]	<10	0		[0]	330	446	271		[135]	1.3%	1.6%		[1.0%]
	10 群馬県	<10	3		[2]	<10	4		[3]	261	341	204		[126]	1.0%	1.2%		[0.9%]
	11 埼玉県	<10	7		[9]	10	4		[5]	539	890	432		[633]	2.1%	3.2%		[4.7%]
	12 千葉県	21	11		[15]	22	17		[16]	788	1,351	616		[627]	3.0%	4.9%		[4.6%]
	13 東京都	217	112		[87]	256	99		[79]	10,381	9,248	8,487		[3,723]	39.7%	33.4%		[27.5%]
	14 神奈川県	38	21		[16]	39	25		[23]	1,499	1,904	1,206		[909]	5.7%	6.2%		[6.7%]
	15 新潟県	<10	3		[2]	<10	0		[0]	118	155	101		[58]	0.5%	0.6%		[0.4%]
	16 山梨県	<10	2		[2]	<10	0		[1]	74	166	60		[51]	0.3%	0.6%		[0.4%]
	17 長野県	<10	4		[3]	<10	1		[2]	279	509	236		[120]	1.1%	1.8%		[0.9%]
ブロック計	318	167		[141]	348	152		[131]	14,653	15,876	11,919		[6,610]	56.0%	57.4%		[48.9%]	
北陸	18 富山県	<10	2		[3]	<10	2		[2]	65	73	56		[35]	0.2%	0.3%		[0.3%]
	19 石川県	<10	3		[2]	<10	0		[0]	143	121	119		[72]	0.5%	0.4%		[0.5%]
	20 福井県	<10	0		[0]	<10	0		[0]	53	82	43		[44]	0.2%	0.3%		[0.3%]
ブロック計	<10	5		[5]	<10	2		[2]	261	276	218		[151]	1.0%	1.0%		[1.1%]	
東海	21 岐阜県	<10	1		[0]	<10	6		[5]	149	286	123		[203]	0.6%	1.0%		[1.5%]
	22 静岡県	<10	4		[4]	<10	3		[3]	427	635	338		[250]	1.6%	2.3%		[1.8%]
	23 愛知県	34	16		[16]	40	25		[25]	1,570	1,708	1,271		[1,058]	6.0%	6.2%		[7.8%]
	24 三重県	<10	2		[3]	<10	3		[2]	160	248	133		[128]	0.6%	0.9%		[0.9%]
ブロック計	47	23		[23]	57	37		[35]	2,306	2,877	1,865		[1,639]	8.8%	10.4%		[12.1%]	
近畿	25 滋賀県	<10	3		[2]	<10	5		[2]	142	147	113		[86]	0.5%	0.5%		[0.6%]
	26 京都府	10	4		[5]	<10	3		[2]	392	369	315		[206]	1.5%	1.3%		[1.5%]
	27 大阪府	85	48		[38]	93	63		[60]	3,438	3,250	2,710		[1,865]	13.1%	11.7%		[13.8%]
	28 兵庫県	18	5		[8]	12	12		[12]	678	640	550		[456]	2.6%	2.3%		[3.4%]
	29 奈良県	<10	1		[1]	<10	0		[0]	165	182	139		[108]	0.6%	0.7%		[0.8%]
	30 和歌山県	<10	0		[0]	<10	0		[0]	84	116	73		[62]	0.3%	0.4%		[0.5%]
ブロック計	119	61		[54]	121	83		[76]	4,899	4,704	3,900		[2,783]	18.7%	17.0%		[20.6%]	
中国四国	31 鳥取県	<10	1		[1]	<10	0		[0]	38	33	28		[22]	0.1%	0.1%		[0.2%]
	32 島根県	<10	1		[0]	<10	1		[1]	24	28	19		[13]	0.1%	0.1%		[0.1%]
	33 岡山県	<10	5		[5]	<10	3		[3]	212	222	186		[139]	0.8%	0.8%		[1.0%]
	34 広島県	<10	2		[2]	<10	4		[3]	297	339	259		[215]	1.1%	1.2%		[1.6%]
	35 山口県	<10	1		[1]	<10	1		[1]	73	87	55		[57]	0.3%	0.3%		[0.4%]
	36 徳島県	<10	2		[1]	<10	3		[3]	53	65	46		[48]	0.2%	0.2%		[0.4%]
	37 香川県	<10	1		[1]	<10	0		[0]	103	108	86		[77]	0.4%	0.4%		[0.6%]
	38 愛媛県	<10	0		[0]	<10	4		[3]	130	137	108		[68]	0.5%	0.5%		[0.5%]
	39 高知県	<10	1		[1]	<10	2		[3]	69	69	63		[48]	0.3%	0.2%		[0.4%]
ブロック計	22	14		[12]	26	18		[17]	999	1,088	850		[687]	3.8%	3.9%		[5.1%]	
九州沖縄	40 福岡県	34	19		[21]	35	23		[18]	911	805	772		[566]	3.5%	2.9%		[4.2%]
	41 佐賀県	<10	0		[0]	<10	5		[5]	33	53	26		[53]	0.1%	0.2%		[0.4%]
	42 長崎県	<10	0		[0]	<10	1		[1]	105	83	86		[45]	0.4%	0.3%		[0.3%]
	43 熊本県	<10	0		[0]	11	9		[9]	200	153	166		[96]	0.8%	0.6%		[0.7%]
	44 大分県	<10	3		[0]	<10	1		[1]	76	86	63		[57]	0.3%	0.3%		[0.4%]
	45 宮崎県	<10	2		[2]	<10	1		[1]	104	95	89		[72]	0.4%	0.3%		[0.5%]
	46 鹿児島県	<10	4		[5]	<10	4		[4]	155	154	125		[96]	0.6%	0.6%		[0.7%]
47 沖縄県	10	8		[5]	<10	4		[3]	416	343	324		[205]	1.6%	1.2%		[1.5%]	
ブロック計	57	36		[33]	74	48		[42]	2,000	1,772	1,651		[1,190]	7.6%	6.4%		[8.8%]	
合計	600	325		[287]	654	363		[321]	26,170	27,669	21,244		[13,521]	100%	100%		[100.0%]	

「今回」のNDB集計:2017年1月～3月の新規患者(抗HIV薬処方開始)
*2013年4月1日から2016年12月31日までに抗HIV薬を処方されていない
かつ2017年1月1日から2017年3月31日までに
新たに抗HIV薬を処方された患者

「前回」のNDB集計:2016年10月～12月の新規患者(抗HIV薬処方開始)
*2013年4月1日から2016年9月30日までに抗HIV薬を処方されていない
かつ2016年10月1日から2016年12月31日までに
新たに抗HIV薬を処方された患者

「累計」のNDB集計:2013年4月～2017年3月の通院患者(抗HIV薬処方)
*2013年4月1日から2017年3月31日までに1回以上抗HIV薬を処方された患者数
「NDB継」:上記のうち、2017年1月～3月に抗HIV薬処方がある患者(継続受診中患者)

※〔報告地〕:昭和60年から集計
※〔居住地〕:最近数年間の主な居住地(平成19年4月から記載)

後天性免疫不全症候群発生届出(抜粋)

- ①最近数年間の主な居住地
1)日本国内(都道府県)
2)その他()
3)不明

(表5-1) HIV感染者+エイズ患者 (累積)

診断区分		NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数情報 平成28年12月30日現在のHIV感染者 及びエイズ患者の性別患者数							感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報 平成28年12月25日現在のHIV感染者 及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計											
		日本国籍			外国国籍			合計		日本国籍			外国国籍			合計				
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
HIV感染者	合計	不明							14,840	939	15,779	1,629	1,443	3,072	16,469	2,382	18,851			
	異性間の性的接触								2,903	768	3,671	440	847	1,287	3,343	1,615	4,958			
	同性間の性的接触*1								10,391	4	10,395	667	1	668	11,058	5	11,063			
	静注薬物使用								41	2	43	27	3	30	68	5	73			
	母子感染								18	9	27	5	8	13	23	17	40			
	その他*2								292	39	331	61	27	88	353	66	419			
	不明								1,195	117	1,312	429	557	986	1,624	674	2,298			
エイズ患者	合計*3	不明							6,815	377	7,192	903	398	1,301	7,718	775	8,493			
	異性間の性的接触								2,158	251	2,409	302	219	521	2,460	470	2,930			
	同性間の性的接触*1								3,269	3	3,272	172	2	174	3,441	5	3,446			
	静注薬物使用								28	4	32	26	3	29	54	7	61			
	母子感染								9	3	12	1	5	6	10	8	18			
	その他*2								170	23	193	27	15	42	197	38	235			
不明								1,181	93	1,274	375	154	529	1,556	247	1,803				
HIV感染者+エイズ患者 合計		不明							23,693	1,877	25,570	21,655	1,316	22,971	2,532	1,841	4,373	24,187	3,157	27,344
凝固因子製剤による感染者*4		不明							1,421	18	1,439	—	—	—	1,421	18	1,439			

NDBの太枠は、2013年4月1日～2016年12月30日におけるHIV感染者+エイズ患者の累計
* 2013年4月1日～2016年12月30日にレセプトが発生し抗HIV薬が処方された患者

- * 1 両性間性的接触を含む。
- * 2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。
- * 3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。
- * 4 「血液凝固異常症全国調査」による
2015年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数	
感染症法施行後の任意報告数 (平成11年4月1日～平成28年12月31日)	373名
エイズ予防法*5に基づく法定報告数 (平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数*	706名

- * 5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。
- * 6 「血液凝固異常症全国調査」による2015年5月31日現在の報告数

(表5-2) HIV感染者+エイズ患者 (累積)(現在受診中患者)

診断区分	感染経路	NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数情報 平成28年12月30日現在のHIV感染者 及びエイズ患者の性別患者数									感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報 平成28年12月25日現在のHIV感染者 及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計											
		日本国籍			外国国籍			合計			日本国籍			外国国籍			合計					
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
HIV感染者	合計	不明									14,840	939	15,779	1,629	1,443	3,072	16,469	2,382	18,851			
	異性間の性的接触										2,903	768	3,671	440	847	1,287	3,343	1,615	4,958			
	同性間の性的接触*1										10,391	4	10,395	667	1	668	11,058	5	11,063			
	静注薬物使用										41	2	43	27	3	30	68	5	73			
	母子感染										18	9	27	5	8	13	23	17	40			
	その他*2										292	39	331	61	27	88	353	66	419			
	不明										1,195	117	1,312	429	557	986	1,624	674	2,298			
エイズ患者	合計*3	不明									6,815	377	7,192	903	398	1,301	7,718	775	8,493			
	異性間の性的接触										2,158	251	2,409	302	219	521	2,460	470	2,930			
	同性間の性的接触*1										3,269	3	3,272	172	2	174	3,441	5	3,446			
	静注薬物使用										28	4	32	26	3	29	54	7	61			
	母子感染										9	3	12	1	5	6	10	8	18			
	その他*2										170	23	193	27	15	42	197	38	235			
不明										1,181	93	1,274	375	154	529	1,556	247	1,803				
HIV感染者+エイズ患者 合計		不明									19,156	1,490	20,646	21,655	1,316	22,971	2,532	1,841	4,373	24,187	3,157	27,344
凝固因子製剤による感染者*4		不明									1,421	18	1,439	—	—	—	1,421	18	1,439			

表2-1(処方患者累計)のうち、
2017年1月～2018年3月にも 抗
HIV薬処方(受診)のある患者

NDBの太枠は、2013年4月1日～2016年12月30日におけるHIV感染者+エイズ患者(継続通院患者数)

*「2013年4月1日～2016年12月30日」と「2017年1月1日～2018年3月31日」の両方に
レセプトが発生した患者のうち抗HIV薬が処方された患者

- *1 両性間性的接触を含む。
- *2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。
- *3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。
- *4 「血液凝固異常症全国調査」による
2015年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数	
感染症法施行後の任意報告数 (平成11年4月1日～平成28年12月31日)	373名
エイズ予防法*5に基づく法定報告数 (平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数*	706名

- *5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。
- *6 「血液凝固異常症全国調査」による2015年5月31日現在の報告数

表6-1・HIV感染者の死亡

	抗HIV薬処方者 (通算)	2013年度に死亡	2014年度に死亡	2015年度に死亡	2016年度に死亡	2017年度に死亡	転帰死亡情報なし
抗HIV薬処方患者の死亡数	28549†	77	89	102	86	104	28,091
(参考:人口動態統計による死因:HIV)		45	45	56	66	38	

HIV感染者のn年生存率	2013年度 抗HIV薬処方者	2013年度に死亡	2014年度に死亡	2015年度に死亡	2016年度に死亡	2017年度に死亡	転帰死亡情報なし
2013年度抗HIV薬処方者の各年度死亡数	17273‡	77	70	65	52	77	16,932
2013年度抗HIV薬処方者の累積死亡数		77	147	212	264	341	
累積死亡率		0.45%	0.85%	1.23%	1.53%	1.97%	
n年生存率		99.55%	99.15%	98.77%	98.47%	98.03%	

†2013～2017年度に抗HIV薬を処方されたHIV感染者数(実人数)

‡2013年度に抗HIV薬を処方されたHIV感染者

※本集計の死亡数は、レセプトの転帰欄に「死亡」が記載された患者(IDO)数(HIV以外での死亡を含む全死亡)

※医療管理下でない死亡(交通事故による現場死亡や自殺等)や生活保護へ転換後の死亡は捕捉されないため、実際の死亡よりは若干の過小評価となる。

表6-2・HIV感染者の年齢調整死亡率・糖尿病患者集団との比較

日本の糖尿病患者(HIV感染者を除く)を基準集団としたときの抗HIV薬処方患者(糖尿病合併者を除く)のSMR
(対象者の年齢構成を調整した死亡率。糖尿病患者の死亡率:100)

男性	58
女性	43
(男女)	57

※2013～2017年度に「抗HIV薬を処方された患者」と「糖尿病治療中の患者」における死亡が対象

※期間内にレセプトの転帰欄に「死亡」が記載された人数(原疾患以外での死亡を含む)

※医療管理下でない死亡(交通事故による現場死亡や自殺等)や生活保護へ転換後の死亡は捕捉されないため、実際の死亡よりは若干の過小評価となる。

※糖尿病患者、HIV感染者のあるなしの4群に分けて死亡数と非死亡数を集計し、それをもとにSMRを算出した。

※女性、(男女)については対象者が少ないため参考値

抗HIV薬マスタ

(別表)抗HIV薬一覧(マスタ)

医薬品コード	HIV薬名称	略名	一般名	作用機序	1錠あたりの容量	配合剤
620005140	レトロビルカプセル100mg	AZT(ZDV)	ジドブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	100	0
610443081	ヴァイデックスECカプセル125 125mg	ddL	ジダノシン	核酸系逆転写酵素阻害剤	125	0
610443082	ヴァイデックスECカプセル200 200mg	ddL	ジダノシン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620000425	エピビル錠150 150mg	3TC_150mg	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	150	0
620000426	エピビル錠300 300mg	3TC_300mg	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
610412192	ゼリットカプセル15 15mg	d4T	ザニルブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	15	0
610412193	ゼリットカプセル20 20mg	d4T	ザニルブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	20	0
621144201	コンビル配合錠	COM	ジドブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
621144201	コンビル配合錠	COM	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	150	1
620004998	ザリアジェン錠300mg	ABC	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
620001903	ビリアド錠300mg	TDF	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
621657001	エブジコム配合錠	EZC	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	600	1
621657001	エブジコム配合錠	EZC	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620002488	エムトリバカプセル200mg	FTC	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
621662301	ツルバダ配合錠	TVD	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
621662301	ツルバダ配合錠	TVD	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
610421341	ビラミューン錠200 200mg	NVP	ネビラピン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620006943	ストックリン錠600mg	EFV	エファビレンツ	非核酸系逆転写酵素阻害剤	600	0
621932401	ストックリン錠200mg	EFV	エファビレンツ	非核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620009086	インテレンス錠100mg	ETR	エトラビルン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	100	0
622149101	エジュラント錠25mg	RPV	リルピビルン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	25	0
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	リルピビルン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	25	1
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620004975	クリキシバンカプセル200mg	IDV	硫酸インジナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620003516	インビラーゼカプセル200mg	SQV	メシル酸サキナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620004347	インビラーゼ錠500mg	SQV	メシル酸サキナビル	プロテアーゼ阻害薬	500	0
621143701	ビラセプト錠250mg	NFV	メシル酸ネルフィナビル	プロテアーゼ阻害薬	250	0
621143601	ノービア内用液8% 80mg	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	80	0
622054801	ノービア錠100mg	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	100	0
621384201	カレトラ配合内用液	LPV/r	ロピナビル	プロテアーゼ阻害薬	80mg/mL	1

抗HIV薬マスタ

医薬品コード	HIV薬名称	略名	一般名	作用機序	1錠あたりの容量	配合剤
621384201	カレトラ配合内用液	LPV/r	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	20mg/mL	1
621765701	カレトラ配合錠	LPV/r	ロピナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	1
621765701	カレトラ配合錠	LPV/r	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	5	1
620000454	レイアタツツカプセル150mg	ATV	硫酸アタザナビル	プロテアーゼ阻害薬	150	0
620000455	レイアタツツカプセル200mg	ATV	硫酸アタザナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620002465	レクシヴァ錠700 700mg	FPV	ホスアンプレナビルカルシウム水和物	プロテアーゼ阻害薬	700	0
620005884	ブリジスタ錠300mg	DRV	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	300	0
622276701	ブリジスタナイーブ錠800mg	DRVN	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	800	0
622403501	ブリジスタ錠600mg	DRV	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	600	0
620007815	アイセントレス錠400mg	RAL	ラルテグラビルカリウム	インテグラーゼ阻害薬	400	0
622235801	スタリビルド配合錠	STB	エルテグラビル	インテグラーゼ阻害薬	150	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	コピシスタット	CYP3A阻害薬	150	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
622336201	デビケイ錠50mg	DTG	ドルテグラビルナトリウム	インテグラーゼ阻害薬	50	0
622408801	トリーメク配合錠	TRI	ドルテグラビルナトリウム	インテグラーゼ阻害薬	50	1
622408801	トリーメク配合錠	TRI	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	600	1
622408801	トリーメク配合錠	TRI	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620009087	シーエルセントリ錠150mg	MVC	マラビロク	CCR5阻害薬	150	0
621930301	ブリジスタナイーブ錠400mg	DRVN	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	400	0
622522601	デシコビ配合錠LT	DVY-LT	テノホビルアラフェナミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	10	1
622522601	デシコビ配合錠LT	DVY-LT	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622522501	デシコビ配合錠HT	DVY-HT	テノホビルアラフェナミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	25	1
622522501	デシコビ配合錠HT	DVY-HT	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622532301	プレジコビックス配合錠	PCX	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	800	1
622532301	プレジコビックス配合錠	PCX	コピシスタット	CYP3A阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	エルテグラビル	インテグラーゼ阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	コピシスタット	CYP3A阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	フマル酸テノホビルアラフェラミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	10	1
610409330	ハイビッド錠0.375	ddC	ザルシタピン	2008年3月販売中止	0.375	0

HIV 感染症に関する NDB 集計 (2020 年 3 月度)

奈良県立医科大学 公衆衛生学講座

准教授 野田 龍也

助教 西岡 祐一

- この集計について

HIV 感染症の患者数等については、拠点病院調査や感染症法の届出などに基づく集計があり、長年活用されている。今回の提出資料は、レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）と呼ばれる全国データベースを用いて、従来調査とは別の角度から同様の集計を行ったものである。

NDB は、国民皆保険制度を有する我が国における保険診療の全数調査であり、1 億 2 千 7 百万人の医療受療状況のデータが悉皆的に格納されている（実際は生活保護の医療扶助など、1 割弱の医療は格納されていない）。しかしながら、NDB は病院だけでなく、診療所のデータも取得可能であり、また、名寄せにより、同一患者が複数医療機関を受診した事例もほぼ正確に把握できるため、既存のさまざまな患者調査にはない全国悉皆性と医療機関をまたいだ患者追跡性を有する。

この提出資料では、HIV 感染症に関するさまざま調査のうち、主に 4 つの疫学指標（有病（=患者数）、現在の受診者、新規受診者、死亡）について NDB を用いた集計を示し、要点を付した。従来調査の集計値も併記した。なお、第 153 回エイズ動向委員会（2019 年 8 月）へ提出した資料の一部を増補改訂して再掲している。

なお、NDB には、患者数 10 人未満の数値（例：9 人、0 人）や、逆算により 10 人未満を算出できる数値（48 人 - 40 人 = 8 人）を公表してはならないという規制がある（下線部は公表不可）。そのため、本資料においては、表中にて「・・・」「40 名程度」等のマスキングを行うなどの処理を行っている。

その他の留意点は、表の要点及び注釈に示した。

本資料は、厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）「HIV 感染症を合併した血友病患者に対する全国的な医療提供体制に関する研究班」（2017～2019 年度、代表：奈良県立医科大学・野田 龍也）の分析結果の一部として作成された。

提出表一覧

- 表1 抗 HIV 薬処方患者数（NDB 集計・現在通院患者数）（年齢階級別）*
- 表2 抗 HIV 薬処方患者数（NDB 集計・現在通院患者数）（都道府県別）*
- 表3 新規に診断された者の数（HIV 感染者＋エイズ患者）（2017 年）（年齢階級別）*
- 表4 新規に診断された者の数（HIV 感染者＋エイズ患者）（2017 年）（都道府県別、ウォッシュアウト期間別）
- 表5 HIV 感染者＋エイズ患者（累積）*
- 表6 HIV 感染者の死亡（NDB 集計）*
- 表7 HIV 感染者における生活習慣病(糖尿病)の合併状況（年齢階級別患者数と死亡者数）
- 表8 HIV 感染者の年齢調整死亡率・糖尿病患者集団との比較*
- 表9 HIV 感染者＋エイズ患者（新規）（年齢階級別）
- 表10 HIV 感染者＋エイズ患者 新規・累計（都道府県別・ブロック別）*
- 表11 抗 HIV 薬一覧（マスタ）

* 第 153 回エイズ動向委員会（2019 年 8 月）へ提出した資料を増補改訂したもの

要点：表 1

● 表 1 抗 HIV 薬処方患者数（NDB 集計・現在通院患者数）（年齢階級別）

HIV/AIDS 患者数については、調査開始時からの累積患者数は集計されているが、受診中断や死亡による脱落が織り込まれない点が課題であった。本表は、全国悉皆の受診情報である NDB の特性を活かし、「現時点で実際に受診している患者数」（現在通院患者数）を算出したものである。なお、同一患者が複数医療機関に受診した場合の名寄せは行っている。

NDB による現在通院患者数の把握方法としては、下記の A,B の両方の期間に抗 HIV 薬が処方されている患者とした：

- A) 平成 25 年（2013 年）4 月 1 日～平成 28 年（2016 年）12 月 30 日の 3 年 9 ヶ月間
 - B) 平成 28 年（2016 年）12 月 31 日～平成 30 年（2018 年）3 月 31 日の 1 年 3 ヶ月間
- ※A,B の区切りを 12 月 30 日としたのは既存統計に合わせるためである。

過去の一定期間（期間 A）に抗 HIV 薬を処方されつつ、最近（期間 B）にも抗 HIV 薬の処方がある場合は、「もともと抗 HIV 薬を処方されつつ、最近も受診中である」と推測され、最近を受診していない患者や最近になって新規受診した患者を除外できる。

表における「追跡中の抗 HIV 薬処方患者」が現在通院患者数であり、2017 年 1 月ごろ～2018 年 3 月までの 1 年 3 ヶ月間の時点で、通院して処方を受けている HIV/AIDS 患者は、全国で 20646 人ほど（男性 19156 人、女性 1490 人）であることが明らかとなった。また、年齢階級別では、全体、性別ともに、40～44 歳が最多であり、その前後では逡減している。

最近受診の定義（期間 B）は変更できるが、受診間隔の観点から、1 年数ヶ月間ほどに設定することが望ましいと考えられる。

(表1)抗HIV薬処方患者数

(NDB集計・現在通院患者数)(年齢階級別)

	NDBを用いた抗HIV薬処方患者数(継続通院患者数)の集計(年齢階級別)								
	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数
	男			女			合計		
合計	19,156	51,481,319	37.2	1,490	59,130,630	2.5	20,646	110,611,949	18.7
0歳	<10	3150程度	<10	<10	3200程度	<10	<10	6350程度	<10
1歳	<10	320150程度	<10	<10	295300程度	<10	<10	615450程度	<10
2歳	<10	519100程度	<10	<10	492800程度	<10	<10	1011900程度	<10
3歳	<10	526600程度	<10	<10	496550程度	<10	<10	1023100程度	<10
4歳	<10	532800程度	<10	<10	504700程度	<10	<10	1037550程度	<10
5歳	<10	537200程度	<10	<10	509100程度	<10	<10	1046300程度	<10
6歳	<10	546800程度	<10	<10	519200程度	<10	<10	1066000程度	<10
7歳	<10	549550程度	<10	<10	517500程度	<10	<10	1067050程度	<10
8歳	<10	545350程度	<10	<10	514800程度	<10	<10	1060150程度	<10
9歳	<10	548200程度	<10	<10	519400程度	<10	<10	1067600程度	<10
10-14歳	<10	2712600程度	<10	<10	2543050程度	<10	<10	5255700程度	<10
15-19歳	<10	2642700程度	<10	<10	2590500程度	<10	<10	5233200程度	<10
20-24歳	138	2,327,401	5.9	14	2,639,711	0.5	152	4,967,112	3.1
25-29歳	873	2,376,824	36.7	26	2,777,613	0.9	899	5,154,437	17.4
30-34歳	1,727	2,731,075	63.2	94	3,196,086	2.9	1,821	5,927,161	30.7
35-39歳	2,588	3,044,361	84.9	178	3,512,731	5.1	2,766	6,557,092	42.2
40-44歳	3,568	3,590,202	99.3	284	4,043,967	7.0	3,852	7,634,169	50.4
45-49歳	3,537	3,647,232	96.9	276	4,087,883	6.8	3,813	7,735,115	49.3
50-54歳	2,407	3,210,901	74.9	227	3,572,702	6.4	2,634	6,783,603	38.8
55-59歳	1,471	3,075,219	47.8	127	3,363,783	3.8	1,598	6,439,002	24.8
60-64歳	1,035	3,139,522	33.0	93	3,432,171	2.7	1,128	6,571,693	17.2
65-69歳	978	4,018,636	24.3	65	4,460,915	1.5	1,043	8,479,551	12.3
70-74歳	475	3,396,070	14.0	56	3,919,924	1.4	531	7,315,994	7.3
75-79歳	229	2,856,117	8.0	31	3,505,309	0.9	260	6,361,426	4.1
80-84歳	89	2,171,656	4.1	12	3,028,753	0.4	101	5,200,409	1.9
85-89歳	30程度	1,284,961	5程度	<10	2275150程度	<10	33	3,560,109	0.9
90-94歳	<10	509030程度	<10	<10	1276080程度	<10	<10	1785110程度	<10
95-99歳	<10	103760程度	<10	<10	443195程度	<10	<10	546960程度	<10
100歳以上	<10	14040程度	<10	<10	88460程度	<10	<10	102500程度	<10

- 集計値10未満については「<10」でマスキングしている。
- 「2013年4月1日～2016年12月30日」と「2016年12月30日～2018年3月31日」の両方に抗HIV薬が処方された
- 年齢は最後の医療保険使用時の年齢階級を使用。
- 抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタ(表11)を使用した。
- 10未満の患者数が逆算により求められないよう患者数を丸めて「程度」としている箇所がある。

要点：表 2

● 表 2 抗 HIV 薬処方患者数（NDB 集計・現在通院患者数）（都道府県別）

本表は、現在通院中の HIV/AIDS 患者を都道府県別に算出したものである。

NDB による現在通院患者数の把握方法は表 1 と同様である。

なお、NDB における地域情報は「受診医療機関の住所地」（受診地）であり、患者住所地ではない点に注意が必要である。

表における「追跡中の抗 HIV 薬処方患者」が現在通院患者数であり、東京都の 8271 人が最多、大阪府の 2626 人がそれに次ぐ。

今回の表では示していないが、これら通院中の患者が、どのような処方を受けているか、どのような併存疾患を有しているかも、NDB を用いて集計可能であり、HIV/AIDS 患者の置かれた医療面での状況を定量的に把握することができる。

(表2)抗HIV薬処方患者数

(NDB集計・現在通院患者数)(都道府県別)

	NDBを用いた抗HIV薬処方患者数(継続通院患者数)の集計(都道府県別)								
	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数
	男			女			合計		
全国	19,156	51,481,319	37.2	1,490	59,130,630	2.5	20,646	110,611,949	18.7
北海道	352	2,050,478	17.2	17	2,490,555	0.7	369	4,541,033	8.1
青森県	65程度	503,579	13程度	<10	622210程度	<10	67	1,125,792	6.0
岩手県	30程度	501,989	5程度	<10	592850程度	<10	37	1,094,844	3.4
宮城県	175	965,420	18.1	18	1,095,786	1.6	193	2,061,206	9.4
秋田県	40程度	403,311	19程度	<10	490450程度	<10	43	893,751	4.8
山形県	30程度	464,049	5程度	<10	541550程度	<10	33	1,005,584	3.3
福島県	55程度	799,184	5程度	<10	889930程度	<10	64	1,689,111	3.8
茨城県	247	1,178,688	21.0	51	1,298,876	3.9	298	2,477,564	12.0
栃木県	221	829,204	26.6	42	917,705	4.6	263	1,746,909	15.1
群馬県	168	826,693	20.3	28	929,357	3.0	196	1,756,050	11.2
埼玉県	383	2,777,161	13.8	40	3,115,700	1.3	423	5,892,861	7.2
千葉県	489	2,424,572	20.2	106	2,734,729	3.9	595	5,159,301	11.5
東京都	7,790	5,922,181	131.4	481	6,556,595	7.3	8,271	12,478,776	66.2
神奈川県	1,038	3,614,405	28.7	130	4,077,262	3.2	1,168	7,691,667	15.2
新潟県	84	937,063	9.0	16	1,082,334	1.5	100	2,019,397	5.0
富山県	50程度	439,589	10程度	<10	506590程度	<10	55	946,177	5.8
石川県	107	470,559	22.7	11	543,679	2.0	118	1,014,238	11.6
福井県	40程度	325,354	10程度	<10	371340程度	<10	43	696,695	6.2
山梨県	42	336,392	12.5	15	382,791	3.9	57	719,183	7.9
長野県	165	866,576	19.0	66	988,869	6.7	231	1,855,445	12.4
岐阜県	110程度	839,106	15程度	<10	961400程度	<10	119	1,800,513	6.6
静岡県	287	1,531,724	18.7	43	1,707,492	2.5	330	3,239,216	10.2
愛知県	1,140	3,149,958	36.2	97	3,414,070	2.8	1,237	6,564,028	18.8
三重県	107	754,382	14.2	25	849,648	2.9	132	1,604,030	8.2
滋賀県	100程度	574,261	15程度	<10	642200程度	<10	109	1,216,467	9.0
京都府	292	997,414	29.3	13	1,182,962	1.1	305	2,180,376	14.0
大阪府	2,540	3,491,518	72.7	86	4,111,801	2.1	2,626	7,603,319	34.5
兵庫県	508	2,172,674	23.4	24	2,603,122	0.9	532	4,775,796	11.1
奈良県	123	530,686	23.2	14	643,181	2.2	137	1,173,867	11.7
和歌山県	70程度	397,843	15程度	<10	475490程度	<10	73	873,335	8.4
鳥取県		240,548	10程度	<10	284100程度	<10	26	524,645	5.0
島根県	15程度	283,999	5程度	<10	330650程度	<10	17	614,649	2.8
岡山県	171	780,931	21.9	11	903,172	1.2	182	1,684,103	10.8
広島県	250程度	1,162,960	20程度	<10	1340150程度	<10	255	2,503,110	10.2
山口県	50程度	564,811	10程度	<10	668100程度	<10	54	1,232,944	4.4
徳島県	40程度	307,793	10程度	<10	362650程度	<10	43	670,432	6.4
香川県	80程度	409,933	20程度	<10	471450程度	<10	84	881,412	9.5
愛媛県	100程度	559,864	20程度	<10	667900程度	<10	106	1,227,782	8.6
高知県	55程度	283,353	20程度	<10	346250程度	<10	61	629,597	9.7
福岡県	702	2,019,733	34.7	36	2,423,261	1.5	738	4,442,994	16.6
佐賀県	25程度	340,179	5程度	<10	405250程度	<10	24	745,455	3.2
長崎県	75程度	555,077	15程度	<10	673250程度		85	1,228,352	6.9
熊本県	150程度	727,329	20程度	<10	870400程度	<10	163	1,597,727	10.2
大分県	60程度	479,439	10程度	<10	565700程度	<10	61	1,045,140	5.8
宮崎県	80程度	460,263	20程度	<10	551450程度	<10	86	1,011,739	8.5
鹿児島県	120程度	665,827	15程度	<10	799950程度	<10	123	1,465,758	8.4
沖縄県	297	563,267	52.7	17	646,312	2.6	314	1,209,579	26.0

- 都道府県は受診医療機関住所地(受診地)
- 抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタを使用した(表11)。
- 「2013年4月1日～2016年12月30日」と「2016年12月30日～2018年3月31日」の両方にレセプトが発生した患者のうち、抗HIV薬が処方された患者。
- 集計値10未満については「<10」でマスキングしている。
- 10未満の患者数が逆算により求められないよう患者数を丸めて「程度」としている箇所がある。

要点：表 3

● 表 3 新規に診断された者の数 (HIV 感染者 + エイズ患者) (2017 年) (年齢階級別)

平成 29 年 (2017 年) 1 月 1 日～12 月 31 日の 1 年間に、HIV 感染者または AIDS と新規に診断された患者数を示した。NDB による集計値と感染症法による同期間中の届出数を併記している。

「新規受診」の把握は、「一定期間 (ウォッシュアウト期間; 今回は 3 年 9 ヶ月間)、抗 HIV 薬の処方を受けず、その後の 1 年間 (今回は 2017 年) になって抗 HIV 薬を処方された患者」としている。この場合、「もともと HIV 感染の診断を受けていたが 4 年以上ぶりに処方を再開された患者」は新規患者に誤分類されるが、その数は少ないだろうという前提に立っている。

NDB で集計した患者数は 2551 人であり、感染症法による届出数 1389 人に比べ、1.8 倍であった。NDB は感染経路や感染地域の情報がないが、年齢階級別の集計では、NDB 集計と感染症法届出との乖離は 1.2～2.4 倍であった。

記述統計の一般論として、集計方法が大きく異なる 2 つの集計において両者の集計値が大きく乖離していない場合、「どちらの集計値も真の値そのものではないにせよ、両者の推計値付近に真の値が存在するだろう。」という推論が可能である (「大きく乖離していない」としては 10 倍以内の差を想定)。

HIV 感染症における NDB 集計は既存集計とは集計方法がまったく異なるため、上記の推論を適用できる。NDB において「集計値の答え合わせ先」となる基準的な調査をゴールド・スタンダード・データソース (GSDS; 今回は感染症法届出) と呼ぶが、NDB 集計と GSDS との乖離は最大で 2.4 倍であった。そのため、2017 年に新規に HIV 感染者または AIDS と診断された患者数は 1389～2551 人前後であることが推定される。NDB にも把握漏れがありえるため、真の患者数は 3 千人弱の可能性はあるが、「本当の新規診断者数は 5 千人なのに、感染症法届出では把握できていない」といった可能性は今回の NDB 集計によりほぼ否定された。さらなる精緻化の必要性は残るにせよ、新規診断者数について感染症法の届出数に一定の妥当性があることが NDB 集計により裏打ちされたと考える。

(表3)新規に診断された者の数 (HIV感染者+エイズ患者)(2017年;年齢階級別)

NDB	NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数(新規) 〔平成29年1月1日～平成29年12月31日〕 HIV感染者及びエイズ患者の性別、年齢別集計
感染症法	感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報 〔平成29年1月1日～平成29年12月31日〕 HIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別、年齢別、感染地域別報告数

診断区分		NDBによる患者数	感染症法の届出数	NDBによる患者数/感染症法の届出数
合計		2,551	1,389	1.8
感染経路	異性間の性的接触	・	248	・
	同性間の性的接触※1	・	935	・
	静注薬物使用	・	4	・
	母子感染	・	4	・
	その他※2	・	44	・
	不明	・	154	・
年齢	10歳未満	<10	4	・・・
	10～19歳	<10	13	・・・
	20～29歳	444	362	1.2
	30～39歳	803	429	1.9
	40～49歳	767	351	2.2
	50～59歳	349	148	2.4
	60～69歳	141	58	2.4
	70歳以上	40	23	1.7
	不明	<10	1	・・・
性	男	2,381	1,313	1.8
	女	170	76	2.2
感染地域	国内	・	1,108	・
	海外	・	98	・
	不明	・	183	・

- 年齢は最終受診時の年齢
- NDB：2017年1月～12月の1年間の新規患者及び抗HIV薬の長期中断後処方再開患者の合計
2013年4月1日から2016年12月31日の3年9ヶ月間に抗HIV薬を処方されていないかつ
2017年1月1日から2017年12月31日の1年間に抗HIV薬の処方があった患者。
- 新規診断患者のほか、2013年4月以前に処方があった後、長期中断後に抗HIV薬の処方を再開した者を含む。
- 抗HIV薬は表11を参照。
- 集計値10未満については「<10」でマスキングしている。
- 集計値10未満やその他のマスキング対象箇所については「・・・」としている。
- 「・」はNDBからは集計困難な項目。
- ※1 両性間性的接触を含む。
- ※2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

要点：表 4

- 表 4 新規に診断された者の数 (HIV 感染者+エイズ患者) (2017 年) (都道府県別、ウォッシュアウト期間別)

平成 29 年 (2017 年) 1 月 1 日～12 月 31 日の 1 年間に、HIV 感染者または AIDS と新規に診断された患者数を都道府県別に示した。NDB による集計値と感染症法による同期間中の届出数を併記している。†の患者数は、ウォッシュアウト期間を短くして集計した参考値である。なお、NDB における地域情報は「受診医療機関の住所地」(受診地)であり、患者住所地ではない点に注意が必要である。

「新規受診」の定義は表 3 と同様である。

NDB 集計で新規患者数をもっとも多かったのは東京都の 957 人であり、大阪府の 346 人が続いた。都道府県別に見ても、表 3 同様、感染症法届出数と同様の傾向を示した。NDB 集計が感染症法届出数を下回る都道府県はなく、両者の乖離もおおむね 2 倍以内に収まっているため、都道府県間で感染症法に基づく届出や抗 HIV 薬の処方における地域格差は大きくはないことが、今回の NDB 集計で強く示唆された。

(表4)新規に診断された者の数
(HIV感染者+エイズ患者)(2017年;都道府県別、ウォッシュアウト期間別)

NDB	NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数(新規) 〔平成29年1月1日～平成29年12月31日〕 H I V感染者及びエイズ患者の性別、年齢別集計の合計値
感染症法	感染症法に基づくH I V感染者・エイズ患者情報 〔平成29年1月1日～平成29年12月31日〕 H I V感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別、年齢別、感染地域別報告数

HIV感染者+エイズ患者

ウォッシュアウト期間	感染症法の届出数 (2017年)	NDBによる患者数 (2017年)	+	+
			NDBによる患者数 (2016年)	NDBによる患者数 (2015年)
		3年	2年	1年
合計	1389	2551	2915	3151
北海道	34	58	72	63
青森県	6	10	10	...
岩手県	3
宮城県	13	19	36	34
秋田県	0
山形県	4
福島県	12
茨城県	12	29	35	50
栃木県	13	21	30	35
群馬県	13	24	35	23
埼玉県	34	50	60	68
千葉県	51	90	87	94
東京都	456	957	1137	1180
神奈川県	82	152	138	191
新潟県	9	12	...	14
富山県	10	...	10	...
石川県	5	...	13	19
福井県	1
山梨県	7	10
長野県	18	22	...	17
岐阜県	12	12	19	22
静岡県	19	41	37	58
愛知県	67	135	182	174
三重県	...	21	21	18
滋賀県	10	16	15	16
京都府	23	39	48	46
大阪府	174	346	403	461
兵庫県	36	80	71	86
奈良県	7	...	12	22
和歌山県	5	13
鳥取県	4
島根県	1
岡山県	22	34	25	32
広島県	14	27	29	27
山口県	9	11
徳島県	5	11	10	...
香川県	11	12	...	20
愛媛県	6	...	17	15
高知県	6	20
福岡県	78	123	129	120
佐賀県	3
長崎県	6	...	17	14
熊本県	12	20	29	25
大分県	4
宮崎県	11	17	10	15
鹿児島県	18	22	20	13
沖縄県	31	38	51	64

- 都道府県は受診医療機関住所地(受診地)
- 年齢は最終受診時の年齢。
- NDB:2017年1月~12月の1年間の新規患者及び抗HIV薬の長期中断後処方再開患者の合計
2013年4月1日から2016年12月31日の3年9ヶ月間に抗HIV薬を処方されていないかつ
2017年1月1日から2017年12月31日の1年間に抗HIV薬の処方があった患者。
- 新規診断患者のほか、ウォッシュアウト期間中に処方が行われず、その後、抗HIV薬の処方を再開した者を含む。
- ウォッシュアウト期間:NDB上で新規処方を把握するために設定された無処方期間。
- 抗HIV薬は表11を参照。
- 集計値10未満及びその他のマスキング対象箇所については「・・・」としている。

†はウォッシュアウト期間が短いため、処方再開患者を一定数含んでおり、参考値。

要点：表 5

● 表 5 HIV 感染者 + エイズ患者 (累積)

本表は HIV/AIDS 患者の累積患者数及びその感染経路に関する集計である。表の右側は、感染症法に基づく届出による集計である。

NDB による集計は、平成 25 年 (2013 年) 4 月 1 日～平成 28 年 (2016 年) 12 月 30 日の約 3 年 9 ヶ月間に抗 HIV 薬の処方を受けた累積患者数である。NDB には感染経路に関する情報が記載されていないため、全体の患者数以外のほぼすべての箇所が不明 (「・」) となっている。

NDB 集計による累積患者数 (約 3 年 9 ヶ月間) は、合計で 25570 人となり、感染症法届出の累積患者数 27344 人に近い集計値であった。NDB 集計とゴールド・スタンダード・データソース (GSDS ; 今回は感染症法届出) が近い数値であるため、累積患者数の真の値はおおむねこの集計値付近と考えると良いものと考えられる。感染症法届出による累積患者数の妥当性が、NDB により裏打ちされたと言える。

NDB は既存の調査では困難なさまざまな集計を提供可能であるが、本表の感染経路のように把握できない事象もある。NDB による集計は決して万能ではなく、レセプトデータの得意不得意を活かしつつ、既存調査では集計困難な事項の集計や、既存調査の集計値の妥当性確認 (「答え合わせ」) 目的で用いることが望ましいと考えられる。

(表5) HIV感染者＋エイズ患者 (累積)

		NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数情報 平成28年12月30日現在のHIV感染者 及びエイズ患者の性別患者数									感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報 平成28年12月25日現在のHIV感染者 及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計								
診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計			日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	合計	・	・	・	・	・	・	・	・	・	14,840	939	15,779	1,629	1,443	3,072	16,469	2,382	18,851
	異性間の性的接触	・	・	・	・	・	・	・	・	・	2,903	768	3,671	440	847	1,287	3,343	1,615	4,958
	同性間の性的接触※1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	10,391	4	10,395	667	1	668	11,058	5	11,063
	静注薬物使用	・	・	・	・	・	・	・	・	・	41	2	43	27	3	30	68	5	73
	母子感染	・	・	・	・	・	・	・	・	・	18	9	27	5	8	13	23	17	40
	その他※2	・	・	・	・	・	・	・	・	・	292	39	331	61	27	88	353	66	419
	不明	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1,195	117	1,312	429	557	986	1,624	674	2,298
エイズ患者	合計※3	・	・	・	・	・	・	・	・	・	6,815	377	7,192	903	398	1,301	7,718	775	8,493
	異性間の性的接触	・	・	・	・	・	・	・	・	・	2,158	251	2,409	302	219	521	2,460	470	2,930
	同性間の性的接触※1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	3,269	3	3,272	172	2	174	3,441	5	3,446
	静注薬物使用	・	・	・	・	・	・	・	・	・	28	4	32	26	3	29	54	7	61
	母子感染	・	・	・	・	・	・	・	・	・	9	3	12	1	5	6	10	8	18
	その他※2	・	・	・	・	・	・	・	・	・	170	23	193	27	15	42	197	38	235
	不明	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1,181	93	1,274	375	154	529	1,556	247	1,803
HIV感染者+エイズ患者 合計		・	・	・	・	・	・	23,693	1,877	25,570	21,655	1,316	22,971	2,532	1,841	4,373	24,187	3,157	27,344
凝固因子製剤による感染者※4		・	・	・	・	・	・	・	・	・	1,421	18	1,439	—	—	—	1,421	18	1,439

- NDBの太枠は、2013年4月1日～2016年12月30日のHIV感染者＋エイズ患者の累計。
- 2013年4月1日～2016年12月30日にレセプトが発生し抗HIV薬が処方された患者。
- 抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタを使用した。
- 「・」はNDBからは集計困難な項目。

- ※1 両性間性的接触を含む。
- ※2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。
- ※3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。
- ※4 「血液凝固異常症全国調査」による2015年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数
 感染症法施行後の任意報告数
 (平成11年4月1日～平成28年 373名)
 エイズ予防法※5に基づく法定報告数
 (平成元年2月17日～平成11年 596名)
 凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 706名

- ※5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。
- ※6 「血液凝固異常症全国調査」による2015年5月31日現在の報告数

要点：表 6

● 表 6 HIV 感染者の死亡（NDB 集計）

HIV/AIDS 患者がどの程度死亡しているかは重要な指標である。

表 6 のうち、上方の表では、平成 25 年度（2013 年度）～平成 29 年度（2017 年度）の 5 年間につき、年度ごとの死亡者数を NDB を用いて算出したものである。

対象者は平成 25 年度（2013 年度）～平成 29 年度（2017 年度）に抗 HIV 薬を処方された患者 28549 人である。この患者数は、新規患者や死亡、受診中断による出入りを通算した累積患者数である（同一患者の名寄せは実施している）。NDB による死亡把握は、レセプトの転帰記載欄に「死亡」が記載された患者を対象としている。同欄に死亡が記載されるのは全死亡の 7 割ほどと推測される。（なお、より精度の高い死亡把握手法を用いた死亡者数を表 7 に掲載した。）

平成 25 年度（2013 年度）～平成 29 年度（2017 年度）の 5 年間における各年度の死亡者は 77～104 人の範囲であった。NDB による死亡者数は、同期間における人口動態統計における「死因：ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病」の死亡者数よりも多い。これは、今回の NDB 集計が「HIV 感染症を有しているヒトの死亡」（HIV 感染症以外で死亡したヒトを含む。）のに対し、人口動態統計は、HIV 感染症を主たる死因として死亡した患者を主な対象としているという違いによる（NDB では主たる死因の情報はない）。

ただし、NDB 集計とゴールド・スタンダード・データソース（GSDS；今回は人口動態統計）の集計値に大きな乖離がないため、HIV 感染症を主たる死因とする死亡者は全国で年間 100 名以下であろうことが NDB から裏打ちされたと言える。

表 6 のうち、下方の表は、平成 25 年度（2013 年度）に抗 HIV 薬を処方されていた患者 17273 人を対象とし、平成 29 年度（2017 年度）までの約 5 年間で何名が死亡したかのコホートを示している。平成 25 年度（2013 年度）に抗 HIV 薬を処方されていた患者は、1 年間に 52～77 人が死亡し、平成 29 年度（2017 年度）末における生存率（≒5 年生存率）は 98.03%であった。

HIV/AIDS 患者は、表 1 にあるように比較的若いのが、本表では年齢調整は講じず、粗死亡者数を示している。

(表6)HIV感染者の死亡（NDB集計）

2013～2017年度における抗HIV薬処方者の死亡者数

抗HIV薬処方者(通算)	死亡者数 (2013年度)	死亡者数 (2014年度)	死亡者数 (2015年度)	死亡者数 (2016年度)	死亡者数 (2017年度)	抗HIV薬処方者 (通算)
NDBによる患者数集計	77	89	102	86	104	28549 †
(参考:人口動態統計による死因:HIV)	45	45	56	66	38	

2013年度に抗HIV薬を処方されていた患者のコホート(死亡者数)

※2013年度に抗HIV薬の処方を受けた患者に限定し、5年間追跡を行ったもの。

HIV感染者のn年生存率	2013年度 抗HIV薬処方者	死亡者数 (2013年度)	死亡者数 (2014年度)	死亡者数 (2015年度)	死亡者数 (2016年度)	死亡者数 (2017年度)	2017年度末での 生存者数
NDBによる患者数集計	17273 ‡	77	70	65	52	77	16,932
累積死亡数		77	147	212	264	341	
累積死亡率		0.45%	0.85%	1.23%	1.53%	1.97%	
n年生存率		99.55%	99.15%	98.77%	98.47%	98.03%	

† 2013～2017年度に抗HIV薬を処方されたHIV感染者数(実人数)

‡ 2013年度に抗HIV薬を処方されたHIV感染者

●レセプト転帰欄に「死亡」が記載されなかった患者は生存者数にカウントした

●本集計の死亡数は、レセプトの転帰欄に「死亡」が記載された患者(IDO)数(HIV以外での死亡を含む全死亡)

●医療管理下でない死亡(交通事故による現場死亡や自殺等)や生活保護へ転換後の死亡は捕捉されないため、実際の死亡よりは若干の過小評価となる。

●抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタを使用した(表11)。

要点：表 7

- 表 7 HIV 感染者における生活習慣病(糖尿病)の合併状況（年齢階級別患者数と死亡者数）

平成 25 年（2013 年）4 月 1 日～平成 30 年（2018 年）3 月 31 日の 5 年間に抗 HIV 薬を処方された患者を対象に、糖尿病の合併状況を示した。代表的な生活習慣病として糖尿病を選択した。

糖尿病を合併していない HIV 感染者、HIV 感染症を合併していない糖尿病患者、糖尿病を合併した HIV 感染者の累積患者数と累積死亡者数（5 年間）を性年齢別に集計している。なお、NDB による死亡把握は、奈良県立医科大学を中心とするチームが開発した「死亡特定ロジック」を用いた（表 6 で使用したレセプト転帰欄の死亡記載よりも、死亡を把握する精度が高い）。

本表は、HIV 感染症が慢性疾患化する中で重要となってきた、HIV 感染者の糖尿病合併状況を示している。日本全国では、男女合わせて 1850 名ほどの糖尿病合併 HIV 感染症の患者が存在し、対応が必要であることが分かる。

NDB を用いると、従来の調査では把握しづらかった併存疾患（や治療状況）が比較的容易に集計できるという一例である。本集計は性年齢階級別であるが、都道府県別などの地域別の集計も可能である。

なお、HIV 感染症と糖尿病の年齢調整死亡率の比較は表 8 に示している。

（糖尿病の有無とは独立の「HIV 感染者の 5 年間の累積患者数」は、NDB のマスキング規制の関係から本表には掲載していない。）

(表7) HIV感染者における生活習慣病(糖尿病)の合併状況 (年齢階級別患者数と死亡者数)

全NDB	NDB全体の患者数と死亡者数 〔平成25年4月1日～平成30年3月31日〕
HIV感染症	「抗HIV薬マスタ」(表11)の抗HIV薬を処方された患者数と死亡者数(糖尿病患者は除く) 〔平成25年4月1日～平成30年3月31日〕
糖尿病	糖尿病薬を処方されかつ糖尿病病名をつけられた患者数と死亡者数(HIV感染症患者は除く) 〔平成25年4月1日～平成30年3月31日〕
HIV感染症かつ糖尿病	HIV感染症かつ糖尿病の患者数と死亡者数 〔平成25年4月1日～平成30年3月31日〕
患者数	観察期間中に医療保険を使用した当該患者数
死亡者数	当該患者数のうち観察期間中に死亡が確認された数

男性		HIV感染症 (糖尿病除く)		糖尿病 (HIV除く)		HIV感染症かつ糖尿病		全NDB(基準集団)	
性別	年齢階級	患者数	死亡者数	患者数	死亡者数	患者数	死亡者数	患者数	死亡者数
男女	全年齢	26,699	358	9,960,609	1,108,961	1,850	...	150,328,339	5,025,291
男性	全年齢	24,733	340	5,836,576	661,210	1,744	127	70,958,283	2,592,348
男性	00-04歳	1,046	166	3,102,760	10,862
男性	05-09歳	1,048	34	3,320,381	2,097
男性	10-14歳	1,647	42	3,344,096	1,602
男性	15-19歳	16	...	4,233	103	3,715,576	2,658
男性	20-24歳	400	...	9,158	186	4,005,436	3,900
男性	25-29歳	1,687	...	18,006	242	3,985,969	4,287
男性	30-34歳	2,789	11	36,927	412	27	...	4,223,077	5,338
男性	35-39歳	3,713	23	71,590	863	76	...	4,496,348	8,274
男性	40-44歳	4,764	45	157,829	2,137	176	...	5,123,582	15,470
男性	45-49歳	4,154	41	270,190	4,450	313	17	4,972,581	23,994
男性	50-54歳	2,720	34	355,942	7,801	268	17	4,265,949	35,618
男性	55-59歳	1,599	20	457,144	14,258	209	12	4,011,352	57,523
男性	60-64歳	1,129	42	625,696	29,988	229	20	4,322,916	108,729
男性	65-69歳	972	37	961,190	65,535	218	17	5,091,733	211,550
男性	70-74歳	435	28	888,033	89,088	125	14	4,043,032	275,115
男性	75-79歳	229	32	810,106	119,453	63	11	3,450,211	377,404
男性	80-84歳	83	14	648,372	143,469	25	...	2,701,831	509,954
男性	85-89歳	30	...	369,195	117,638	1,776,396	518,560
男性	90-94歳	124,317	51,697	781,093	303,971
男性	95-99歳	22,323	12,051	192,221	96,897
男性	100歳以上	2,584	1,597	31,743	18,545

女性		HIV感染症 (糖尿病除く)		糖尿病 (HIV除く)		HIV感染症かつ糖尿病		全NDB(基準集団)	
性別	年齢階級	患者数	死亡者数	患者数	死亡者数	患者数	死亡者数	患者数	死亡者数
男女	全年齢	26,699	358	9,960,609	1,108,961	1,850	...	150,328,339	5,025,291
女性	全年齢	1,966	18	4,124,033	447,751	106	...	79,370,056	2,432,943
女性	00-04歳	942	137	2,969,448	9,204
女性	05-09歳	1,155	30	3,174,858	1,677
女性	10-14歳	2,057	48	3,158,973	1,128
女性	15-19歳	4,175	69	3,499,498	1,517
女性	20-24歳	30	...	9,025	110	4,516,425	2,482
女性	25-29歳	52	...	19,451	152	4,729,494	3,765
女性	30-34歳	155	...	39,388	326	4,869,600	6,226
女性	35-39歳	276	...	56,592	570	5,008,020	8,940
女性	40-44歳	377	...	79,669	1,097	10	...	5,565,757	13,634
女性	45-49歳	360	...	107,758	1,859	10	...	5,390,665	18,667
女性	50-54歳	261	...	146,004	3,191	20	...	4,630,358	25,723
女性	55-59歳	158	...	214,344	5,520	11	...	4,359,727	35,804
女性	60-64歳	108	...	324,837	11,596	4,526,081	58,816
女性	65-69歳	76	...	558,053	23,860	10	...	5,358,768	103,148
女性	70-74歳	56	...	596,383	34,424	4,501,452	134,757
女性	75-79歳	31	...	616,585	54,113	4,052,901	208,443
女性	80-84歳	13	...	574,933	83,630	3,485,920	355,193
女性	85-89歳	440,966	102,872	2,841,130	518,955
女性	90-94歳	242,881	82,903	1,815,027	534,504
女性	95-99歳	76,347	34,370	734,578	298,428
女性	100歳以上	12,488	6,874	181,376	91,932

- 集計対象期間は2013年4月1日～2018年3月31日まで。
- 年齢階級は最終受診時の年齢。
- 「HIV感染症」は抗HIV薬(表11)を2013年4月～2018年3月の5年間に1回以上処方された患者として定義した。
- 「糖尿病」は2013年4月～2018年3月の5年間に糖尿病病名が1回以上付けられかつ糖尿病薬を1回以上処方された患者として定義した。
- NDBにおける死亡の把握には奈良医大等が開発した「死亡ロジック」を使用した。
- 集計値10未満及びその他のマスキング対象箇所については「...」としている。

要点：表 8

● 表 8 HIV 感染者の年齢調整死亡率・糖尿病患者集団との比較

本表は、「抗 HIV 薬を処方された患者」（HIV/AIDS 患者）または「糖尿病の治療薬を処方された患者」を対象として、平成 25 年度（2013 年度）～平成 29 年度（2017 年度）の死亡者数を算出し、間接法による年齢調整死亡率（SMR）を算出したものである。糖尿病患者の死亡率を 100 とし、100 を超えると糖尿病患者よりも年齢調整死亡率が高くなる。なお、NDB による死亡把握は、レセプトの転帰記載欄に死亡が記載された患者を対象としている。

男性の HIV/AIDS 患者の SMR（対糖尿病患者）は 58 であった。患者の年齢分布の違いを調整すると、男性の HIV/AIDS 患者は男性の糖尿病患者に比べ、死亡率（亡くなるスピード）が 0.58 倍であることが明らかとなった。女性や男女合計は、女性の対象者数が少ないため、参考値である。

かつては死の病として恐れられた HIV 感染症も、ART の普及や医療体制の充実により生存率が大きく向上し、慢性疾患化している状況が、NDB 集計からも明らかとなった。

(表8) HIV感染者の年齢調整死亡率・糖尿病患者集団との比較

日本の糖尿病患者（HIV感染者を除く）を基準集団としたときの抗HIV薬処方患者（糖尿病合併者を除く）のSMR
（対象者の年齢構成を調整した死亡率。糖尿病患者の死亡率：100）

男性	58
(女性)	43
(男女)	57

- 2013～2017年度に「抗HIV薬を処方された患者」と「糖尿病治療中の患者」における死亡が対象
- 期間内にレセプトの転帰欄に「死亡」が記載された人数（原疾患以外での死亡を含む）
- 医療管理下でない死亡（交通事故による現場死亡や自殺等）や生活保護へ転換後の死亡は捕捉されないため、実際の死亡よりは若干の過小評価となる。
- 糖尿病患者、HIV感染者のあるなしの4群に分けて死亡数と非死亡数を集計し、それをもとにSMRを算出した。
- 女性、男女については対象者が少ないため参考値
- 抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタを使用した（表11）。

要点：表 9

● 表 9 HIV 感染者 + エイズ患者（新規）（年齢階級別）

平成 29 年（2017 年）1 月 1 日～3 月 31 日の 3 ヶ月間に、HIV 感染者または AIDS 患者と新規に診断された患者数を示した。NDB による集計値と感染症法による同期間中の届出数を併記している。

「新規受診」の把握は、表 3 とほぼ同様である。ウォッシュアウト期間は 3 年 9 ヶ月間で変わらないが、新規受診の集計期間が 3 ヶ月間と短い。

集計期間が短いため、集計の誤差が大きい。また、集計値（患者数）が小さいためマスキングが多く発生する。本資料では、その改善版として、新規受診の集計期間を 1 年間とした表 3 を算出し、掲載している。この表 9 は第 153 回エイズ動向委員会（2019 年 8 月）に提出した表の再掲であるが、集計期間の設定が適切でない場合の集計例として収載した。

(表9)HIV感染者＋エイズ患者(新規)(年齢階級別)

NDB	NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数(新規) 〔平成29年1月1日～平成29年3月31日〕 HIV感染者及びエイズ患者の性別、年齢別集計
感染症法	感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報 〔平成28年12月26日～平成29年3月26日〕 HIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別、年齢別、感染地域別報告数

診断区分		男		女		計	
		NDBによる患者数	感染症法の届出	NDBによる患者数	感染症法の届出	NDBによる患者数	感染症法の届出
合計		564	313	36	12	600	325
感染経路	異性間の性的接触	・	45	・	8	・	53
	同性間の性的接触※1	・	237	・	0	・	237
	静注薬物使用	・	1	・	0	・	1
	母子感染	・	0	・	0	・	0
	その他※2	・	3	・	1	・	4
	不明	・	27	・	3	・	30
年齢	10歳未満	<10	0	<10	0	<10	0
	10～19歳	<10	0	<10	0	<10	0
	20～29歳	95程度	88	<10	1	100	89
	30～39歳	190程度	91	<10	7	198	98
	40～49歳	162	86	11	0	173	86
	50～59歳	87	33	10	3	97	36
	60～69歳	20程度	10	<10	1	23	11
	70歳以上	<10	5	<10	0	<10	5
	不明	<10	0	<10	0	<10	0
感染地域	国内	・	258	・	7	・	265
	海外	・	17	・	1	・	18
	不明	・	38	・	4	・	42

●NDB集計：2017年1月～3月の新規(抗HIV薬処方開始)患者

2013年4月1日から2016年12月31日までに抗HIV薬を処方されていないかつ
2017年1月1日から2017年3月31日までに新たに抗HIV薬を処方された患者。

●年齢は最後の医療保険使用時の年齢階級を使用。

●抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタを使用した(表11)。

●「・」はNDBからは集計困難な項目。

●集計値10未満については「<10」でマスキングしている。

●10未満の患者数が逆算により求められないよう患者数を丸めて「程度」としている箇所がある。

※1 両性間性的接触を含む。

※2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

要点：表 10

● 表 10 HIV 感染者 + エイズ患者 新規・累計（都道府県別・ブロック別）

平成 29 年（2017 年）1 月 1 日～3 月 31 日の 3 ヶ月間に、HIV 感染者または AIDS と新規に診断された患者数及び累計患者数を都道府県別に示した。NDB による集計値と感染症法による同期間中の届出数を併記している。

「新規受診」の把握は、表 3、表 9 と同様である。ウォッシュアウト期間は 3 年 9 ヶ月間であり、新規受診の集計期間は 3 ヶ月間である。

表 10 も、集計期間が短いため集計の誤差が大きくなりがちであり、改善版として、新規受診の集計期間を 1 年間とした表 4 を収載している。

(表10)HIV感染者+エイズ患者 新規・累計(都道府県別・ブロック別)

NDB	HIV感染者・エイズ患者集計 新規・累積(都道府県別集計) (平成29年1月1日～平成29年3月31日) HIV感染者+エイズ患者
感染症法	感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報HIV感染者及びエイズ患者の都道府県別累積報告状況 (平成28年12月26日～平成29年3月26日) HIV感染者+エイズ患者

ブロック名	都道府県名	今回新規(2017年1月～3月)				前回新規(2016年10月～12月)				累計(感染症法は1985年～、NDBは2013年4月～2017年3月)								
		報告地		〔居住地〕		報告地		〔居住地〕		報告地		〔居住地〕		報告地		〔居住地〕		
		NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	
北海道	1 北海道	19	11	・	[11]	12	10	・	[9]	493	477	388	・	[274]	1.9%	1.7%	・	[2.0%]
	2 青森県	<10	1	・	[1]	<10	2	・	[1]	87	84	69	・	[34]	0.3%	0.3%	・	[0.3%]
	3 岩手県	<10	1	・	[1]	<10	0	・	[0]	49	63	40	・	[28]	0.2%	0.2%	・	[0.2%]
	4 宮城県	<10	5	・	[5]	<10	5	・	[4]	258	228	198	・	[119]	1.0%	0.8%	・	[0.9%]
	5 秋田県	<10	0	・	[0]	<10	0	・	[0]	44	47	43	・	[19]	0.2%	0.2%	・	[0.1%]
	6 山形県	<10	0	・	[0]	<10	1	・	[0]	40	51	34	・	[19]	0.2%	0.2%	・	[0.1%]
	7 福島県	<10	1	・	[1]	<10	5	・	[4]	81	126	69	・	[64]	0.3%	0.5%	・	[0.5%]
ブロック計	16	8	・	[8]	<10	13	・	[9]	559	599	453	・	[283]	2.1%	2.2%	・	[2.4%]	
関東甲信越	8 茨城県	<10	3	・	[4]	<10	2	・	[2]	384	866	306	・	[228]	1.5%	3.1%	・	[1.7%]
	9 栃木県	<10	1	・	[1]	<10	0	・	[0]	330	446	271	・	[135]	1.3%	1.6%	・	[1.0%]
	10 群馬県	<10	3	・	[2]	<10	4	・	[3]	261	341	204	・	[126]	1.0%	1.2%	・	[0.9%]
	11 埼玉県	<10	7	・	[9]	10	4	・	[5]	539	890	432	・	[633]	2.1%	3.2%	・	[4.7%]
	12 千葉県	21	11	・	[15]	22	17	・	[16]	788	1,351	616	・	[627]	3.0%	4.9%	・	[4.6%]
	13 東京都	217	112	・	[87]	256	99	・	[79]	10,381	9,248	8,487	・	[3,723]	39.7%	33.4%	・	[27.5%]
	14 神奈川県	38	21	・	[16]	39	25	・	[23]	1,499	1,904	1,206	・	[909]	5.7%	6.9%	・	[6.7%]
	15 新潟県	<10	3	・	[2]	<10	0	・	[0]	118	155	101	・	[58]	0.5%	0.6%	・	[0.4%]
	16 山梨県	<10	2	・	[2]	<10	0	・	[1]	74	166	60	・	[51]	0.3%	0.6%	・	[0.4%]
	17 長野県	<10	4	・	[3]	<10	1	・	[2]	279	509	236	・	[120]	1.1%	1.8%	・	[0.9%]
	ブロック計	318	167	・	[141]	348	152	・	[131]	14,653	15,876	11,919	・	[6,610]	56.0%	57.4%	・	[48.9%]
北陸	18 富山県	<10	2	・	[3]	<10	2	・	[2]	65	73	56	・	[35]	0.2%	0.3%	・	[0.3%]
	19 石川県	<10	3	・	[2]	<10	0	・	[0]	143	121	119	・	[72]	0.5%	0.4%	・	[0.5%]
	20 福井県	<10	0	・	[0]	<10	0	・	[0]	53	82	43	・	[44]	0.2%	0.3%	・	[0.3%]
ブロック計	<10	5	・	[5]	<10	2	・	[2]	261	276	218	・	[151]	1.0%	1.0%	・	[1.1%]	
東海	21 岐阜県	<10	1	・	[0]	<10	6	・	[5]	149	286	123	・	[203]	0.6%	1.0%	・	[1.5%]
	22 静岡県	<10	4	・	[4]	<10	3	・	[3]	427	635	338	・	[250]	1.6%	2.3%	・	[1.8%]
	23 愛知県	34	16	・	[16]	40	25	・	[25]	1,570	1,708	1,271	・	[1,058]	6.0%	6.2%	・	[7.8%]
	24 三重県	<10	2	・	[3]	<10	3	・	[2]	160	248	133	・	[128]	0.6%	0.9%	・	[0.9%]
ブロック計	47	23	・	[23]	57	37	・	[35]	2,306	2,877	1,865	・	[1,639]	8.8%	10.4%	・	[12.1%]	
近畿	25 滋賀県	<10	3	・	[2]	<10	5	・	[2]	142	147	113	・	[86]	0.5%	0.5%	・	[0.6%]
	26 京都府	10	4	・	[5]	<10	3	・	[2]	392	369	315	・	[206]	1.5%	1.3%	・	[1.5%]
	27 大阪府	85	48	・	[38]	93	63	・	[60]	3,438	3,250	2,710	・	[1,865]	13.1%	11.7%	・	[13.8%]
	28 兵庫県	18	5	・	[8]	12	12	・	[12]	678	640	550	・	[456]	2.6%	2.3%	・	[3.4%]
	29 奈良県	<10	1	・	[1]	<10	0	・	[0]	165	182	139	・	[108]	0.6%	0.7%	・	[0.8%]
	30 和歌山県	<10	0	・	[0]	<10	0	・	[0]	84	116	73	・	[62]	0.3%	0.4%	・	[0.5%]
ブロック計	119	61	・	[54]	121	83	・	[76]	4,899	4,704	3,900	・	[2,783]	18.7%	17.0%	・	[20.6%]	
中国四国	31 鳥取県	<10	1	・	[1]	<10	0	・	[0]	38	33	28	・	[22]	0.1%	0.1%	・	[0.2%]
	32 島根県	<10	1	・	[1]	<10	1	・	[1]	24	28	19	・	[13]	0.1%	0.1%	・	[0.1%]
	33 岡山県	<10	5	・	[5]	<10	3	・	[3]	212	222	186	・	[139]	0.8%	0.8%	・	[1.0%]
	34 広島県	<10	2	・	[2]	<10	4	・	[3]	297	339	259	・	[215]	1.1%	1.2%	・	[1.6%]
	35 山口県	<10	1	・	[1]	<10	1	・	[1]	73	87	55	・	[57]	0.3%	0.3%	・	[0.4%]
	36 徳島県	<10	2	・	[1]	<10	3	・	[3]	53	65	46	・	[48]	0.2%	0.2%	・	[0.4%]
	37 香川県	<10	1	・	[1]	<10	0	・	[0]	103	108	86	・	[77]	0.4%	0.4%	・	[0.6%]
	38 愛媛県	<10	0	・	[0]	<10	4	・	[3]	130	137	108	・	[68]	0.5%	0.5%	・	[0.5%]
	39 高知県	<10	1	・	[1]	<10	2	・	[3]	69	69	63	・	[48]	0.3%	0.2%	・	[0.4%]
ブロック計	22	14	・	[12]	26	18	・	[17]	999	1,088	850	・	[687]	3.8%	3.9%	・	[5.1%]	
九州沖縄	40 福岡県	34	19	・	[21]	35	23	・	[18]	911	805	772	・	[566]	3.5%	2.9%	・	[4.2%]
	41 佐賀県	<10	0	・	[0]	<10	5	・	[5]	33	53	26	・	[53]	0.1%	0.2%	・	[0.4%]
	42 長崎県	<10	0	・	[0]	<10	1	・	[1]	105	83	86	・	[45]	0.4%	0.3%	・	[0.3%]
	43 熊本県	<10	0	・	[0]	11	9	・	[9]	200	153	166	・	[96]	0.8%	0.6%	・	[0.7%]
	44 大分県	<10	3	・	[0]	<10	1	・	[1]	76	86	63	・	[57]	0.3%	0.3%	・	[0.4%]
	45 宮崎県	<10	2	・	[2]	<10	1	・	[1]	104	95	89	・	[72]	0.4%	0.3%	・	[0.5%]
	46 鹿児島県	<10	4	・	[5]	<10	4	・	[4]	155	154	125	・	[96]	0.6%	0.6%	・	[0.7%]
47 沖縄県	10	8	・	[5]	<10	4	・	[3]	416	343	324	・	[205]	1.6%	1.2%	・	[1.5%]	
ブロック計	57	36	・	[33]	74	48	・	[42]	2,000	1,772	1,651	・	[1,190]	7.6%	6.4%	・	[8.8%]	
合計	600	325	・	[287]	654	363	・	[321]	26,170	27,669	21,244	・	[13,521]	100%	100%	・	[100.0%]	

「今回」のNDB集計：2017年1月～3月の新規患者（抗HIV薬処方開始）

- 2013年4月1日から2016年12月31日までに抗HIV薬を処方されていないかつ2017年1月1日から2017年3月31日までに新たに抗HIV薬を処方された患者。

「前回」のNDB集計：2016年10月～12月の新規患者（抗HIV薬処方開始）

- 2013年4月1日から2016年9月30日までに抗HIV薬を処方されていないかつ2016年10月1日から2016年12月31日までに新たに抗HIV薬を処方された患者。

「累計」のNDB集計：2013年4月～2017年3月の通院患者（抗HIV薬処方）

- 2013年4月1日から2017年3月31日までに1回以上抗HIV薬を処方された患者数
- 「NDB継」：上記のうち、2017年1月～3月に抗HIV薬処方がある患者（継続受診中患者）。
- 抗HIV薬は別表の奈良医大等で作成したマスタを使用した（表11）。

● 報告地：昭和60年から集計

●〔居住地〕：最近数年間の主な居住地（平成19年4月から記載）

後天性免疫不全症候群発生届出(抜粋)
①最近数年間の主な居住地
1)日本国内(都道府県)
2)その他()
3)不明

●「・」はNDBからは集計困難な項目。

要点：表 1 1

● 表 11 抗 HIV 薬一覧（マスタ）

この提出資料では、HIV/AIDS 患者の定義として、「抗 HIV 薬の処方を受けている患者」と定義した。今回の集計期間においては、抗 HIV 薬は HIV 感染症以外には使用されないと考えられており、また、抗 HIV 薬を処方して診療報酬請求を行わない例があるとも考えにくいためである。

ただし、2020 年以降は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対して一部の抗 HIV 薬が投与されており、2020 年 1 月以降の集計期間については、集計設計を変更する必要がある。具体的には、「2019 年までに抗 HIV 薬を一度も処方されておらず、2020 年以降において、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の病名が付与されている患者」を除外するなどの対応が必要となる。ただし、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を合併した HIV/AIDS 患者はこの除外基準に該当してしまうため、さらなる検討が必要となるであろう。

(表11) 抗HIV薬一覧(マスタ)

医薬品コード	HIV薬名称	略名	一般名	作用機序	1錠あたりの容量	配合剤
620005140	レトロビルカプセル100mg	AZT(ZDV)	ジドブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	100	0
610443081	ヴァイテックスECカプセル125 125mg	ddI	ジダノシン	核酸系逆転写酵素阻害剤	125	0
610443082	ヴァイテックスECカプセル200 200mg	ddI	ジダノシン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620000425	エビビル錠150 150mg	3TC_150mg	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	150	0
620000426	エビビル錠300 300mg	3TC_300mg	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
610412192	ゼリットカプセル15 15mg	d4T	ザノルブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	15	0
610412193	ゼリットカプセル20 20mg	d4T	ザノルブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	20	0
621144201	コンビル配合錠	COM	ジドブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
621144201	コンビル配合錠	COM	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	150	1
620004998	ザイアジェン錠300mg	ABC	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
620001903	ピリアード錠300mg	TDF	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
621657001	エブジコム配合錠	EZC	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	600	1
621657001	エブジコム配合錠	EZC	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620002488	エムトリカプセル200mg	FTC	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
621662301	ツルバダ配合錠	TVD	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
621662301	ツルバダ配合錠	TVD	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
610421341	ピラミューン錠200 200mg	NVP	ネビラビン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620006943	ストックリン錠600mg	EFV	エファビレンツ	非核酸系逆転写酵素阻害剤	600	0
621932401	ストックリン錠200mg	EFV	エファビレンツ	非核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620009086	インテンス錠100mg	ETR	エトラビル	非核酸系逆転写酵素阻害剤	100	0
622149101	エジュラント錠25mg	RPV	リルビリン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	25	0
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	リルビリン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	25	1
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620004975	クリキシバンカプセル200mg	IDV	硫酸インジナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620003516	インビラーゼカプセル200mg	SQV	メシル酸サキナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620004347	インビラーゼ錠500mg	SQV	メシル酸サキナビル	プロテアーゼ阻害薬	500	0
621143701	ピラセプト錠250mg	NFV	メシル酸ネルフィナビル	プロテアーゼ阻害薬	250	0
621143601	ノービア内用液8% 80mg	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	80	0
622054801	ノービア錠100mg	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	100	0
621384201	カレトラ配合内用液	LPV/r	ロピナビル	プロテアーゼ阻害薬	80mg/mL	1
621384201	カレトラ配合内用液	LPV/r	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	20mg/mL	1
621765701	カレトラ配合錠	LPV/r	ロピナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	1
621765701	カレトラ配合錠	LPV/r	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	5	1
620000454	レイアタツカプセル150mg		硫酸アタザナビル	プロテアーゼ阻害薬	150	0
620000455	レイアタツカプセル200mg	ATV	硫酸アタザナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620002465	レクソナ錠700 700mg	FPV	ホスアンプレナビルカルシウム水和物	プロテアーゼ阻害薬	700	0
620005884	ブリジスタ錠300mg	DRV	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	300	0
622276701	ブリジスタナイーブ錠800mg	DRVN	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	800	0
622403501	ブリジスタ錠600mg	DRV	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	600	0
620007815	アイセントレス錠400mg	RAL	ラルテグラビルカリウム	インテグラール阻害薬	400	0
622235801	スタリビルド配合錠	STB	エルテグラビル	インテグラール阻害薬	150	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	コピシタット	CYP3A阻害薬	150	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
622336201	デビケ錠50mg	DTG	ドルテグラビルナトリウム	インテグラール阻害薬	50	0
622408801	トリメク配合錠	TRI	ドルテグラビルナトリウム	インテグラール阻害薬	50	0
622408801	トリメク配合錠	TRI	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	600	1
622408801	トリメク配合錠	TRI	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620009087	シーエルセントリ錠150mg	MVC	マラビロク	CCR5阻害薬	150	0
621930301	ブリジスタナイーブ錠400mg	DRVN	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	400	0
622522601	デシコピ配合錠LT	DVY-LT	テノホビルアラフェナミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	10	1
622522601	デシコピ配合錠LT	DVY-LT	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622522501	デシコピ配合錠HT	DVY-HT	テノホビルアラフェナミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	25	1
622522501	デシコピ配合錠HT	DVY-HT	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622532301	プレジコピックス配合錠	PCX	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	800	1
622532301	プレジコピックス配合錠	PCX	コピシタット	CYP3A阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	エルテグラビル	インテグラール阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	コピシタット	CYP3A阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	エムトリシタピン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	フマル酸テノホビルアラフェラミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	10	1
610409330	ハイビット錠0.375	ddC	ザルシタピン	2008年3月販売中止	0.375	0

●上記の薬剤を1回以上処方された患者をHIV感染症患者として集計した。

別紙4

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kubo Shinichiro Noda Tatsuya Myojin Tomoya Nishioka Yuichi Higashino Tsuneyuki Matsui Hiroki Kato Genta Imamura Tomoaki	National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan(NDB): Outline and Patient-Matching Technique	bioRxiv	doi: https://doi.org/10.1101/280008		2018
西岡祐一, 野田龍也, 今村知明	世界最大の医療ビッグデータNDB (ナショナルデータベース) の活用と今後の展望	日本整形外科学会雑誌	93	959-979	2019